

# 激江

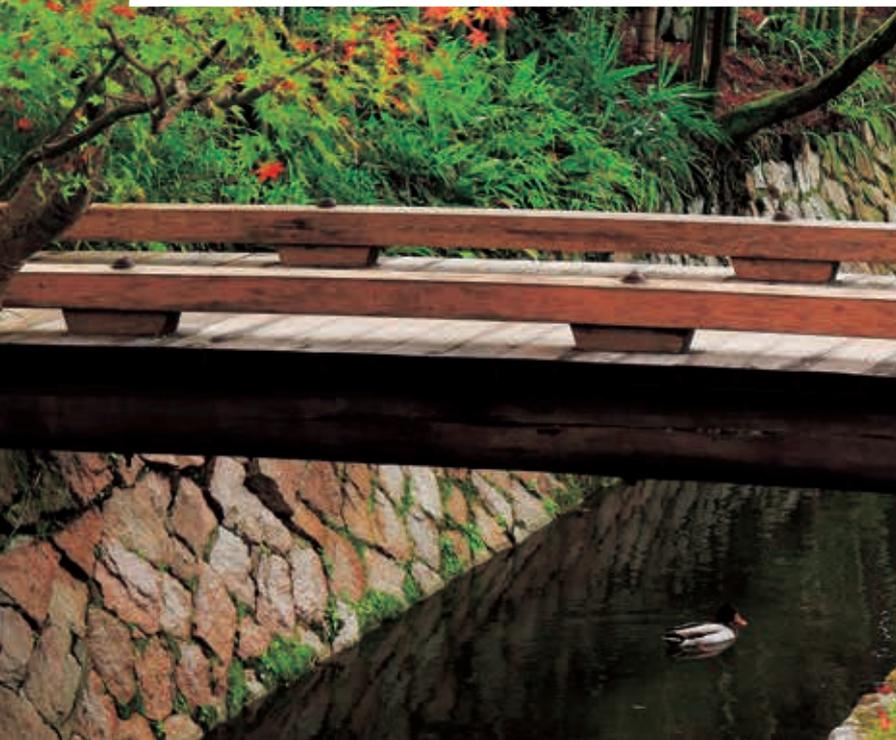
大阪経済大学大樟会

経大人のための情報誌  
DENKO

2017年

52号

巻頭特集●若手卒業生座談会「母校を思う」  
徳永光俊学長インタビュー  
2016ホームカミングデー・大樟会総会



## 巻頭特集 ● 若手卒業生座談会

# 母校を思う



出席者	友井 浩晶	平成23年	人間科学部卒	大成建設(株)勤務
	松本 侑大	平成25年	経済学部卒	椿本興業(株)勤務
	峰久 健太	平成26年	経営学部卒	富士ゼロックス大阪(株)勤務
	小林 弓恵	平成26年	経営情報学部卒	(株)ディスコ勤務
	加古 資弥	平成27年	経済学部卒	KYB(株)勤務
司 会	小林 真人		大樟会広報部長	元テレビ山口ニュースキャスター

司会：皆さん、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

本日は、若くて優秀な5人の卒業生の方々に集まっていただき、母校、『大阪経済大学』が創立80周年を過ぎ、母校がこれからの激動期にどう立ち向かうべきか。どのような特色ある大学をめざせばいいのかを語っていただきます。

それではまず、松本さんからお願いいたします。

松本：私は、椿本興業(株)という会社に勤めておりまして、現在4年目です。出身は兵庫県西宮市です。今は、石川県金沢市で勤務しておりまして、転勤して一年半ほど経ちます。業種は機械系の商社でして、工場で使われるモーターだとか設備関係を商社を通して工場に入れたりする仕事をさせていただ

っております。

ここにおられる加古さんのKYBさんや小林さんのディスコさんは当社のお客様でして、たいへんお世話になっている会社さんですので、ちょっとやり難いなあと思っております。失言のないようにがんばります。(笑)

司会：ありがとうございました。それでは、加古さんお願いします。

加古：



加古資弥さん

KYB(株)に勤務しております。私は出身が大阪の豊中市で、今は岐阜県の可児市に住んでいます。会社の事業内容としては、車のショックアブソーバーや油圧シリン

ダーなどを製造している会社です。所属部署は経理で、原価計算などをしています。

司会：経理は希望されたのですか。

加古：いいえ、希望した部署ではありませんでしたが…  
(笑)。適性診断や面談等の結果から、君は性格的に経理に向いているという話になって担当することになりました。

司会：それでは次に、峰久さんお願いします。

峰久：私は平成26年卒業で、今年で社会人3年目になります。岡山県の倉敷市の出身で、今は新大阪の近くに住んでいます。勤務先は富士ゼロックス大阪(株)です。この会社は、主に富士ゼロックスのブランドを販売する会社です。ただ、商社的な機能も持っています。

司会：どういうものを売っているのですか。富士ゼロックスというとコピー機のイメージしかありませんが。

峰久：例えば、家具も照明も売っています。お茶も売っています。この会議室の中にあるものは大概売っています。コピー機については、大阪経済大学にもありますし、皆様の企業の中にもあると思います。

司会：具体的な仕事の内容は…。

峰久：  仕事の内容としては営業をやっております、毎月ノルマに追われる状況です。仕事の内容をもう少し申し上げますと、新規開拓で大阪市北区を中心に自転車で

峰久健太さん

毎日営業しております、1日10社とか20社とか飛び込み訪問、あるいはアポイントをとって訪ねます。最初は当社と取引のない会社に行きますので、まず名刺を捨てられるところから始まるんですが、そこから何とかお客様と仲良くなって、信頼していただいた上で機械の販売に繋げていくということです。

司会：成果は上がっていますか。

峰久：そうですね。個人的には先期はあまり良くなかったのですが、会社としては税引き前利益はずっと上がっています。そういう意味では良かったのではないかと…。

司会：それは良かったです。では、友井さんお願いします。

友井：勤務先は大成建設(株)です。私が主に担当してきた仕事は、作業所事務と言われる施工管理以外の作業所運営に関わる仕事です。そこには複数の業務があり、決算業務などの「経理会計業務」、社員の労務管理、祭典準備などの「総務業務」、事故対応などの「安全業務」、発注者との交渉などを行う「発注者対応業務」があります。これらの業務を並行して行い、作業所運営を行ってきました。

司会：その仕事は長いのですか。

友井：作業所事務は約4年間経験しました。現在は、内勤部門での業務を担当しています。

内勤部門では、業績管理等の会計業務を主に担当しています。まだ不慣れなところがあり、毎日勉強の日々が続いています。

## CONTENTS

- |                                 |                        |
|---------------------------------|------------------------|
| 2 巻頭特集●若手卒業生座談会「母校を思う」          | 21 パソコン教室              |
| 7 黒正巖博士、京都「哲学の道」<br>命名の顕彰板を全面改修 | 22 新・北から南から            |
| 8 徳永光俊学長インタビュー                  | 26 支部だより               |
| 10 大樟会による奨学金制度を始めます             | 42 OB・OGネットワーク         |
| 11 最近の入学入試事情                    | 48 お世話になった先生からのお元気なお便り |
| 12 ホームカミングデー・大樟会総会              | 50 ゼミ短信                |
| 16 わがまちイチオシ                     | 52 ズームアップ経大人           |
| 18 クラブ活動紹介                      | 56 本部だより               |
|                                 | 59 大樟会支部長・各種部会会長一覧     |

司会：ありがとうございました。それでは小林さん、東京からわざわざご苦労様です。

小林：平成26年に経営情報学部を卒業して、東京に引越(株)ディスコという会社で働いております。出身は兵庫県尼崎市です。

ディスコは半導体の製造装置のメーカーでして、半導体というのは皆さんお持ちのスマートフォンなど様々な電子機器あるいは医療機器といったほとんどの機械の中に入っているものです。それを作るのに沢山のプロセスがありまして、その中でも主に後工程で使われる機械あるいはその装置に付ける砥石などを作っている会社です。私は、現在、海外営業部に属しております、担当地域はアメリカです。ディスコは切る・削る・磨くに特化した会社でして、略してKKMと言いますが、そのKKMのソリューションをお客様に提供するために日々精進しています。実際にアメリカからお客様が来社された際に私どもが対応したり、アメリカの会社を訪問して、日々営業活動をさせていただいております。

司会：それでは、英語はペラペラですか。

小林：ペラペラとまではいかないですけども、頑張っております。

司会：国際的ですね。今度は学生生活の思い出ということで、どういう学生生活を送られたのか、松本さんから順番にお話してください。

松本：学生時代の思い出としては、とにかくよく飲んでいました。高校時代、部活でバドミントンをしていたので、大学でもそのまま引き続いてバドミントンサークルに入りました。2年生以降はゼミ活動が始まり、3年生の時にはZEMI-1グランプリに出場しようということで、2年生の冬以降ずっとプレゼンをやっていました。いよいよ3年生になってZEMI-1グランプリに出場して代表に選ばれ、西日本インカレにも出場させていただきました。4年生になると就職活動ということで、いろんな会社を受けながら、今の会社に決まったのは8月の終わり頃でした。

司会：ありがとうございました。次に加古さんいかがで

すか。

加古：大学時代は写真部に所属しておりましたので、写真を撮っていることが多かったですね。写真部で64代目の会計監査を務め、年に2回定期の展示会等を開きながら活動していました。高校時代サッカーをやっていたこともあり、フットサルもやりました。展示会の後は、友達と飲みに行ったりしてコミュニケーションを図りました。

司会：峰久さんは充実した学生生活を過ごせましたか。

峰久：私も自分で立ち上げたフットサルのサークルに入っまして、友だちや後輩と2年生、3年生の時は対外試合を行ったりしました。卒業する頃には、30～40人規模のサークルになりまして、今でも、その後輩達とは飲んだりします。それが学生時代の良い思い出だと思っています。学業の方は特に話すことはないのですが、今、勤務している富士ゼロックス大阪はインターンシップに参加して、そのまま就職活動を行って入社しました。試験は4月で、当時としては遅かった方で、内定をもらう中でゼミも就職活動も苦労をしないような大学生活だったと思います。

友井：



友井浩晶さん

私は部活やサークルに所属しておりませんでしたので、学生生活で特に印象に残っていることと言えば、アルバイトです。3年間、テニスのインストラクターを経験しました。このアルバイトを通じて幅広い年齢層の方と交流できたことは非常に良い経験となりました。

司会：インストラクター、いいじゃないですか。

友井：好きなことを仕事にできたこと、3歳～80歳までの幅広い年齢層の方を指導したことは、非常に勉強になりました。相手の立場に立ち、分かりやすく伝えることがいかに難しいかということを学びました。

司会：インストラクターの資格が今、お勤めの会社でも生かされていますか？

友井：月1回程度、同僚とテニスをする機会があり、その

際、アルバイト時代の経験が生かされることがあります。仕事においても、分かりやすく伝えるにはどうしたらいいのかなど考える癖がついたので、その点でも生かされているかなと思います。

司会：小林さんはどうですか。

小林：



小林弓恵さん

入学当初から、留学したいな、と考えていたので、留学費用を稼ぐために、1回生、2回生の間は勉強とアルバイトに明け暮れていました。2回生の夏から、約1年間、大学の交換留学提携先であるアメリカテネシー州のメンフィス大学に交換留学生として行きました。そこで勉強して帰国してからは、就職活動にのめり込みました。当初は商社の営業を志していましたが、帰国してすぐの就職活動だったので、何から手をつけていいかわからず、大学の就職活動のセンターに駆け込んで、黒正部長らにお世話になり、今のディスコを紹介していただきました。そのまま選考に進み内定をいただいたという次第です。経大に就活塾が発足した時の1期生となり、塾を通して就活のノウハウや面接のコツ、履歴書の書き方をプロの方に教わりながら、就職活動を進めました。留学も就職も大学にはお世話になりっぱなしの大学4年間でしたね。

司会：お話を聞いていると、小林さんは、このなかで最優秀生ですね(笑)。留学して、英語を身につけて、そのまま就職につながったわけでしょ？

では、松本さん。外から見て、母校に望むことを聞かせてください。

松本：



松本侑大さん

私は、大学に関しては良いところばかりが見えています。1回生、2回生の夏まで、ずっと資格講座に取り組み、日商簿記3級、そして2級をとりました。その支援というのも非常に充実して

ば、講習費用が全部返ってくるとか、そういう制度がありました。受かってやろうという思いがあって、全額返金してもらいました。お金をかけずに資格をとれたことも、非常に有り難かったですね。インターンも証券会社に行かせてもらったのですが、インターン先も選ぶ選択肢がとて多いと感じています。就職活動に関しても、進路支援部で黒正部長に「僕、何もわからないんですけど」と言うと、親身になって話を聞いていただきました。ガイダンスや各企業とのつながりも太くて、ほんとうに助かりました。ZEMI-1も企業の人事の方が審査員として来られて、その中から何社か内定をいただきました。学生にとって使える選択肢やツールが非常に多い大学だな、ということ卒業して改めて思います。

司会：大学のネームバリューについてどう思いますか。

松本：その点については、もっとアピールする場を多くつくってもいいのではないかと、思います。阪急電車なんか乗っていると広告がいっぱい出てくるのですが、他の路線にいくと、大阪経済大学の名前を目にすることも、メディアに出ることも少ないと思うんです。そのあたりを充実させることも大学にとって、大事なのではないかと思います。

司会：この度の駅伝などスポーツや、教授の方のテレビ出演など、大学名が出るのが大事ですね。

加古：大経大の良いところは、頑張る人をとても応援していただけるところです。プランも沢山あります。ZEMI-1、プレゼン大会など、チャレンジしたい人の気持ちをくみ取って、チャレンジする場所を沢山つくってくれている大学だなあと、思います。もっと良くできるのではないかなと思うのが、英語とかのグローバル面です。法規面は強いのに英語ができない人、苦手な人が多いイメージがあります。これからの企業活動はよりグローバルなものになり、英語力があるのとないのでは、選択肢の幅も大きく変化すると思います。英語面の強化、英語の魅力に触れる企画を充実させて欲しいです。僕も海外に留学していた経験があって、3回生の時に5カ月間、フィリピンの語学学校に通って

いました。留学してみて、苦手だった英語で、日常会話レベルの力を身につけることができたのは、僕にとって大きな成長であったと感じています。同時に、世界観も広がり、いろいろと楽しみの幅も広がりました。

**司会：**松本さんも加古さんも、学生時代の良いところの話をされましたけど、それは、入学してみないとわかりませんよね。知名度を上げる必要がありませんね。

**峰久：**重複するところもありますが、知名度ということでは、岡山に帰ると、大学名が通じないです。関西一帯では大学名が通じますが、そこから一步出ると、通じない。どうやって高校生にアピールするのかというのは課題の一つだと思いますね。就活塾は僕らの時に始まりました。インターンシップも経大の学生が来てくれています。しっかり企業について調べてきてくれるし、支援が非常に充実していると思います。そこは強みととらえてよいと思います。

**友井：**皆さんと重複してしまうところがあるのですが、就職活動のサポートは本当にしっかりしているという印象があります。一人ひとりへの対応、サポートが充実していると思います。私も、就職活動中は就職課に何度も足を運び、アドバイスをいただいていた。もう少し期待したいことは、私は本学の就職説明会に企業担当者として出向いてい

るのですが、質問が少ない等、消極的な学生が多いので、もっと知りたいこと、気づいたこと等、積極的に質問していただけたらなと思っています。

**司会：**積極性に欠けるということですね。

**友井：**そうですね。他の大学の学生の姿を見ることがありますが、当社のことを知ろうとする姿勢、本当に第1志望だという気持ちが伝わってくるものがありますが、経大の学生は、そこはちょっと薄いかないと感じる場合があります。せっかく大学のOBがいるのですから、積極的に行動し、いい意味で利用していただけたらなと思います。

**小林：**関西では卒業生の方々が、社長や役員になっておられる企業も多いので、学生も就職活動を進めやすいのではないかと思います。また、東京や海外で働きたい、という積極的な学生をもっともっと増やしていくために、提携大学をもっと海外に設ければよいのでは、と思います。なぜかと言うと、私が留学を考えた時に、行きたいと思う大学が2校しかなかった。アメリカとスウェーデンです。スウェーデンというのは公用語がスウェーデン語なので、自動的に行き先は一つになるんですね。もっと提携先の大学があれば、この大学に行きたいと思う学生さんが増えてくると思います。語学力とか簿記とか、いろんな力をつけることによって、地元にとどまらず、外に出て働きたいという、積極性を持った学生さんが増えてくると思います。もう一つは、知名度のことです。革新的な取り組みを行っている大学、パンチのあることを行うことによって、国内だけでなく、海外でも知れ渡るような大学になると思っています。経済経営系の大学ですから、商売人や経営者育成としてのカリキュラムが用意されていればいいと思います。

**司会：**



若い皆さんからたいへん前向きで積極的なお話をお聞きすることができ、同窓生として心強く思いました。

なお、大樟会総会、各支部総会にご出席をお願いいたします。

本日は、ありがとうございました。



前列右端は黒正洋史進路支援部長

同窓会設立80周年記念事業の一環

本学初代学長 黒正巖 博士

## 京都「哲学の道」

# 命名の顕彰板を全面改修



新しくなった顕彰板



除幕式(12月9日)



京都「哲学の道」

京都市左京区の琵琶湖疏水分流の若王子橋から浄土寺橋までの約2kmの遊歩道は「哲学の道」と呼ばれ、京都でも有数の観光地として賑わっています。

「哲学の道」は、日本哲学で世界的に著名な京都大学教授西田幾多郎(にしだきたろう1870～1945)が、研究や思索の疲れを癒すため歩いたことで知られています。この遊歩道の中ほどにある「うるしの常三郎 哲学の道店」の入り口あたりに「哲学の道」の名称由来を記した木製の顕彰板が立っています。本学の関係者が設置してからすでに10年余りが経過し、文字が十分判読できない状態となっていました。

大樟会(同窓会)では、平成27年12月、同窓会設立80周年を迎え、記念事業の一つとして、この案内板を全面改修することを昨年の理事会で決定しました。その後、

準備作業を進めていましたが竣工の運びとなり、平成28年12月9日(金)、黒正家ご親族、本学佐藤理事長、徳永学長、田村大樟会会長他関係者による除幕式が挙行されました。

新しい顕彰板には、「京都大学教授で、後に旧制第六高等学校校長、大阪経済大学初代学長を務めた黒正巖(1895～1949)は、昭和4年、大阪毎日新聞(現毎日新聞)に掲載された『京都新百景』の中の一文『鹿ヶ谷疎水ほとり』の中で『疎水のほとりはよく散歩したものだ。私達は、これをフィロゾーフエン・ウェヒ(哲学者道)と呼んだ』と述べています。この地に住いし、この地をこよなく愛した彼は、ドイツに留学した時、ハイデルベルクの町にあった『哲学者道』を思い出し名付けたといわれています」と、「哲学の道」の名称の由来が記されています。

# 時代は変わっても 「道理貫天地」は変わらず

小林 3期目の学長ご就任おめでとうございます。

学長 ありがとうございます。

小林 3期目の抱負をお聞かせください。

学長 陸上競技の三段跳びで言えば、ホップ・ステップ・ジャンプということで大いにジャンプして飛躍したいと思っています。

私は、2010年11月、学長に就任してから一貫して、「ゼミの大経大・マナーの大経大・就職の大経大」と、この3つを言い続けてきました。ゼミにおいても97%のゼミ所属率ですし、マナーについてもマナーアップキャンペーンにはたくさんの学生が参加してくれています。「キッズカレッジ」とか「きさんじ塾」とか、いろいろなところで地域の人たちともつながりをもってやってくれていて、非常に高い評価を得ています。また、就職に関しても内定率は就職希望者の約90%という高いレベルになっていますので、学生たちに対して地固めはできたと思っています。

小林 大学改革についてはどのようにお考えですか。

学長 具体的には学部、学科の新設など、全学的再編を今後やらなければならないと考えております。具体的な内容は、理事会と協力しながら学内の合意を得てからになると思いますが、私としては政策系の学部と法学系の学部の2つくらいが必要になるのかなと考えています。さらには情報社会学部と人間科学部をどのように再編していくか、検討しなくてはなりませんでしょうね。

今、経営学部の二部（夜間）を入れれば5学部ですが、今後は6とか7くらいの学部数の方向性で、外部に対して「中規模の都市型大学」、「人文・社会系の総合大学」としてアピールできる改革をしていきたいと思っています。

小林 今後の授業内容も変わっていくのでしょうか。

学長 文科省は、これまでの技術とか知識とかに加えて、正解のない問題を考えていく判断力とか思考力を持った学生を養成しないといけないし、さらには多様な人々と協働していくことが求められてくると言っています。そういう点では、教育カリキュラム等についても、幅広い教養、リベラルアーツを磨いていく必要があると思っています。

本学は、教育の理念として「人間の実学」を掲げています。「実学」はもちろんですが、今後は「人間的」というところにも重点を置いていかなければならないと思っています。カリキュラム上の制度改革をして、幅広い教養を持った「多彩な職業人」を育てていく必要があると考えます。

そういう点では、各教員がきちんと研究をしていることが大切です。単に知識と技術を教えるだけではダメなのであって、教員自身が研究でオリジナルなことを考えていて、それを学生に伝えていくことです。テキストを読んでいるだけではダメな時代になってきています。そういう意味では、研究と教育は切り離すことのできない関係であると、私は考えています。

小林 本学が今後勝ち残るためにはどうすればいいのでしょうか。

学長 明治維新の時は、モデルがあってヨーロッパに追いつけ追い越せで、富国強兵政策をとってきました。また1945年の敗戦の後には、アメリカに追随して、高度経済成長へと進んでいきました。しかし、これからの21世紀においてはもうモデルはないと思います。一人ひとりが考えていかなければいけないし、それぞれの大学が本当に真剣に考えていく必要があります。その点で私は本学の建学の精神である「自由と





融和)を、21世紀的に発展させる必要があると思っています。

「自由」は、今日では「多様性の承認」ということです。いろいろな多様な人々、多様な考えを認め合うことが必要になってくると思います。そして、「融和」は、これからの世界は「共存共栄」ということだと思います。勝ち残るといふ発想は、もう無効化されていくと思います。お互いが多様性の下で共存共栄していくという考え方を、しっかりと持たなければなりません。

勝ち残るといふ考え方は、私から言わせると滅びの思考だと思います。自分のところだけが生き残ることはもうあり得ないのです。何故かと言えば、資源が、エネルギーが、そして人口が、全てが「無限」から「有限」に変わってきたからです。

そういう中で私は「自由と融和」を、「多様性と共存共栄」へとシフトして、大経大の建学の精神を21世紀的に発展させていく必要があると考えます。つまり、これからの時代において、どのような「教育の哲学」をもって学生たちを育てていくのか。そこが今、問われているのです。

**小林学長** 世間では2018年問題が盛んに言われていますが…。もうすでに人口は傾向的には減ってきているのです。私たちは、これまで人口はどんどん増えていくものだと考えていました。ところが、日本の人口の長期トレンドを見れば、2004年の1億2784万人がピークです。そこから徐々に減ってきているのです。2100

年には中位推計で4771万人と推定されています。2018年に18歳人口がガタッと減るといふことではないのです。

私たちはこれまで「登山の時代」を歩いてきました。ところが今は「下山の時代」に入ってきています。そのようにステージが変わってきているのに、まだ勝ち残るなどと言っているのは、全く時代認識がナンセンスなのです。

資本主義にしても、今は、『ポスト資本主義』（広井良典 2015）、『資本主義の終焉と歴史の危機』（水野和夫 2014）などと言われています。今後は予測不可能な時代になってきているのです。これ

からの下山の時代を誰が作っていくのか。それは若い青年たちです。明治時代も青雲の志を持った若者たちでした。1945年以降も、復員してきた多くの青年たちでした。これからの時代を背負っていく若者たちを教育していくことが、私たち大学という高等教育機関に課せられた社会的使命だと思っています。

**小林** 時代はどんどん変わっていきます。われわれもそれに合わせて変わっていかなければならないということですね。

**学長** 登山の時代は、ステレオタイプでもよかったのですが、これからはそうはいかないのです。私は、「そっと手を添え、じっと待つ」という言葉を大切にしています。学生たちは自分の中に伸びる力、未発の可能性を持っています。私たちは学生たちにそっと手を添えてあげ、じっと待つ、一人ひとりの学生たちに考える力、創造する力、協働する力をつけてあげなければなりません。

そして、その心柱（しんばしら）となるのが、本学の初代学長である黒正巖博士の言われた「道理貫天地」というメッセージです。「道理は、いつの時代もどこの地域でも、天地を貫いている。その道理とは何かを考え続けなさい」というこの言葉は、古今東西、変わることはありません。大経大は、黒正先生のこのメッセージを大切にしなければならないということです。

**小林** 本日は、お忙しいなか、ありがとうございました。

（聞き手=広報部長・小林真人）

# 大樟会(同窓会)による奨学金制度を始めます

同窓会設立80周年記念事業の一つとして大学の奨学金制度のうち、「緊急修学援助奨学金制度」と「遠隔地学生奨学金制度」について大学枠とは別に同窓会枠として採用人数を追加し、援助することが、平成28年5月28日(土)開催された平成28年度大樟会理事会で承認され、平成29年度から実施することになりました。その概要についてお知らせいたします。

## 1. 大樟会奨学金基金の創設

大樟会で奨学金基金を創設します。支給対象者の選定は大学の学生部学生課、資金管理、支払業務は財務部経理課が行います。基金は大樟会の「スポーツ・学術振興引当金」から受け入れることにします。なお、本援助を末永く続けるため、同窓生からの寄付を募ります。

## 2. 大樟会奨学金基金の用途

### (1) 「緊急修学援助奨学金」への援助

- 大学の「緊急修学援助奨学金」

学費負担者の死亡、失職等、家計が急変した学生、および経済困窮家庭の学生を対象とした給付型の経済支援型奨学金

支給対象者	対象年次・採用人数	給付金額	募集時期	選考基準
家計急変者	1年生 10名	一学期授業料の半額	1年生 7月	家計基準
経済困窮者	2～4年生 30名	一部 177,500円 二部 87,500円	2～4年生 4月	成績基準(修得単位数)

#### ・援助内容

同窓会枠として、1年生に+5名、2～4年生に+10名、計+15名とし、年間260万円程度を見込む。

### (2) 「遠隔地学生奨学金」への援助

- 大学の「遠隔地学生奨学金」

遠隔地(近畿圏以外、または近畿圏で通学に3時間以上を要する地域)からの入学者を対象とした給付型の経済支援型奨学金

支給対象者	対象・採用人数	給付金額	募集時期	選考基準
遠隔地からの入学者	新入生 30名	一部生 20万円 二部生 10万円	6月	家計基準 成績基準(修得単位数)

#### ・援助内容

同窓会枠として、採用人数を+10名、年間200万円程度を見込む。

(参考)

緊急修学援助奨学金採用実績

	1年生		2～4年生	
	応募者	採用者	応募者	採用者
2016年度	18	13	61	50
2015年度	21	18	61	44
2014年度	16	11	54	42

遠隔地学生奨学金採用実績

	応募者	採用者
2016年度	46	30
2015年度	48	33
2014年度	54	31

# 最近の本学入試事情 ～ 入試制度とその実際 ～

## 1. 本学入試制度の特徴 ～ シンプルに明快に～

「最近の入試はよく分からない…」と保護者の方に言われますが、それは私たち入試関係者も同様で、他大学では毎年様々な入試制度が打ち立てられ、受験生を悩ませています。また、入試期間の長期化（8月から翌年3月まで）もお互いの負担を増加させています。本学の入試制度はそれらも踏まえながら、極めて単純な「制度の分かりやすさ」を重要視しています。

### ● 本学の代表的な入試制度 [推薦入試編]

公募推薦とは、多数の他大学にとってもあらゆる入試制度のトップを切る大きな入試になります。一般的に、さまざまな要素を組み合わせで判定される入試で、本学の場合は①基礎素養検査と呼ばれる学力試験200点と②調査書20点の組み合わせで合否判定を行います。配点の配分から、「学力試験」の様相が強いのが本学の特徴です。

#### ■ 2016年度 公募推薦の概要

内容	志願者数	受験会場
英語・国語・現代社会・数学から2科目を選択、解答。他、調査書。11月に2日間実施。	4,001名 (内女子928名)	本学、京都、神戸、奈良、和歌山、岡山、高松の7会場

他に商工系資格推薦という推薦入試もあり、こちらは日商簿記2級以上、全商簿記1級などの資格取得が出願資格のひとつになっています。

### ● 本学の代表的な入試制度 [一般入試編]

大学入試センター試験終了後に始まる入試が一般入試となり、本学では出願時期によって4種類の入試があります。一般入試は学力試験の結果のみで合否が決まる仕組みですが、そのうち1月下旬に実施されるA方式入試という入試が本学では最大規模の入試となります。志願者数・受験会場数もピークになる入試です。

#### ■ 2016年度 A方式入試の概要

内容	志願者数	受験会場
英語・国語・日本史・世界史・現代社会・数学から2科目を選択、解答。1月に3日間実施。	6,643名 (内女子1,398名)	本学、大阪南、京都、奈良、和歌山、岡山、高松、金沢、米子、福岡の10会場

なお、2科目型入試全盛の今において、従来型の3科目入試もB方式入試として2月に実施しています。

## 2. 志願者数について ～ 大学人気のバロメーター、志願者減の時代に向けて～

近年、大学進学率は50%を超えていますが、少子化に拍車がかかって志願者確保は年々厳しくなると予想されています。受験する大学を決める「決め手」は様々ですが、ここ最近の傾向として①自宅から通える範囲であること②保護者の意見を重要視していること、などが挙げられます。本学は立地に関しては他大学と比較して優位であると評価されています。

#### ■ 過去10年の志願者数

単位:名

入試年度	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
志願者数	14,868	14,607	16,046	15,930	15,759	13,888	16,451	16,899	17,316	19,017

※注記 学部改組や募集定員の変更、入試制度の変更などもあるので一概に比較はできません。

## 3. 受験生・学生の経済支援 ～ 入試にまつわるお金の話～

学生だった当時の検定料、学費は覚えていらっしゃいますか？本学では1受験35,000円を基本に、複数回の受験では割引を適用するなど、受験生（保護者）の経済的負担を考慮した制度を長年継続しています。また利便性や時代の要請から、2015年度入試よりインターネット出願を導入しました（公募・一般のみ適用）。

合格後に気になるのが「学費」ですが、何らかの奨学金を利用して入学する学生も年々増加しており、本学でも約半数の学生が奨学金を利用しているという現状があります。

#### ■ 4年間の学費等納付金

(2017年度入学の場合)

納付額は改定することがあります

単位:円

入学金	学費	委託徴収金	合計
270,000	3,560,000	53,000	3,883,000

▼下表は経営学部第2部経営学科(夜間)

単位:円

入学金	学費	委託徴収金	合計
150,000	1,800,000	53,000	2,003,000

地方出身の学生は学費+生活費をまかなうべく、アルバイトにも力を入れている学生が少なくありません。大学としても近年、男子寮（扇町センター）、女子寮（瑞光センター）を開設・整備したり、遠隔地学生奨学金等で援助していますが、全体からするとまだまだ小さな規模です。同窓会に地方出身学生の一層の支援をお願いしたいところです。（入試部）

# 来たる90周年、100周年に向けて力強く歩む

## 2016ホームカミングデー・大樟会総会、華々しく開催

平成28年10月30日(日)、学園祭で賑わう母校キャンパスで、ホームカミングデー・大樟会総会が盛大に開催された。まず、大樟会総会セレモニーがD館21教室で開催。式辞、感謝状贈呈、壮行会が実施され、全国各地から540名の同窓生らが参加し、会場は熱気に包まれた。次に、会場を学生会館2階に移し、ホームカミングデー懇親会が行われた後、今年初の試みとして、同期会・部会合同交流会がD館80周年記念ホールで行われ、快晴の街を眼下に望む会場で、参加者が和やかに旧交を温めた。



会場風景

## 大樟会設立100周年に向け、100支部を目指そう

吹奏楽総部の演奏が行われるなか、多くの同窓生らが続々と会場に集まり、午前11時から小林真人副会長の司会によって総会が始まった。

総会開会に先立ち、物故者への黙祷が行われ、次いでグリークラブと参加者による学歌斉唱後、佐藤武司理事長が式辞を述べた。理事長は、まず徳永光俊学長の3期目就任を報告し、次に少子化問題に触れて「小中学校・高校はおおむね整理が終わり、大学の淘汰が始まっている。本学も90周年、100周年に向け、伝統だけに頼らず、経営と教育を両立させた魅力ある大学づくりに取り組んでいきたい」とし、同窓生らの支援と助言を求めた。

徳永光俊学長は3期目就任の挨拶に続き、4年連続の入試志願者増加や、就職希望者の就職率が90%近くに及んだこと、ゼミ活動などが学外で高く評価されている旨を報告。「こ

の6年間、一貫して『ゼミ・マナー・就職の大経大』を推進。3期目は、新学部・学科の創設など全学的な組織再編を進め、都市型の中規模大学として、人文社会系の総合大学化を目指したい」と述べたうえで、「2032年の100周年に向け、『つながる力No.1』を強化し、①学生目線のきめ細かい教育、②教職員の意向尊重、③人間的な誠実さを尊重したい」と強く力を込めた。

次に、田村正晴会長が「世間では静かな同窓会ブームと言われている。ネット時代において、肩を組み合わせる直接的な出会いの場が見直されている。同窓会の目的は①卒業生の組織化、②母校の応援、③ステークホルダーとしての役割で、最も基本になるのが①の組織の強化だろう。昨年80周年を迎えた大樟会は、約60の支部・部会を数えるが、100周年には100支部・部会としたい。この一年間に、鳥取支部が再興し、超党派の政治家（地方議員・首長等）による『樟政会』が誕生した。現役学生の保護者でつくる後援会と手を携え、今後も大学を支援したい」と呼びかけた。

このあと、永年にわたって支部長を務めこのほど退任された6氏（別掲）に感謝状と記念品が贈られ、10年間にわたり東京支部長を務めた藤本二郎氏が代表して謝辞を述べられた。

さらに今年は、大学クラブ等の壮行会も行われた。近日中に、全国大会に臨むハンドボール部（全日本学生ハンドボール選手権大会出場）、グリークラブOBと在学生在で構成する「大阪メルクウィア-」（全日本合唱コンクール全国大会出場）のメンバーが入場した。全日本大学駅伝対校選

手権大会出場の陸上競技部選手らは、11月6日の本番に向け、現地での試走のため欠席だったが、これらのクラブ等の活躍を田村会長が紹介し、健闘を祈り会場全員が拍手を送った。また、山本隆造大樟体育会会長が激励の言葉を贈り、各クラブ等の監督らが大会に向けての決意表明を行った。続いて、福田敏裕元応援団副団長（37回卒）が演舞で応援し、吹奏楽部の演奏をバックに各クラブ等のメンバーが退場。セレモニーは、つつがなく終了した。



当日は、大樟祭も開催



受付風景



司会の小林真人副会長とアシスタント吉仲美智子さん



学歌斉唱(グリークラブ)



式辞(佐藤武司理事長)



式辞(徳永光俊学長)



式辞(田村正晴会長)



壮行会



激励の言葉(山本隆造大樟体育会会長)



決意表明(堀本修陸上競技部OB会元会長)

## 感謝状贈呈



謝辞(藤本二郎前東京支部長)

### 感謝状を贈呈された方

- |         |              |
|---------|--------------|
| 前池田支部長  | 中 一正様 (27回卒) |
| 前滋賀支部長  | 橋本庫一様 (30回卒) |
| 前北大阪支部長 | 平田義行様 (31回卒) |
| 前淡路島支部長 | 竹内通弘様 (34回卒) |
| 前東京支部長  | 藤本二郎様 (34回卒) |
| 前津山支部長  | 竹本 巧様 (37回卒) |



多くの参加者で盛り上がる懇親会会場



鏡開き(左から、田村会長、佐藤理事長、徳永学長)



開会の言葉(佐藤武司理事長)



乾杯(徳永光俊学長)



司会の大学総務部・高濱悠紀さん



上新庄オールスターズのジャズ演奏



ビンゴ大会で盛り上がる



ビンゴで1等!



学歌・逍遙歌  
(福田敏裕元応援団副団長)



閉会の言葉  
(崎田洋一大学事務局長)

万歳三唱  
(山本隆造大樟体育会会長)

### 同期会・部会 合同交流会

乾杯(国西良昌さん)



大阪メールクワァアの合唱

## 懇親会後に、同期会・部会合同交流会を実施

総会セレモニー終了後、しばし休憩をはさみ、12時30分から学生会館2階に会場を移してホームカミングデー懇親会が行われた。会場いっぱいに参加者が集まるなか、大学総務部の高濱悠紀さんの司会でスタート。まず、佐藤理事長が「楽しい一日になることを祈念します」と挨拶。本学36回卒の前垣吉男さんが蔵元の賀茂泉酒造の菰樽で、景気よく「ヨイショ」のかけ声と共に鏡開きが行われた。「大学のますますの発展と来場の皆様のさらなるご健勝を祈って」という徳永学長の言葉で乾杯し、会場は和やかなムードに包まれた。

その後、軽音楽部OBOGで結成された「上新庄オールスターズ」によるジャズ演奏が響くなか、各テーブルで談笑が絶えず、立食パーティ形式の宴もたけなわとなり、大いに盛り上がった。中盤には全員参加のビンゴゲームが始まり、次々に「リーチ!」、「ビンゴ!」の声が上がり、1等(カ

タログギフト5万円相当×1本)、2等(同2万5千円相当×2本)、3等(1万円相当×7本)が贈られた。

最後に、福田元応援団副団長による演舞と共に学歌・逍遙歌を唱和し、山本大樟体育会会長が「同窓会の力をつけていきましょう」と述べて万歳三唱。中締め挨拶として、崎田洋一事務局長が「少子化のなか、大学が生き残るためには、強さと賢さ、そして人を思いやる温かい心が不可欠。この3つを携えて未来へ邁進したい」と述べて支援と協力を求め、懇親会は幕を閉じた。

さらにその後、今回初めての試みとして、会場をD館80周年記念ホールへ移し、14時から同期会・部会合同交流会が開かれた。開会に先立ち2年連続で合唱コンクール全国大会に出場した大阪メールクワァーによる美声が披露され、国西良昌さん(29回卒)の音頭で乾杯。懇親会同様立食式の宴で、各卒期、各部会のテーブルごとに同窓生が集い盛り上がった。賑やかな歓談のうちに時が過ぎ、来年の再会を誓い合いながら幕を閉じた。

同期会、部会  
合同交流会会場にて



30期生の皆さん



34期生の皆さん



35期生の皆さん



37期生の皆さん



39期生の皆さん



43期生の皆さん



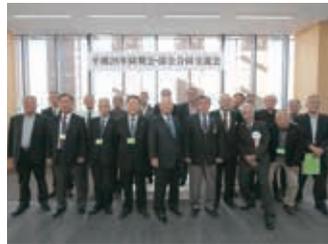
45期生の皆さん



52期生の皆さん



大樟春秋会の皆さん



大樟体育会の皆さん



税理士大樟会の皆さん



大樟教育研究会の皆さん



社労士大樟会の皆さん



大学院大樟会の皆さん



樟政会の皆さん



女性部会の皆さん



CBS文化放送局の皆さん



交流会後  
別会場にて



大阪市支部の皆さん



32期生の皆さん



鉄道研究会OB会の皆さん



空手道部OB会の皆さん(ひでよしにて)



29期生の皆さん(ひでよしにて)

各支部の  
ふるさと自慢



全国各地で、地域のあり方を見つめ直そうという機運がますます高まってきたように思われます。そこで、全国各支部に依頼し、「これぞ、わがまちのイチオシ」というものや「ふるさとで自慢できるもの」などを自由にお書きいただきました。

### 「ばんえい 十勝」(北海道遺産) 北海道支部 ～平地競馬とは異なるおもしろさが魅力～



北海道東部に広がる大平原の十勝は「乳の流れる所、乳房」を意味するアイヌ語のトカプに由来します。帯広市と周囲の町村の人口およそ35万からなる十勝地方、今では食糧自給率1200%を誇る農業王国です。その開拓の原動力となったのが「馬」。

ばんえい競馬は、馬体重がサラブレッドの約2倍もある巨大なばん馬が最大1トンにおよぶ鉄ソリをひく。一般的に知られている平地競馬とは違い、スピードだけではなく、馬のパワーと持久力、そして障害(坂)を越える際の騎手のテクニックが勝負を左右します。また、スタートからゴールまで併走して応援できることもばんえい競馬の魅力です。

馬の一発逆転ライブショーにあわせて、敷地内にある子どもたちに大人気の「ふれあい動物園」、産直市場「とかちむら」。「とかちむら」は十勝の産地直送野菜や加工品などを楽しめるショップ&グルメの施設です。出会いは出なきゃ!

十勝でお待ちしていますね。 支部長 池田正勝(34回)

### 特別史跡 特別名勝 重要文化財 国の三重指定 一乗谷朝倉氏遺跡



福井市の南東約10キロ、足羽川の左岸に一乗谷はある。越前守護の斯波氏に仕えた兵庫の豪族、朝倉孝景は応仁の乱後、斯波氏に代わって5代にわたり、約100年間越前を支配した。戦乱

の世ではあったがこの谷あいだけは平和を保ち、武家屋敷をはじめ職人たちの家々が整然と立ち並び、約1万人が住む城下町を築き上げた。しかし、1573年、第5代朝倉義景は刀根坂の合戦で織田信長に大敗し自害する。この時、信長の軍勢は町に火を放ち、華麗な文化の華を咲かせた城下町は瞬間間に火の海となる。

この遺跡は焼け落ちてから400年余の間、灰に埋もれて眠っていた遺構を発掘し、武家屋敷の建物、街並みを復元したもの。出土品を展示する資料館も併設されている。 支部長 石橋隆夫(32回)

### くらわんか舟

北摂支部



風薫五月、北摂支部20数名は高槻の名所「万葉の里」へのウォーキング(12Km)を行いました。高槻駅から神社・寺院や遺跡を巡るハードなコースです。終点は淀川(高槻の柱本地区)にある「くらわんか船」の遺跡です。メンバーのほぼ全員、暑い

中バテ気味であったものの完歩しました。

「くらわんか舟」は、高槻の柱本が発祥と言われています。その当時の柱本の船頭達は、大阪夏の陣で徳川方の物資運搬に協力した功績で幕府から営業特権を与えられ、茶屋の商売を始めるようになりました(小舟を操り、往き来する三十石船に鍵爪をかけて近づき、飯や汁物、酒などを販売する)。またこの際、地元の乱暴な言葉遣いのまま飲食を売っても構わないと、不作法御免の特権も与えられたため、身分の高い人に対しても「くらわんか」と叫ぶことが許されて淀川往來の名物となっていました。こうした商売は淀川の水運が鉄道へとかわる明治頃まで続きました。

柱本淀川から対岸の枚方方向(枚方の宿)の景色はなかなか美しい見晴らしです。 幹事 細井三郎(35回)

### 昆陽池公園 野鳥の観察

伊丹支部



「昆陽池」は、奈良時代の名僧「行基」が天平3年(731年)に新田開発のために築造した農業用のため池で、昭和43年に一部公園化し、昭和48年に現在の姿となりました。都市部では珍しい「野鳥のオアシス」として関西屈指の渡り鳥の飛来地です。秋から冬

にかけて鴨など多くの水鳥が飛来します。また、池の中央には日本列島を形どった島が配置され、伊丹空港発着の飛行機から、見ることができます。

とくに風光明媚なこの地は「猪名野」と呼ばれ、笹の原野が広がり、風にそよぐ笹の風情は、古くから旅人の詩情をかもしだし、数多くの古歌が残されています。

その一つに「有馬山 いなの笹原 風吹けば いでそよ人を忘れやはする」(「小倉百人一首」大式三位)があります。

公園の北東には「昆虫館」があり、一年中、生きた昆虫と間近にふれあうことができます。蝶温室では南国の花々咲き乱れる中を舞う、約15種800匹の蝶の姿を身近に見ることができます。

代表幹事 瀧内和之(35回)

### 芦屋の町内会のお話

阪神支部

奥山に紅葉踏み分け鳴く鹿の声聞くときぞ秋は悲しき



今から1200年から1400年前、ちょうど、飛鳥時代から平安時代の頃、古今和歌集や小倉百人一首に掲載されているこの歌の作者は、猿丸太夫という人物と言われています。

猿丸太夫は、三十六歌仙の一人にも数えられる人物ですが、その正体は謎に包まれています。その来歴については、聖徳太子の子であるとか、山背大兄王の第三子である弓削王の別名であるとか、平安時代初期の人物であるとか、はたまた架空の人物であるとか、様々な説があります。

この猿丸太夫と芦屋には、不思議な縁があるのです。寛政八年(1796年)刊行の摂津名所図会には、「猿丸太夫古墳 東芦屋の西芦屋川の傍にあり、」と記されています。古墳は古い墓を示し、場所は、現在の猿丸家之墓(東芦屋町)にあたると思われます。

猿丸太夫と芦屋の間どの様な関係があるのか解りません。なぜなら、当時から猿丸太夫の墓は芦屋にあったのです。芦屋神社境内にある芦屋市指定文化財伝猿丸太夫墓です(写真)。このような形の石の塔は、宝塔と呼ばれ、鎌倉時代末から南北朝時代頃(約7百年前)に作られた物と考えられます。 副支部長 西澤正彦(33回)

## 淡路島が日本遺産に登録！

淡路島支部

### さらに、鳴門の渦潮の世界遺産登録を！



「古事記」の冒頭を飾る「国生みの島、淡路～古代国家を支えた海人(あま)の営み～」との歴史的ストーリーが評価され、我が淡路島は平成28年4月に日本遺産に認定されました。

構成文化財には、鉄器工房跡の「五斗長垣内(ごっさかいと)遺跡と出土品」、歴史的発見と言われた「松帆銅鐸」、伊弉諾尊・伊弉冉尊の二柱を祀る「伊弉諾神宮」、国指定重要無形民俗文化財の「淡路人形浄瑠璃」、世界最大の「鳴門海峡のうずしお」などがあり、今、淡路を訪れる観光客が増えています。

このような中、「鳴門の渦潮」の世界遺産登録の機運もさらに盛り上がり、「兵庫・徳島『鳴門の渦潮』世界遺産登録推進協議会」も設立済みで、官民挙げての取り組みが展開されています。

皆様も、是非、淡路へのご訪問と応援をお願いいたします。

監事 太田良一(39回)

## 萩往還

山口支部



日本海側の萩と瀬戸内側の三田尻(防府)を結び約53kmの歴史の道です。江戸時代に陰陽連絡の主要街道として、また参勤交代で藩主が江戸に赴く道として整備されました。

街道には宿場の雰囲気を残す集落や石畳も残っています。幕末には高杉晋作や木戸孝允などが足繁く通った道です。起点の萩は江戸時代の絵図そのままの街並みが残っており、世界遺産に指定されています。また途中の山口には湯田温泉もあり、これらの観光と組み合わせることもできます。

全行程を踏破するには2日かかりますが、歴史に思いを馳せゆっくり歩こうという方におすすめのウォーキングコースです。

支部長 藤原俊明(37回)

## 「真田丸」の舞台

和歌山支部



今年の和歌山支部のイチオシは、何と言ってもNHK大河ドラマ「真田丸」の舞台となっている伊都郡九度山町界隈の観光です。

九度山町は、真田幸村と父昌幸が関ヶ原の戦いに敗れた後、14年間の隠棲生活を送った土地で、真田家ゆかりの遺構が数多く残っています。

昌幸幸村が閑居した屋敷跡に建つ真田庵や、真田宝物資料館は必見です。また、「真田ミュージアム」は、真田父子が過ごした九度山での生活をパネル展示とドラマ仕立ての映像で紹介しています。

近くの「道の駅柿の郷くどやま」では、季節の農産物等が販売されていて、大いに楽しめます。真田の「赤備え」の如く、今まさに町中が真っ赤に燃え上がっている九度山を訪ねてください。

事務局長 西 芳男(36回)

## 「えひめの温泉」

愛媛支部



県都松山市は人口52万人。気候温暖で災害も少なく、人情味あふれる“住みやすい町”です。

この町に3000年の歴史を持つ、わが国最古の“道後温泉”があります。本館の建物全体は、国の重要文化財に指定されています。

古くは、万葉集、日本書紀などにも登場しています。

夏目漱石著「坊ちゃん」の舞台ともなり、ご自身も尋常中学校の英語教師として赴任され、いろいろと話題を振りまいた名著としても有名です。温泉の湯船には“坊ちゃん泳ぐべからず”の立て札があり、往時が偲べれます。

また「刻太鼓(ときだいこ)」が日に3回鳴り響き、訪れる旅人に独特の情緒を醸し出しています。“ぜひ、いっぺんおいでんや!”

支部長 眞鍋一美(32回)

## 広島風お好み焼きの紹介

広島支部



明治時代、「一銭洋食」と呼ばれ駄菓子屋で売られた。

一銭洋食とは、水で溶いた生地を丸く焼き、粉ガツオ、ネギ、とろろ昆布をのせて半分に折りウスターソースをかけたもの。これがベースです。

広島焼きは薄いクレープ状の生地をまず焼いてから、上に具をのせて層を作ってゆく「重ね焼き」が特徴。つまり皮は薄くてキャベツなどの野菜はたっぷり。

終戦直後、コメ・ムギなどの穀物が不足した時代、特に被害の大きかった広島では小麦粉をみんなで分け合って焼く跡に残った鉄板でお好み焼きを焼いたといわれます。小麦粉が少ないので、畑のキャベツをふんだんに入れてボリュームをだしたのだとか。

これが広島焼きが主食となった瞬間です。

支部長 陰山秀明(44回)

## 「我が支部のイチオシ」

熊本支部

熊本地震による被災に対し皆様から多くのご厚情を賜わり、誌面をお借りしてお礼を申し上げます。

復興に際して、日本人の特質を生かした取り組みが必要だと思えます。これまで日本は幾度も危機を乗り越えてきましたが、今こそ発想を転換し、ピンチをチャンスととらえ、知恵を活かした一致団結した取り組みが求められています。

さて、この原稿を書いている今(10月15日)、熊本の第2の都市の「八代市」で、「熊本地震復興祈願第29回やつしろ全国花火競技大会」が開催されています。今年は29回目を迎えますが、毎年この時期に、打ち上げ数、約1万4000発、八代市の2.3倍の約30万人の人数がある全国有数の花火大会です。

熊本は九州の中央部に位置し、東北部は世界の阿蘇山、西は天草を挟んで北部に有明海、南部は八代海を囲む山と海に恵まれた自然豊かな県です。地震や阿蘇山噴火の被災状況について多くのマスコミ報道がありましたが、現在ではほぼ全域で安全には全く問題ありません。ぜひ熊本の「自然」と「食」、「イベント」を満喫しに来ていただき、復興へのご支援をよろしくお願いたします。

副支部長 坂本純夫(39回)

# クラブ活動紹介

## 準硬式野球部

**私** たち準硬式野球部は、部員49名、マネージャー5名で活動しています。練習は江口グラウンドで行っており、日々全国大会優勝を目指して練習に励んでいます。年に二回、春と夏に強化合宿を行いチームの団結力、個々の技術向上に取り組んできました。昨年までは成績が伸びずに悩んでいましたが、前年度のチームから幹部を増やし、新体制で取り組むことで、人数の多いチームの練習の効率化に成功し、さらにチームがまとまりやすくなりました。その結果、昨年の秋はリーグ優勝を果たし、関西選手権では準優勝、先日行われた清瀬杯(全国選抜)では、苦しい戦いにも粘り勝ち優勝することができました。

去年の体制を受け継ぎ、さらに新チームでは下級生を幹部に登用



し、よりまとまりのあるチームを築きました。その結果、今年度も秋季リーグ戦優勝を果たし、関西選手権出場権を勝ち取りました。昨年度の成績を上回るようにチーム一丸となって頑張ります。

## 陸上競技部

**私** たち大阪経済大学陸上競技部は、各ブロックに分かれてそれぞれの目標を達成するために日々練習に取り組んでいます。



短距離、跳躍、投擲ブロックは関西インカレ、西日本インカレで入賞することを目標としています。それぞれのレベルに合わせて主体的に練習に取り組むことができるので、各部員高い目標をもって競技に取り組んでいます。近年、部員数が大幅に増加し、チームのレベルも非常に向上しています。練習の雰囲気も非常によく、着実に部員の競技力が向上しております。

長距離ブロックは全日本大学駅伝出場、関西学生駅伝で優勝することを目標として日々の練習に取り組んでいます。本年度は全日本大学駅伝の関西予選会で3位に入ることができ、全日本大学駅伝の切符を獲得するとともに、関西の頂点を狙うことができると手応えをつかみました。練習量では他のどの大学にも負けていない自信があり、日々の練習で培った粘り強さが強みだと思っております。各ブロックとも更なる高みを目指して、それぞれの目標に向かってチーム一丸となって取り組んでいます。

## チアリーダー部

**今** 年度はチアリーダー部の活動が大きく変化した年でした。人数が少ないイメージが強かったチアリーダー部もついに部員数20名を超え、大樟祭ではD館前ステージでは狭く感じるほどになりました。今年度は新入部員全員がチア未経験の初心者でしたが、三段技で観客を沸かせることができました。

また、昨年度までは硬式野球部・アメリカンフットボール部のみの応援に行かせていただいていたのですが、今年度は準硬式野球部・男子ラクロス部・ラグビー部と幅広い競技の応援に挑戦しました。種類だけだったユニフォームも、後援会からのサポートで硬式野球部応援用の新しいユニフォームを作らせていただくことができました。これからもより多くの部活の応援に行き、少しでも勝利に貢献



できるよう笑顔いっぱい頑張るので応援よろしくお祈いします！たくさんの方に試合の応援に来ていただき、勝利の学歌を一緒に歌いたいと思っています。

## 邦楽部

**我**が部では、主に年2回開催される演奏会に向けて、箏・三味線・尺八の三種類の楽器を使って、週4回練習に励んでいます。伝統ある部活として、礼儀作法などをしっかりと伝えていくことで、個々の意識向上を図っています。

演奏会以外にも、地域の方と共同で「ランチタイムコンサート」を隔月で開催して、積極的に演奏を行っています。2016年度に行われた定期演奏会で、部の節目となる50回目を迎えることができ、今まで部を築き上げていただいた先輩方とのコラボ演奏を実現することができました。今回の演奏会で、部員一同が更なる邦楽追求や主体性を見つめ直すいい機会になったと思っています。

これからも、クラブ方針である「邦楽追求」「主体性尊重」を基に、

部員一同がともに成長できるように改善すべきところを見つめ直し、受け継ぐべき伝統を後輩たちへ残していこうと思っています。



## 写真部

**写**真部は現在64名で活動しており、私たちが第68代目となりました。こうして長きにわたり活動を続けることができるの



も、部員、諸先輩方、その他関係者の方々、そして、会場に足を運んでくださる方々のおかげだと日々感謝しております。

展示会は学内で2回、学外で2回の計4回行っています。展示できる作品数が多い学外展では、時代の変化に伴いデジタルカラー作品の割合が増えています。また、デジタルモノクロの部門をつくるなど新たな取り組みをしました。今後も、フィルムモノクロの作品は伝統として続けていきたいと思っています。

また、一昨年に続き大阪工業大学の写真研究部と合同撮影会を行いました。こうした外部との繋がりが今後大切にしていきたいと考えています。

これからもより良い活動ができるよう、部員一丸となって励んでいきたいと思っています。

## E.S.S部

**私**たちE.S.S部は週に3回の活動を通して、英語能力の向上に励んでいます。活動内容としては主に、TOEICに向けての対策、英会話、プレゼンテーション、発音練習などを行い「読み」「書き」「聞く」「話す」という4つの能力を鍛えています。英会話では日常的なものだけではなく、討論できるようなお題を用いて話しています。プレゼンテーションでは、プレゼンテーション大会で結果を残すために、お題に対してどれだけ分かりやすく、流暢に英語で説明できるかを練習しています。そして、英語を話すうえで重要な発音を良くするために、基礎的な発音を練習しています。

その結果、英語に対する関心、意欲が向上し、E.S.S部からの留学経験者を多数輩出しました。そして、TOEIC700点以上を保持して



いる部員は8人になり、今もそれぞれがTOEICの記録更新に励んでいます。

## ボランティアクラブ

**ボ**ランティアクラブは障がいを持たれた方や子どもたちにレクリエーションや外出、キャンプなどの活動を通じて、人と接して交流できるような場を持ってもらうことを目的とした部活です。現在は9つの団体様を主な活動先としており、それぞれの部員がそれぞれの活動で一生懸命、活動に努めています。一昨年の東淀川区民ホールで開催した「ハートフェスタ」という大規模イベントでは、祭りをテーマに、学生が企画したうちわ作りや半被作りなどの工作、射的やコイン落としなどの催し物、ダンスや劇を行い、多くの参加者の方楽しんでいただき、また、部員同士の結束力も高まりました。今年度は多くの新入部員を獲得できたこともあり、一つ一つの活



動が賑やかになり多くの参加者から好評の声をいただいています。この調子で、さらによりよいボランティアクラブを目指していきたいと思っています。

## アルバム委員会

**ア**ルバム委員会では、毎年、卒業生に向けての卒業アルバムを制作する活動をしています。ゼミやクラブ・サークルの撮影をはじめアルバムの制作をするところまで自分たちで行っています。そして毎年3月の卒業式で販売を行っています。

昨年から新たな撮影スケジュールを組み、一年を通して活動することにより部員全員がアルバム委員会の活動に多く関わることができるとともに、卒業する4回生へ卒業アルバムの存在や撮影の認知をしてもらえるように努めています。

部員たちはほとんどが大学から一眼レフを使いはじめましたが、卒業アルバムの撮影のために日々カメラ技術の向上に励んでいます。また、委員会全体としても合宿や撮影練習会などを積極的に行っ



ています。今年も卒業アルバムが素敵なものになるように部員全員で頑張っています。

## 全クラブ一覧 (2016年11月現在)

### ●体育会

合気道部  
アイススケート部  
(スピード・フィギュア)  
アメリカンフットボール部  
空手道部  
弓道部(男子・女子)  
競技スキー部  
剣道部  
硬式庭球部  
硬式野球部  
ゴルフ部  
サッカー部  
少林寺拳法部  
自転車部  
(レース・サイクルサッカー)  
自動車部  
柔道部

重量挙げ  
準硬式野球部  
水泳部  
ソフトテニス部  
ソフトボール部  
卓球部  
チアリーダー部  
日本拳法部  
ハンドボール部  
バスケットボール部  
バドミントン部  
バレーボール部  
ボクシング部  
洋弓部  
ヨット部  
ラグロス部(男子・女子)  
ラグビー部  
陸上競技部

### ●芸術会

映画研究部  
演劇研究部  
ギタークラブ  
グリークラブ  
軽音楽部  
茶道部  
写真部  
邦楽部  
マンドリンクラブ  
落語研究部

簿記会計研究部  
ボランティアクラブ  
ユースホステルクラブ

### ●独立総部

アルバム委員会  
CBS文化放送局  
吹奏楽総部  
ワンダーフォーゲル部

### ●総部会(Ⅱ部)

会計学研究部  
Ⅱ部軽音楽部  
フットサル部  
Ⅱ部バスケットボール部

### ●学術会

E.S.S部  
将棋部  
証券研究部  
パソコン部  
文芸部

2016年度パソコン教室を終えて

「挑戦」。挑むことを諦めない



実行委員長 北林麗奈  
(情報社会学部情報社会学科4回生)

皆様のご協力の下、2016年度パソコン教室を9月3日(土)、4日(日)に開催させていただくことができました。スタッフ一同、心よりお礼申し上げます。

パソコン教室は学生が運営し、同窓会員並びに後援会員の皆様にパソコンの知識を提供する場であり、現在の大阪経済大学の現状を知っていただく場でもあります。

2016年のパソコン教室のテーマは、受講者様もスタッフもこの教室を通じて何かに挑む勇気を持ってほしいと願い、「挑戦」とさせていただきます。私の周りには、何かを諦めている人がたくさんいます。ダイエットを諦めた同級生、厳しいからと部活動を諦めた後輩、そして、難しいからとインターネットの利用を諦めた祖母がいました。祖母は、新しいもの好きでどんなことにでも興味関心を抱き、笑ってやってみせる元気な80歳です。ですが、スマートフォンが普及した時だけは、「機械が分からないから」といって、拒んできました。「もう年だから」と祖母の口から零(こぼ)れたときはひどく悲しかったことを覚えています。そこで今一度、祖母にも、祖母と同じ様な想いを持っている方にも、「挑む勇気は年齢など関係ない」ということを伝えたく、このパソコン教室を運営してきました。

思ったよりも準備は大変であり、仲間との連携はとれず、何



度も何度も挫(くじ)けて辞めてやろうかと泣いた日もありました。しかし、ここで私が諦めると「挑戦」した意味がないと気づき、自分を叱咤しながらなんとか開催させていただくことができました。背中を押してついてきてくれたスタッフはもちろん、同窓会事務局、同窓会・後援会員の皆様、教務課、総務課、学生課、管財課、広報課、情報処理センター、守衛室の皆さまの協力があったからこそ、無事にパソコン教室を終えることができました。この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。

本番では至らない部分もありましたが、受講者の皆様が温かく見守ってくださったので、私たち学生スタッフも楽しく講義を行えました。私自身はあまり授業に参加することができませんでしたが、多くの方が「代表さん、今年もありがとう」と伝えに来てくださり、今までの努力が報われた気がしました。

今回の教室で、私は何段もの階段を昇れたように思えます。私を成長させてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。来年度はよりパワーアップしたパソコン教室を開催できるよう、学生スタッフも頑張りますので、来年度もぜひご参加ください!

本当にありがとうございました。

## エアロイター 成長戦略

営業  
収益 **300** 億円  
達成を目指す

平成28年8月  
米国に子会社設立

日本と中国・東南アジアを結ぶ物流ネットワークの強化と国際貨物輸送のサービス向上に努めてまいりましたが、今後の貿易自由化を踏まえて、新たに北米を拠点とした国際輸送サービスを提供し、更なるサービス拡充を目指します。

AIT International of America, Inc.

本社所在地 米国カリフォルニア州  
ロサンゼルス郡トーランス市

代表者 新米 清弘

設立年月日 平成28年8月26日

資本金 500,000米ドル

出資比率 当社 100%

## 目標達成に 向けての 成長スピードの加速

日本・中国・東南アジア  
三国間の輸送ネットワークを構築

中国

- 中国発日本向け輸入貨物の取扱い量の拡大

タイ

- 日本人駐在員の常駐による営業強化

ベトナム・台湾

- 現地法人新設を検討

新規分野の開拓

- 自動車関連・化学品・食品関連への営業を開始
- 業界の専門知識を持つ人材を積極採用

日本・アジア⇄北米ルートの構築

- ロサンゼルスに現地法人を設立

他社との提携

- 資本提携を伴った企業間のシナジー効果の追求

2015年 コンテナ 荷動き (TEU)	往 航 <sup>※1</sup>	復 航 <sup>※1</sup>
アジア (18ヵ国) <sup>※2</sup> ⇄ 米国	1,515	638
日本 ⇄ 米国	63	74
日本 ⇄ アジア <sup>※3</sup>	173	224
アジア域内 (日本+12ヵ国・地域)	1,479	

※1 11月1日現在  
※2 11月1日現在  
※3 11月1日現在  
※4 11月1日現在



「澱江」で、かつて好評を博した「北から南から」のページを17年振りに復活しました。このページは、全国各地の同窓生からのお便りを掲載します。また、次号も同窓生の方の楽しいお便りを募集いたします。

近況等を400字程度にまとめていただき、ご住所、お名前、卒業年度、電話番号を明記の上、原稿にふさわしい写真あるいは顔写真を添付してお送りください。採用させていただいた方には薄謝を進呈いたします。

・締め切り 平成29年7月末必着  
 ・送付先 〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 大阪経済大学大樟会「北から南から」係 宛 okusu@osaka-ue-denko.com  
 ・eメール

### わが学生時代の思い出



大盛 豊一(23回)

私は母校第23回卒です。戦後間もない貧しい時代に母校に入学したことになります。区役所の事務アルバイトが日給200円でした。食べ物といえばお好み焼き、焼きそばが大の馳走でした。

母校は小規模校とあって多くの先生方や事務職の皆さんとも顔馴染みになり親しくしていただくことができました。

私達の学生時代は、現在のような実学ではなくアカデミズムが主流をなしていたので、毎日の講義で自身の知識を存分に蓄えることができました。それを元手にして難解な本にもよく挑んだものでした。それが卒業後大いに役立ったと自負しています。

現在、年齢83歳と8カ月、年々健康が衰え、母校や学友との惜別の日の間近いことを意識しています。

学生時代に多くの知識を授けてくださった今は亡き先生方のお姿を偲びつつ、母校への思い出の一端といたします。

宮崎県宮崎市



地元の小学校を退職しました。勤続38年、学校教育、社会教育等に携わりました。とくに昭和56年4月から3年間、派遣社会教育主事として、生涯学習に取り組んだことが印象に残っています。また、平成7年10月には、「愛媛県教育海外派遣第382団(アメリカ班)」の団長として国際親善の重責を果たすことができました。

退職後、生徒指導員、市青少年センター補導員、民生児童委員等々を歴任しました。平成23年4月から朝倉人権教育協議会会長を務め、「家(庭)・学(校)・社(会)」連携で推進する人権教育を目指して、現在に至っています。

終りに、「大阪経済大学」が益々繁栄されるよう期待しております。

愛媛県今治市

### 私の近況

土田 勲(28回)



平成12年に家電業界三洋電機を卒業して学習活動が主体の生活となると同時に全国インストラクター協会関東支部長に就任しました(会員数約50名)。協会は会員相互の自己啓発と知識向上を目的に財団法人国際生涯学習財団の付設機関として発足、年3回の主行事を実施しています。一例では、外部講師講演会にホーチキ(株)藤本元会長(34回卒)をお招きし(平成24年2月)、会員発表会では大隅たつみさん(39回卒)の“60年を振り返って”を発表、毎年11月にはタウンウォッチングとして東京街シリーズを続けて11回目になります。また、私個人の学習活動として経営診断の国家資格取得の学習を続け、昨年は8月に財務・会計部門に合格しました。またボランティア活動として千葉市花見川区で認知症予防“脳の健康教室”のサポーター役を引き受け、生徒45名に対応しています。一方、「健康は自分の努力で勝ち取るモノ」をモットーに、毎早朝、花見川岸周辺約5kmをスロージョギングし、ラジオ体操等を実行しています。健康歩数データ：平成27年5月25日～28年9月15日累計5,754,769歩。

千葉県千葉市

### いつまでも元気で生きたい



矢井 久義(23回)

気がつけば今年で82歳になっておりました。これ迄ほとんど毎週2回はゴルフに出かけておりました。ところが一昨年12月に腹痛が激しく、胆のうの切除手術を受けました。

腹部の切開手術でしたので回復しても違和感が残り、以前のようなスピードのあるスイングができず、スコアもハンディ通りのゴルフができなくなりゴルフ場へ行くこともつらくなりました。シングルハンディをいただき、クラブの代表選手にもなったという変なプライドがあり、友人からお誘いがあったらしばらくの間ゴルフができませんでした。そのうち自分の生活の中で何かが壊れてゆく様な気がして不安感がつのりました。友人からはエージシュートを2回も達成した者がこれでゴルフ人生を終わらせるのかと言われ、自分の中でも「はっ」と思い、恥しく思いました。

今ではプレッシャーのゴルフから楽しむゴルフに変わり、畑仕事をやりながら体力の維持に努めております。

岐阜県岐阜市

### このごろ 思うこと

越智 敏夫(27回)

私の住む朝倉は、今治市の東部に位置し、西条市に隣接する。水と緑に囲まれた自然豊かな文化の里であり、昭和48年5月に全国で1号の「緑の少年団」が結成され、自然を大切にしている地域です。

本学卒業後、昭和36年4月から中学校教員になり、平成11年末に

### 近況

伊藤(楢本) 武士(29回)



5年前、胃がんが見つかりました。初期ではありましたが、手術で80%を切除しました。退院時、主治医は事もなげに、「もう、一生肥ることはないでしょう」と宣告。元々、小柄で、術前は54kgでしたが、今は39kg、早く40kgになりたいなあ、という情けない日々です。しかし、再発の兆

しもない様子。食べる量は、いまひとつながら、酒を飲むことに関しては昔に戻りつつあります。何せ、ここ福岡は、美味しい食べ物の多い処、特に、魚の新鮮で旨いことは有名。夫婦で、二人宴会と称して、毎晩、楽しい晩酌をしております。

実は、57歳の時、定年を前にして、永く勤めた会社を退職しました。上司、同僚から、「何故?」、「これからどうする?」と、色々と言われました。答はとも単純な理由。「もう、仕事するのがいやだ」、これしか思い当たらない。

東京生活を畳み、ここ福岡へ。あれから20年、楽しい日々を送っています。

福岡県福岡市

## 想い出と現況

岡野 敦(31回)

昭和40年3月卒。在学中の想い出は、老朽化した校舎と水をまいて使用した体育館、体育の時間は江口の里まで出向いた運動場等々。また、周辺の環境は、川の臭さ、汚さ、柵もない危険なドブ川が記憶に残っております。卒業後の就職を心配しながら神戸から片道2時間30分かけて4年間無事に通学して、楽しい学生生活を過ごしました。現在の母校は素晴らしい現代風建物に変身し、学部も増え、ますます活気づいている昨今には驚かされます。

私も大学後援会会長を3年、同窓会香川支部長を20年間勤めさせていただき、母校の発展と変貌を見てまいりましたので、感激はひとしおです。

卒業後、ホテル関係の仕事を40数年間してまいり65歳で定年を迎え、70歳にて年金生活者となり、のんびりと余生を送っています。

大学のますますの発展と同窓会大樟会の活躍、皆様のご盛栄とご健勝をお祈り申し上げます。

香川県高松市

## 我が母校の発展を祈る!

杉本 直士(32回)



本学を卒業して44年間のサラリーマン生活(地方銀行・厚生労働省独立行政法人等)も66歳で終えました。

以後、マンション管理士事務所、月極駐車場、賃貸ハイツを経営しております。現職時代多くの先輩・後輩と仕事を通じ出会い、母校への「思い入れ」を強く持つことができました。また、その「絆」を仕事に生かすことができ、幸せを感じています。一方、自身の健康管理のため、月2回のゴルフ、毎日のスポーツクラブ通いが生活のリズムとして定着しています。そこでまた新しい仲間が増えました。孫も今年4月から大学生。残念ながら本学への進路とはなりませんでしたが、今や大学乱立時代、その上、少子化で大学経営はたいへんな時期だと推測しています。本学の特徴である先輩諸氏の社会への貢献を礎に、社会から要請される大学を目指していただきたいと感じています。わが母校の永遠の発展を望み、さらなる経営努力に期待いたします。

京都府木津川市

## 今も仕事が楽しくて

半田 正(32回)

私は夜間部の卒業ですが大変満足しております。23歳で入学、27歳で卒業後社員70人程の会社で5年間働き、33歳で起業。卒業から50年の今も小さな会社を運営しています。ミセスの婦人服のS.P.A(製造小売業)、全国に200店舗程の売場があり、毎日楽しく会社に出ています。今78歳。しかし年齢は関係なく元気に働ける今

が幸せです。

昭和46年起業、平成4年11月、当時、売上70億円の会社が倒産、負債63億円、しかし3カ月後に再出発、今は30億円程の売上、無借金の会社です。

何事も経験と、すべてを勉強と思う毎日を過ごしています。

近々、夜間卒業生の会を作ろうと、仲間と相談しています。ご参加の方、よろしく声をかけてください。

兵庫県芦屋市

## 人生の岐路に立って

荒木不二夫(32回)



作家、城山三郎の「そうか、もう君はいないのか」が胸に響く毎日が続いています。

一昨年、病で妻を見送りました。

波動的に彼女の在りし日々が思い浮かび、その脱力感は、日増しに強まっているようにさえ思われます。

そうした中で、昨年夏の初め、小学校の同級生数人で、同級生が持つ能登半島の別荘に出掛けました。意気消沈の私を気遣って誘ってくれたものですが、気が置けない者同士の会話や、熱気あふれる夜祭り見物で久し振りに気持ちが癒されました。

ただ、「宴」のあと一人に戻った時の落差は大きく、何とも言えない“空しさ”に襲われました。

このようなことの繰り返し、永く続いていくものだと思います。

日頃、趣味やサークル活動に勤しみつつ、この“空しさ”とどう共存していくのか、私にとって目下最大のテーマとなっています。

富山県射水市

## 「ユニークで多彩な友達へ・福井から」

畑守 喜久男(32回)

私は、無色(職)透明人畜無害の全くの隠居です。毎朝の神仏のお参りと、自宅周辺の草花を愛で、体力維持のため、名勝「気比の松原」のウォーキングの日々を送っています。

認知症回避の手段として、敦賀に馴染みの「おくのほそ道」の朗読、「ロシア語講座」の受講など身の丈に合った思考回路を動かせ奮闘中です。お蔭さまで、年相応の病は小康状態です。

私は、(32回)のユニークで多才な友人に囲まれています。年に1~2回位の交流ですが、学生時代に素直に戻れて、青春のあの情熱が懐かしく感じられます。就中、福井在住のOBは我々を「黄金の32期生」と称し、讃えてくれます(高度成長期で地元福井県に大半が戻り就職し団結力は強い)。

一昨年には大経大大樟会福井支部創立50周年記念事業もジャパネットたかたの前社長高田明氏を招き、成功裡に終了いたしました(既報)。地方にあって大阪経済大学・大樟会の存在感を大いに示すことができたものと自負します。

その時に参加者の拡大・掘起しの意味もあり、古い名簿を頼りにどぶ板選挙の如く一軒ずつ訪ね歩き各人の現状を確認しました。昨今、振込詐欺の問題もあり、名簿の出所などいろいろ叱責を受けるようなこともありました。各支部にても同様なことはあるのではないのでしょうか?でもこの現状確認作業は支部存続の不可欠条件だと信じます。

我々は、大阪経済大学の卒業生として誇りを持ち地域社会に貢献することが、微力ながら大学ならびに大樟会の発展に寄与するものと確信します。

最後に、第87回選抜高校野球で全国優勝した敦賀気比高校のある港町敦賀に住んでいます。是非お立ち寄りの程お待ちしております。

福井県敦賀市

## 苦しくも楽しい「美味しい米作り」

野澤 雄一(35回)



昭和44年4月に福井テレビに入社し、平成22年に常務取締役を最後に卒業してから、有機肥料無農薬農業に精を出している。お陰様で、全国東は千葉県から西は福岡県まで安心・安全のお米を買ってくださるお客様がいる。除草剤を使わないので、有機対応の除草シートを使ったりチェーン除草をしたりして、無農薬の強敵に立ち向かっている。「有機の会」ではお互いの経験を伝え合い、向上心旺盛な仲間刺激をもらっている。

それでも、自慢のこだわりのお米は、厄介な稗(ひえ)を手取り除草している。猛暑の中での草取りはシンドイが、沢山の方々に美味しいと言ってもらえるから辛さも汗と一緒に吹っ飛ばす。自然相手であり、失敗しても一年に一回しか挑戦できない。この年になっても日々勉強の毎日である。

ゼミは中村九一郎先生にお世話になった。部活はESSに所属し、半年後ぐらいからはISA大阪支部に所属し卒業まで活動をしていた。

大学時代の先輩・後輩の方々や友人と時々会ったりもしているが、長い間連絡をとれてない人達もたくさんいる。このメッセージを見て連絡をいただけたら嬉しい限りだ。

携帯電話番号 090-2034-9782

メールアドレス y-nozawa@mx2.fctv.ne.jp

福井県坂井市

## 在学中の思い出

城野 荘七(40回)



在学中の思い出は色々ありますが、なかでも4年の時一人旅でロシア・ヨーロッパ・モロッコ・中近東・インドや東南アジアを半年間旅行(半分放浪)したのが強い印象として残ってます。現地の人々の家に泊ったり多くの人と知り合い、たいへん有意義でした。

寮での詩吟クラブや下宿先、バイト先での多くの出会いが思い出として残っています。諸先生や友人との出会い、またその後の多くの人との出会いが私の今現在を作っていると思います。今後もいろいろな人との出会いを大切に、「なんでもやる」をモットーにしようと思います。

現在リタイヤして、百名山を目指しての山登りや国内外の旅行を楽しんでいます。

今後の大経大の発展を願ってます。

福井県越前市

## 私の近況報告

中村 忍(41回)



自営業をしていることもあり、65年間生まれ育った茨木市から出たことはありません。おかげで中学時代・高校時代・大学時代と同窓会から声を掛けられては楽しく出席しています。

在学中は旅行研究会に在籍し、その時の友人4人で毎年、温泉旅行をしています。平成26年、46年ぶりに学生時代に40日間援農アルバイトをした北海道根室の牧場を訪ねました。牧場はなくなり住宅地になっていましたが、よく覚えていてくださり大歓迎され、思い出話に花が咲きました。

6年前、地元で北大阪支部会が結成され、支部会主催のバス旅行に家内と共に参加したところ、先輩・後輩の皆さんの知遇を得ることができ、その後親しくさせていただいております。

今後は支部会の活性化にも尽力したいと思います。

大阪府茨木市

## 卒業して40年

吉村 雅由(42回)

卒業して早や40年が過ぎました。卒業後は大阪に本店のあった銀行(福徳相互銀行)に就職し、銀行業務に精を出しました。入行後12年が経った頃、独立創業を志し、大阪の不動産会社(日住サービス)で3年半勉強し、38歳の時に不動産会社を設立し独立、早や25年が経過しました。社員10人足らずの小さな不動産会社ですが、業務内容は土地・建物の売買仲介と、賃貸マンション・テナントビル等の管理、および社有物件の家主業と、比較的浮き沈みの激しい不動産業界では、安定した業績をあげているものと自負しております。

仕事の関係で東淀川区の大学の近くにも時々行くことがあり、校門を出入りしている若い後輩達を見ては、学生時代の思い出に浸っております。学生時代の思い出は倉辻ゼミでのマックス・ウェーバーの研究です。ゼミ生の3回生・4回生による合同合宿研究や、能登半島や伊豆半島で行われたゼミ旅行は、今も楽しい思い出として心に残っています。

60歳を過ぎた頃から毎年11月に開催される大樟会総会とホームカミングデーに、同期生を誘って是非一度参加したいと思っています。

奈良県北葛城郡

## 後輩諸君の健闘を願う

石田 哲彦(45回)



“北から南から”が復活、そして自分にお鉢が回ってくるのも何かの縁と思い、寄稿させていただきます。

卒業以来37年、還暦を迎える年となり、また勤続も37年、昔ならとくに定年となるべきところ、少子高齢化による就業人口の減少から、シニア世代の活用などで弊社も定年が65歳に延長となり、もうしばらく現職でご奉公と相成った次第であります。

高齢化の進展で後輩諸君は、将来多くの高齢者を養わなければならない中、年金年齢も今後どこまで引き上げになるか先が見えない中、一億総活躍の掛け声の中、老骨に鞭打って、いつまでも働かねばならない社会が到来するのかもしれないと思えます。

また非正規雇用の広まりにより、雇用格差が拡大し、貧富の差もまた拡大するという負の連鎖の発生も危惧されます。

ただ、未来は暗いことばかりではありません、将来を担うべき平成生まれの諸君、設備や機器などを含め、教育環境もまた長足の進歩を遂げています。

そのような環境で学ばれた諸君は、その能力と経験を存分に発揮し、信念を持って日々精進されれば必ずや道は開けんものと思います。益々の後輩諸君のご健闘を祈ります。

あと5年働かねばならなくなったことで、飲料自動販売機に御用の方はご一報いただければ幸いです。

大阪府豊能郡

# 社労士大樟会

**社会保険労務士は企業の健全な発展と働く人々の幸福を目指します!!**

育児介護休業法・労働者派遣法・労働契約法・高年齢者雇用安定法が改正されました。「雇用」をめぐる情勢は大きく変化しようとしています。「社労士」は雇用管理のエキスパートとしてこれらの法改正を企業の現場にソフトランディングさせる「コンサルテーションを行う実務家」です。

社労士大樟会 会長 久保 太郎(31期)  
【2013年11月3日 旭日小綬章 受勲】



社労士大樟会は2008年7月に誕生した大阪経済大学同窓会の職域支部です。学術の研究、講演会の開催等会員の資質向上及び社会的貢献につながる事業と会員相互の親睦をはかる事業を行っています。社労士資格をお持ちの同窓生の皆さん!ぜひご参加ください。「つながる力」を結集しましょう。

お問合せ先:事務局長 西平 綾太(48期)  
TEL 072(472)2297 FAX 072(471)7226

## For a Lively World



大成建設の技術で実現する未来都市

For a Lively World...この思いとともに、これまで育んできた技術を、さらに高め次の世代へ。わたしたちは、夢と希望に溢れた地球社会づくりに取り組んでいきます。

地球がいいき、人もいいき。大成建設がめざす未来です。

地図に残る仕事。®



大成建設株式会社

## 北海道支部

### 懇親を深めるために



平成28年10月28日(金)東京ドームホテル札幌にて、学校より草福総務部長、同窓会より上田常務理事のご出席をいただき、支部総会・懇親会を開催しました。

支部会員の参加は8名で、例年通り和気藹々と懇親を深めることができました。支部会員の皆さんは、年に一度の懇親会を楽しみにされており、いつも毎回予定時間いっぱいまで盛り上がっています。

ゆったりと同窓会仲間と語りたいというご意見もあり、来年の支部総会・懇親会は、久しぶりに温泉宿泊形式で開催しようと考えております。

幹事 鵜飼泰正(51回)

## 富山支部

### 和やかな雰囲気総会開催



平成28年7月10日(日)午後3時より、富山市の富山第一ホテルにて富山支部総会を開催し、会員の皆さんの交流と親睦を深めることができました。同窓会より石橋隆夫常務理事と大学より藤本高志経済学部長のご出席のもと、総勢15名の和やかな雰囲気学園の現状と将来についての報告をいただきました。

例年、必ずこの支部総会に参加されていた方で、しばらく参加されなかった方々が久しぶりに顔を出されました。その間の事情を伺うと、家族の不幸や闘病生活などご苦労のほどが偲ばれる総会となりました。

しかしながら、久しぶりに参加された方や返信に記された『ご苦労様』の一言。あるいは住所変更の連絡など信頼していただいていることを支えとして、この会をできるだけ大切にしていきたいと思っております。

これからも多数の会員の皆様にご出席をお願いし、活発な総会になるようお願いします。 事務取扱 野田 満(48回)

## 東京支部

### 森田新支部長体制で初の支部総会を開催



平成28年9月14日(水)午後6時30分より、28年度東京支部総会、懇親会を銀座「Sun-mi高松」にて開催いたしました。柳に煙る霧雨の中、当日は大学より佐藤理事長、大樟会から内田敏雄常務理事のご臨席をいただき同窓諸兄弟32名の集いとなりました。

来賓の佐藤理事長からは母校の現状と将来に向けた取り組みについて、内田常務理事からは入学志願者動向、同窓会奨学金制度など大樟会の取り組みが報告されました。

また、本年度支部総会において藤本支部長からご推挙をいただき、浅学菲才の身ではありますが、私、森田が新支部長に選出されました。歴代支部長の功績を考えますと、たいへん身の引き締まる思いであります。会員皆様のご理解とご支援を得ながら、微力ではございますが支部活動発展に誠心誠意努めてまいります。

今後は総会、親睦会にとどまらず、世代を超えた同窓生相互の交流の場となり、お役に立てる東京支部を目指してまいりますので、同窓生皆様のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、長年にわたり東京支部を牽引し、発展にご尽力いただきました藤本前支部長に深く感謝申し上げます。

支部長 森田幸伯(45回)

## 石川支部

### 歌舞伎の町 小松市で開催



平成28年11月12日(土)、建設機械メーカーKOMATSUのお蔭元、歌舞伎の町として知られる小松市において県内より22名が参加して総会および懇親会が開催されました。総会は物故者への黙禱、鍛冶支部長の挨拶に続き議案の審議に入り、満場一致で承認されました。

ご来賓としてご臨席いただいた木村経営学部長より入学、就職状況のご説明やクラブ活動での成果、大学としての今後の方針等を報告いただきました。また、大樟会本部内田事務局次長より現在の大会としての問題点やそれに対する取り組み等についてお話を伺いました。

続いて記念撮影を挟み懇親会に移る。会場手配等に尽力いただいた嵐南加賀部会長、ご来賓の石橋福井支部長挨拶の後、田中能登部会長の発声により乾杯。NPO法人楽衆玄達 代表本裕和美さんの篠笛とフルートの演奏の中、宴は次第に盛り上がり、一人一人が自己紹介と近況報告、大学時代の思い出などを披露しました。33回から70回卒業まで年代にバラツキはあるものの、世代を超えた和気藹々とした楽しい時を過ごすことができました。 理事 竹村嘉一(49回)

## 福井支部

### 福井支部総会開催

#### 同窓会設立80周年記念事業について報告



6月11日(土)、出雲大社福井分院出雲記念館において、平成28年度支部総会を開催しました。大学から木村俊郎経営学部長、大樟会から春木洋次常務理事、角庵勝巳常務理事、五十榎保彦愛知支部長、鍛冶一英石川支部長、山根一男岐阜支部長、中野恵介京都支部副支部長を来賓として迎え、午後6時に開会。平成27年度の収支決算、28、29年度支部役員承認など議事を終了した後、来賓の木村教授からは入試の状況、就職の状況、将来に向けた大学の問題点、これに伴う大学の取り組みなど丁寧に大学の近況が報告されました。大樟会の春木常務理事からは同窓会設立80周年記念事業として大学の緊急修学援助奨学金制度および遠隔地奨学金制度への支援、大学創設者である黒正巖先生が命名された京都の「哲学の道」の表示板改修など大樟会の取り組みが報告されました。

記念撮影の後、角庵常務理事による乾杯の発声で懇親会に移りました。懇親会は昨年の記念祝賀会と比べると規模は小さくなりましたが、アトラクションとしてお願いした山崎智里さんのマリンバ演奏を聴きながら、1年ぶりに再会した参加者全員が和気あいあいの様子で酒を酌み交わしていました。終わりは全員が肩を組み、笹原幸信さんのリードによる恒例の学歌と逍遙歌を歌って締めくくりました。

支部長 石橋隆夫(32回)

## 静岡支部

### 継続は力なり



平成28年8月6日(土)ホテルセンチュリー静岡において、大学より草福弘樹総務部長、大樟会より川口正義常務理事をお迎えし、支部会員4名の参加で支部総会を開催しました。

毎年のことですが全員の自己紹介・近況報告等、終始和やかな雰囲気です。

さて、大学の近況については、私からも支部会員に伝えていますが、「百聞は一見にしかず」という諺もあるとおり、支部会員に大学キャンパスを一度訪問していただき、母校の変身を肌で感じて欲しいと思っています。

静岡支部はいつも少人数の総会になっていますが、毎年支部総会を開催し一人でも多くの同窓生が参加してくれるよう働きかけ続けていくつもりです。

支部長 大塩博喜(40回)

## 岐阜支部

### 有志5名が大学駅伝応援



平成28年11月27日(日)、新岐阜駅前の岐阜キャッスルインホテルにおいて、岐阜支部復活後5回目となる支部総会を開催いたしました。

当日は、大学本部から平等文博士人間科学部長、大樟会本部より竹中亨事務局長ほか、近隣の愛知・滋賀・福井支部からも支部長らに参加いただきました。

総会後の歓談時には、今年もセミプロのシャンソン歌手によるミニライブで大いに盛り上がりました。

岐阜支部として、本年特筆すべきこととして、11月6日(日)の全日本大学駅伝に際し、5名の有志が10本の応援旗を携え、三重県川越町の第2中継ポイントまで応援に出向いたことです。久方ぶりに母校の応援に声を嗚らし、燃えました。

本年(2017年)は、岐阜支部の母体である東海支部(今は各県ごとに分散)設立70周年とのことで、記念として愛知支部と合同での開催を求める声があつきました。歴史ある大樟会の伝統をかみしめながら、母校の発展と同窓生のご健勝を願っています。

支部長 山根一男(46回)

## 愛知支部

### 「大学駅伝」応援の話で盛り上がる



平成28年10月23日(日)正午から、名鉄ニューブランドホテルにて総会を開催いたしました。

大学本部からは、崎田洋一事務局長、大樟会からは、内田敏雄事務局次長、石橋隆夫福井支部長、佐藤啓太郎滋賀支部長、田中伸治京都支部長、山根一男岐阜支部長、池山英典三重支部長のご臨席をいただきました。大学の近況や大樟会としての取り組みなどお聴きました。その後は各自の自己紹介に話が進みました。

話題の一つに、11月6日(日)に行われる全日本大学駅伝の話になりました。地元、愛知と三重を駆け抜け、母校の襷をつないでいく姿を皆で応援しようと話は盛り上がりました。

また来年は愛知(東海)支部誕生から70年を迎えます。来年の支部総会には多くの同窓の方々をお招きできたらと、役員一同願っております。

追伸：この原稿を書いているのは、『大学駅伝』の後です。陸上競技部の皆様お疲れ様でした。応援に駆けつけてくださった方々お疲れ様でした。来年もまたこの伊勢路に、経大の幟(のぼり)をはためかせてください。

幹事 西川雅美(38回)

## 三重支部

### 全日本大学駅伝応援のための「最初の一步」



平成28年度大阪経済大学大樟会三重支部総会を10月22日(土)松阪市内の「和田金」において開催しました。

当日、大学より崎田事務局長、大樟会本部より山本常務理事、吉仲常務理事、愛知支部より五十棲支部長のご出席を賜り、来賓を含め総勢31名での開催となりました。

総会の冒頭で崎田事務局長ほか来賓の方々から母校の現状等のお話をうかがうことができ普段、大学に行く機会があまりない支部会員にとっては良いお話であったと思います。

しかし、何よりも本年の目玉は、母校が11月6日(日)に開催される全日本大学駅伝に2年振りに出場できることになったことです。熱田神宮から伊勢神宮内宮まで8区間106.8キロを走る選手にとっては過酷なレースです。これまで何回か本駅伝には参加していますが、応援体制は出発の熱田神宮で見送ってゴールの伊勢神宮で出迎えるというもので、これでは他大学の選手と比べあまりにも可哀想であるとの思いがありました。

本駅伝は、三重県内を走るコースが殆どで三重支部のみの単独応援は事実上不可能であることから、全国支部長会議で駅伝の応援体制について支援を提案したところ、本年は大樟会本部のほか、愛知、岐阜、三重の各支部が連携して応援することになりました。

まず「最初の一步」ということで、幟(のぼり)(大樟会本部が製作)を各中継点等、立てられるところで立てようということになりました(愛知、岐阜、三重で合計40本)。

さすがに全中継点で幟を立てることはできませんが、打ち合わせの結果、愛知支部が出発地の熱田神宮と四日市の中継点、岐阜支部が川越町の中継点、三重支部が津市上浜町及び松阪市三雲町の中継点ほか沿道の2か所、大樟会本部もバスで駆けつけてくれ松阪市の中継点及びゴールの伊勢神宮で幟を立てて応援するという話でまとまりました。

このことを支部総会の席で提案し、応援の参加者を募ったところ多くの方から賛同を得ることができました。

今回の応援は、あくまでも我々、同窓生が少しでもできることからという「最初の一步」ではありませんが、少しでも多くの卒業生が大阪経済大学の幟の下に集ってくれることを願うばかりです。

今後も今回の駅伝のように大学教職員、学生、同窓生が連携し応援することで大経大のキャッチフレーズである「つながる力」を実践していけたらと考えています。

支部長 池山英典(57回)



## 滋賀支部

### 大樟会滋賀支部総会を開催 新支部長に佐藤啓太郎氏



平成28年6月12日(日)、クサツエストピアホテルにおいて総会を開催いたしました。

本学より佐藤武司理事長、大樟会本部より角脇忠行常務理事、上田敬二郎常務理事、岐阜支部より山根一男支部長、京都支部より山崎博也副支部長各位のご臨席を賜わり、総勢41名の和やかなひと時を楽しむことができました。

また佐藤理事長より大学の近況などのお話もうかがい、母校への想いを深めることができました。

今後の取り組みとしては県下1600名同窓生の連絡強化、消息確認、各地域別の組織強化のため幹事の増員などの方針も決め、課題対応をしていきたいと考えています。願わくは異業種の交流、世代間の交流など同窓会ならではの集いを目標にしていきたいと思っています。

今回の集いでは第77回卒の若い女性が赤ちゃんと一緒に参加していただき、会場により一層の華を添えていただいたことをご報告いたします。

なお、本総会をもって滋賀支部長は橋本庫一前支部長から私に交代いたしました。

支部長 佐藤啓太郎(37回)

## 京都支部

### 新支部長に柴田俊彦氏(50回)を承認



平成28年11月19日(土)、「HUB京都ヨドバシ店」にて、京都支部総会を開催いたしました。この全国チェーン店は、49回卒の太田剛さんが社長を務める英国風パブです。当日は太田社長にも出席いただき、スピーチをお願いしました。来賓として佐藤武司理事長、徳永光俊学長、北村實教授、木村俊郎経営学部長、岩本沙弓客員教授、黒正洋史進路支援部長、石橋隆夫常務理事、五十棲康彦愛知支部長、佐藤啓太郎滋賀支部長、田淵善人但馬支部長、李保哲史同副支部長、山内淳子大阪市支部会計、近藤靖太北大阪支部幹事の14名様、支部会員67名、計81名の出席となりました。中でも、初参加の方が25名もおられたのが特色です。また、平成の卒業生が18名(平成20年代9名)と若手の出席も増えました。さらに、女性の方も7名参加いただきました。正に、若々しく、華やかな総会となりました。なお、長年支部長を務めさせていただきました私に代わり、50回卒の柴田俊彦君が、新支部長に承認されました。新支部長の下、新しいスタートを切る京都支部を、よろしく願いいたします。

支部長 田中伸治(45回)

## ■北大阪支部 第6回支部総会を開催



平成28年度(第6回)北大阪支部総会を6月25日(土)、ホテル阪急エキスポパークで会員28名、来賓5名、計33名にご出席をいただき開催いたしました。当日は木村経営学部長、上田大樟会常務理事、近隣3支部の来賓をお迎えし、激励のお言葉をいただき、提出された議案は全て承認されました。

役員改選では任期途中の平田支部長が病氣療養のため相談役に退かれ、不肖、私、角野が新支部長に選出されました。会員の皆様方のご支援を得、北大阪支部の継続・発展に努めたいと考えておりますので、よろしくお祈りいたします。また、新役員(幹事)2名も加わり新体制で役員一同心をつにし、さらなる支部活動に努力する所存でございます。ご支援の程、よろしくお祈りいたします。

総会・懇親会の後、午後7時からのガンバ大阪VS名古屋グランパスの観戦のため、吹田スタジアムへ移動。3万3千人の観衆の中、目の前でプロサッカー選手を見、サポーターの規律正しい応援には感心いたしました。試合は3対3の同点でしたが、点が入るごとに大歓声が起こっておりました。

試合終了後、ガンバ大阪の宇佐美選手がドイツの「アウクスブルク」へ移籍のため、お別れセレモニーが開催され、「感謝」の言葉を述べられると、会場全体から大拍手が起こりました。なかなか観戦のチャンスがない中、感動の一日でした。 支部長 角野 力(41回)

## ■箕面・豊能支部 祝 支部設立5周年!!



箕面・豊能支部は、平成28年2月21日(日)に総勢28名が集い、支部設立5回目の総会を開催しました。大学から木村経営学部長、同窓会からは田村大樟会会長をはじめ近隣支部から7名の方にご出席いただきました。

総会では、木村経営学部長から大学の近況について、田村会長から同窓会の絆(きずな)についてお話しいただき、参加者一同ウンウンと頷くばかりでした。また当支部会員で財務コンサルタント事務所代表の木山順三氏(77回大学院卒)に「相続・遺言に関して知っておきたいこと」と題したご講演をいただき、相続は多かれ少なかれ全員に関わることだと痛感させられ、今から対策を考えておかなければと、皆真剣に聞き入っていました。

当支部では、支部設立5周年を記念して宝塚歌劇の観劇会を企画したところ、130名を超える方に参加していただきました。これからも散策会やハイキングなどの支部活動に力を入れ、会員のつながりを深めていきたいと思っております。 事務局長 岸上芳夫(46回)

## ■北摂支部 "五木ひろし ものまね日本一"登場で大興奮



平成28年3月5日(土)午前11時から、第10回北摂支部総会を高槻の料亭「錦松鶴」に総勢40名の参加を得て開催いたしました。大学から佐藤武司理事長、重森曉名誉教授、大樟会から竹中亨事務局長、川口正義常務理事、近隣支部から森川義一北河内支部長、平田義行北大阪支部長、雑賀保洋箕面・豊能支部長も駆けつけていただき、大学の近況や大樟会の動向について貴重な情報を拝聴いたしました。

セミナーは77回大学院卒で木山財務コンサルタント事務所代表としてテレビやラジオのメディアで活躍されている木山順三さんに「相続・遺言に関して知っておきたいこと」について、約1時間事例を挙げてお話いただきました。ご主人の相続・遺言に関する話であり、本来は奥様対象の講義にもかかわらず、参加者は真剣に聞き入っておられました。

懇親会では、「全日本そっくりショー"五木ひろしの巻"」にて全日本チャンピオンを獲得された三木ひろしさんが、溝口潔幹事の知人ということで友情出演していただきました。当初2曲程度の予定でしたが、どういふ訳か30分以上にわたり五木ひろしの物真似やトークでステージを占拠、挙句の果てに本郷大夫支部長と横山正一カラオケ教室校長を壇上に上げ、本郷支部長には「長良川艶歌」を、横山校長には「よこはまたそがれ」を歌うよう強要、両者とも初めての歌にもかかわらず熱唱、場内から拍手喝采を受けました。さすが北摂支部の芸達者、度胸が据わっておりました。

三木さんにはお車代しか用意しておりませんでしたので、慌ててカンパを募ったところ皆様快く協力していただき、何とか謝礼をお渡しでき、幹事としてはほっと一安心いたしました。

最後に大西昌年顧問の迫力ある音頭で、学歌・逍遥歌を全員で熱唱し、来年の再会を誓い合いました。

北摂支部は4月から花見、ハイキング、三十三か所観音巡りのバスツアー、読書会、魚釣りと盛りだくさんの行事を予定しております。また昨年に続き3北トリオ(北大阪支部、北河内支部、北摂支部)合同のパークゴルフ大会を4月23日に実施いたします。昨年は北大阪支部にぼろ負けをいたしました。今年は雪辱を期して燃えております。

事務局長 梶村貞男(37回)

### 同窓会ホームページもご覧ください!

同窓会活動をより身近なものとして活用していただくために、ホームページを作成しています。

年間行事予定などの掲示のほか、住所変更の申請も手軽にできるようになっています。ご活用いただき、ご意見ご感想をお寄せください。

ホームページアドレス <http://www.osaka-ue-denko.com/>

## 北河内支部

### 平成28年度第9回北河内支部総会を開催



快晴に恵まれた平成28年5月22日(日)、本学E館(50周年記念館)で第9回北河内支部総会が開かれ、本学から藤本寿良情報社会学部長、大樟会本部から角脇忠行常務理事、さらに近隣支部から梶村貞夫北摂支部事務局長、角野力北大阪支部副支部長、湯村徳光同幹事の出席をいただき、参加人員は総勢20名と平成20年支部創設以来最少の集会となりましたが、それだけ中味の濃い充実したコミュニケーションをはかる場となりました。

役員改選で支部長に再任された森川義一氏は「支部会員の中に役員の若返りが急務、支部役員は50歳以下で、とのご意見もあります。大賛成です。来年支部創設10周年を迎えます。この機会を逃して支部活性化はできないとの思いで取り組みます」と挨拶、卒業生の薄れゆく母校愛と同窓会への思いの中で、「一人でも多くの卒業生と繋がりを高めていきたい」と抱負を述べました。支部長 森川義一(25回)

## 川西・川辺支部

### 高齢化社会が進み、健康を考える



平成28年7月16日(土)、大樟会川西・川辺支部総会を開催しました。

この川西・川辺支部の歴史はまだ浅く、平成26年11月の設立総会から活動をスタートしました。今回は3回目の総会でしたが、ご来賓に情報社会学部長の藤本寿良教授、大樟会上田敬二郎常務理事を迎え、大変有意義な会となりました。

現代日本の抱える大きな課題である少子高齢化。わが支部も同様で、総会への参加者は高齢化が目立ちます。そこで今回は川西市健康福祉部健康政策室のご協力を得て「生活習慣を見直すきっかけづくり」についてご講演いただきました。非常に興味深い内容で、血管の模型を使っただけの説明には、皆食い入るように見ていました。これを機に、健康には十分留意し、我が支部のスローガンである「交流」と「親睦」を深め、大学と地域への貢献を！」を実践できるよう、決意を新たにいたしました。幹事 宮東豊一(55回)

## 池田支部

### 池田支部定期総会開催、新役員選出される!



平成28年6月19日(日)、池田の老舗「太郎兵衛寿司」にて支部総会を開催しました。紫陽花を潤す小雨の中、大学より橋本浩二財務部長(理事)、大樟会から田村正晴会長、田中伸治常務理事(京都支部長)、吉仲美智子常務理事、田中功一豊中支部長、本庄和郎伊丹支部副支部長、雑賀保洋箕面・豊能支部長、渡辺好昭川西・川辺支部監査役、そして大阪府会議員原田こうじ先生のご臨席を賜わり、総勢27名のご出席です。

まず、中一正池田支部長から開会の挨拶がありました。次いで大学より橋本財務部長からご挨拶があり、大学の志願者数の増加、上場企業への就職者の増加、全日本大学駅伝本戦への出場等のお話を伺いました。引き続き大樟会本部より田中常務理事のご挨拶があり、80周年記念行事として給付方式の同窓会奨学金制度の設立、「哲学の道」命名の顕彰板の刷新等のお話をいただきました。吉仲常務理事からもご丁寧なご挨拶を頂戴いたしました。

総会は松田今朝男副支部長の司会で始まり、活動報告、会計報告の各議案、役員改選案がいずれも満場一致で承認され、無事に終了しました。新役員は次の方々です。

支部長 松田今朝男氏(34回)	監事 岸野亨則氏(27回)
副支部長 城島末明氏(36回)	監事 太田史郎氏(36回)
副支部長 今村武司氏(43回)	相談役 山形輝三氏(32回)
書記 平井裕能氏(38回)	顧問 中一正氏(27回)
会計 原田有紀子氏(75回)	
幹事 前川吉晴氏(42回)	
幹事 富山芳勝氏(70回)	

次いで、大阪府議会議員原田先生に「これからの大阪について」と題してご講演いただきました。

その後、田村会長から、大阪経済大学大学史紀要に掲載されている池田支部の大先輩大川良先生(故人・元池田市会議員)の活躍のお話を紹介していただき、池田支部の歴史と役割について激励のお言葉を頂戴いたしました。

ここで、今回のメインイベントです。今期限りで退任される中支部長に、支部長のお人柄にふさわしい向日葵をあしらった大きな花束が、永年のご活躍に対する支部会員全員の感謝の気持ちを込めて新会計の原田氏より手渡され、大きな拍手に包まれました。中支部長、山形副支部長、本当にありがとうございました。

懇親会は田村会長の高らかな乾杯のご発声で始まりました。田中豊中支部長、本庄伊丹支部副支部長、雑賀箕面・豊能支部長、渡辺川西・川辺支部監査役からのご挨拶を頂戴し、参加者の自己紹介では皆様のご活躍ぶりのお話、愉快なお話が続き、何度も会場が沸きました。恒例のビンゴゲームでは中支部長自ら進行を務められ、いつもながらの名司会者振りをいかに発揮されて満座の喝采を浴びておられました。

副支部長 今村武司(43回)

**豊中支部****支部総会を開催 高校商業科の熱血教諭に聞く**

平成28年6月26日(日)午前11時よりホテルアイボリーにて第32回支部総会を開催しました。出席者は、来賓を含めて21名でした。

大学から佐藤武司理事長、大樟会から内田敏雄事務局次長をお迎えし、近隣支部からは雑賀保洋様(箕面・豊能)、松田今朝男様・城島末明様(池田)、山崎正順様(伊丹)、湯村徳光様(北大阪)にご出席いただきました。

はじめに、本学69回卒で大商学園高校(創立129年、大阪私学で唯一商業科のある高校)商業科教諭の佐田志志様に「高校教育の現状と私学の将来というテーマで、「大商学園高校1年の時、商業科目の商業簿記」の授業に掛ける恩師の熱意に打たれ、その科目が好きになって勉強するようになり、簿記検定合格を目指しました。そして、経大に入り教員免許を取得しました。今では、生徒達が検定試験を目標として充実していると思います。検定という短期目標意識を持っているので頑張れる。その頑張る子をサポートして、子供達の能力を上げて、社会に送り出すことを目指しています。また、商業科人口が減っている中で、年に3回行われる検定試験を目指して地域の大人の方々に10月と11月の全6回(夜間)に豊中簿記塾(参加費無料)を講講しています。この勉強しているところを見て生徒達がまた奮奮する。大商学園に佐田がいることをPRしています」と。簿記教育に対する熱い思いを語っていただきました。その奥には、現在置かれている商業教育のあり方と、地域に根ざした私学について考えさせられました(塾について詳しくは、主催の大商学園高校、または、共催の豊中商工会議所まで)。

その後、議事に入り、平成28年度の活動報告と会計報告があり、29年度の活動計画と収支予算案が承認されました。この後、藤敬一郎様(31回)の乾杯音頭により懇親会に入り、近隣支部の方からエールを受け、支部会員から近況が報告されました。

そして、歌手のさめしまさみさん(45回)に「にんげんのうた」を特別にご披露していただきました。終わりに、学歌および道進歌を斉唱して、閉会の辞があり、一本締めでお開きとなりました。

その後、場所を変え、午後3時から支部行事のカラオケ大会が開催されました。出席者は9名でした。 支部長 田中功一(42回)

**堺支部****百舌鳥 古市古墳群を  
大阪で初めての世界文化遺産に**

平成28年11月19日(土)、堺支部総会をホテル・アゴーラリージェンシー堺にて2年振りに開催いたしました。

大学より崎田事務局長、大樟会より竹中事務局長、近隣支部より久保尼崎支部長、西本奈良支部長にご多忙のところご出席いただき、ありがとうございました。

今回は「大阪で初めての世界文化遺産に 百舌鳥 古市古墳群」について、堺市役所文化環境局主幹立道勝広、十河良和両氏より、スライド、パンフレットによる説明があり、次回には必ず世界文化遺産に認めてもらうよう努力しているので、大経大の卒業生の皆様にも協力していただきたいとの話でした。地元で住みながら改めて歴史の町・堺について認識を新たにしたいです。

崎田事務局長より現在の大学の状況について説明、竹中事務局長より大樟会の現状について説明していただきました。

また、堀本支部長より1年間支部総会ができなかった理由について説明があり、同時に堺支部はマンモス支部のため、今後は支部を3支部に分けて活動したい旨、出席者に説明がありました。(富田林市、藤井寺市、河内長野市、羽曳野市を仮称・南大阪支部とする。堺市は従来通り単独支部。岸和田市、泉大津市、忠岡町、和泉市、高石市は泉州支部として独立支部とする。各支部とも会員は1000名~1400名程度になるため、卒業生はいずれかの支部に加入できるよう、少しずつ動いているとの説明があり、全員了解)。さらに、支部長より会計報告、監査報告があり、全て了承され総会は終了しました。

二部の懇親会は、26回卒の川口 晃さんの開会のあいさつの後、24回卒の関西学生野球連盟副会長の大場謙二さんの乾杯の音頭により始まり、閉会のあいさつは税理士大樟会会長檜垣典仁さんによるユニークな話で無事終了いたしました。

今回の総会案内は平成26年、27年、28年卒業生全員を含め530名に案内はがきを出しましたが、新しい卒業生の出席はありませんでした。残念です。 支部長 堀本 修(24回)

**2年振り全日本大学駅伝に出場  
大樟会支部、本部からも熱烈に応援**

本学陸上競技部は、平成28年11月6日(日)、名古屋市の熱田神宮から三重県伊勢市の伊勢神宮までの106.8キロのコースで行われた全日本大学駅伝対校選手権大会に関西代表として2年振りに出場、全国から集まった27チームと覇を競いました。

沿道には地元の大樟会愛知支部、三重支部、岐阜支部のメンバーのほか、大樟会本部からも早朝からバスを仕立てて現地に向かい、沿道の各所やゴールの伊勢神宮付近で幟(のぼり)を掲げ、熱い声援を送りました。健闘むなしく20位という結果に終わりましたが、同窓生の絆の強さを実感した一日となりました。

(支部だより:三重支部、愛知支部、岐阜支部参照)



## 伊丹支部

### 支部総会、過去最多の36名が参加 "健康寿命を伸ばそう"伊丹市職員が講演



平成28年度の伊丹支部総会が、平成28年6月11日(土)午後6時から伊丹シティーホテルで開催されました。今回の参加者は過去最多の36名でした。

まず、今回が初参加の3名の会員が紹介されましたが、参加者が固定化しつつあるなか、たいへん明るいニュースです。続いて、竹中亨支部長が開会の挨拶のなかで、先日開催された大樟会理事会の議事等について報告、さらに来賓の大学の草福弘樹理事・総務部長、大樟会の上田敬二郎常務理事から近況報告等があり、総会の議事に入りました。平成27年度会計報告、事業報告、28年度予算案、事業計画等の各議案はいずれも原案通り承認されました。続いて、伊丹市介護保険課の千葉純子副主幹から「高齢化時代の健康維持法」と題し、健康体操を織り込みながらの講演があり、大多数が還暦を過ぎた参加者は熱心に聞き入っていました。

この後、来賓の久保太郎尼崎支部長の乾杯のご発声で懇親会に入りました。途中、恒例となったビンゴゲームも賑やかに行われ、最後は、来賓の竹本勇川西・川辺支部長の先導で全員が円陣を組んで学歌を斉唱してお開きとなりました。 内田敏雄(39回)

## 尼崎支部

### 幅広い年代の交流の場に



平成28年度支部総会を4月21日(木)、尼崎商工会議所において開催しました。来賓として平等人間科学部長、大樟会より田村会長、上田常務理事、近隣支部から堺支部、豊中支部、阪神支部、伊丹支部のご出席と会員30名の参加がありました。

総会は久保支部長の挨拶の後、来賓の方々よりご祝辞をいただき、会計報告を行いました。

懇親会は諸田治様(26回)の乾杯にて始まり、途中AIR SOUNDSのバンド演奏を聞くなど楽しい時間を過ごしました。最後に学歌を熱唱して常深俊昭様(23回)に締めの挨拶と、万歳三唱をしていただき今後の同窓会の発展を願いながら散会しました。

尼崎支部は若手の参加者も多く、幅広い年代での交流の場として、どの年代の方々も気軽に参加いただければありがたいと思います。近年参加者が減少している傾向にありますので、是非お知り合いの方に声を掛け、参加をお願いします。 支部長 久保太郎(31回)

## 神戸支部

### 来年も高い参加者目標を掲げて



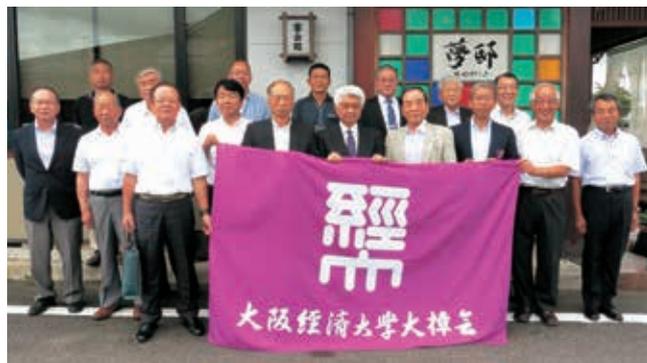
平成28年度神戸支部総会は、平成28年9月25日(日)12時より、神戸・元町南側神戸旧居留地にあるレストラン「レニージュエル」において開催いたしました。

今年は総会前に、元毎日新聞論説委員でジャーナリストの平野幸夫様に「東京都政のゆくえ」と題してご講演をしていただき、その後、総会には、大学から佐藤武司理事長、大樟会から竹中亨事務局長、田中伸治常務理事、近隣支部の阪神支部、但馬支部、明石支部からご臨席を賜り、来賓の皆様から現在の大学を取り巻く状況や卒業生の就職状況、大樟会の活動状況などの報告と今後の大樟会のあり方、そして大樟会員の活躍情報等心温まるご挨拶をいただきまして、出席者47名で支部総会の幕が開かれました。

神戸支部総会は、女性や新卒者にもたくさん出席していただくことを目標に準備し、今年は女性や青年に人気のあるレストランに会場を変更しましたが、目標の「60名参加」には達することができませんでした。しかし、総会中ほどこで、ピアノの生演奏や会員の素晴らしい歌唱力を披露していただき、その後、恒例のビンゴゲームによる抽選会を行い、盛りあがったところで予定の2時間半も、あっという間に過ぎ、最後に逍遙歌を全員で肩組み合って斉唱し、閉会といたしました。 支部長 正岡健二(36回)

## 但馬支部

### 地元選出国會議員から現況報告



平成28年度支部総会を7月9日(土)午前11時15分より豊岡市内の「夢邸宴会棟」にて開催。議長に土生田哉氏を選出し、上程された議案を慎重審議のうえ、すべて異議なく承認されました。

例年なら支部総会の場にご来賓の方々も同席していただいておりますが、本年は会場の都合により総会は支部会員のみで開催し、懇親会からのご参加となりました。大学より崎田事務局長、大樟会より竹中事務局長、近隣支部より久保尼崎支部長、田中京都支部長に遠路お越しいただき、両事務局長より挨拶と大学の現状、大樟会の現状についてご報告をいただきました。

また、当日は衆議院選挙の前日ということもあり、兵庫五区選出の衆議院議員国土交通委員長 谷 公一氏にもご臨席賜り、挨拶を兼ねて但馬の現況についてご報告をされ、その後短時間ではありましたが支部会員とも懇親を深められ、楽しい懇親会となりました。

事務局長 藤原将之(48回)

## 丹有支部

### 手作り楽器演奏で笑いの渦



平成28年度大樟会丹有支部総会を、11月12日(土)に紅葉間近な篠山市のささやま荘にて、開催することができました。

大学より黒正進路支援部長様、大樟会より角庵常務理事様のご出席をいただきました。黒正様よりは、学生の就職関係などのお話を聞き、また角庵様からは、ホームカミングデーの盛況振りや、大学の奨学金制度の支援等の嬉しい話が聞けました。総会終了後、丹波市のマエストロ足立さんをお招きして、手作りのリサイクル楽器演奏と、ユニークな漫談でもって、参加者一同は笑いの渦。楽しい時間を過ごせました。

懇親会では、72回卒のプロマジシャン、ジョン・道阪さんのトランプ手品を披露していただきました。あざやかな手さばきに驚き、酔いしれた一時でした。会員の近況報告の後、最後はお互いが肩を組み、学歌・逍遙歌を斉唱して、次回丹波市での総会開催を約束して、お開きとなりました。 支部長 足立徳太郎(36回)

## 北播磨支部

### 支部総会を大樟会総会の日に母校で開催



創設10年目となった北播磨支部の平成28年度総会を、平成28年10月30日(日)、母校の大樟会総会参加と学園祭見学を兼ねて、懐かしいキャンパスを訪問しました。出席者は8名でした。

当日は、大学より佐藤武司理事長と大樟会本部から田村正晴会長にお出迎えをいただき、最近の大学の様子や同窓会活動などをご報告いただきました。

久しぶりに訪問したキャンパスは、校舎等が見違えるほど新しく綺麗になり女子学生もとても多く、私達が通っていた頃とは全く雰囲気が変わっており、ちょうど学園祭も開催されていて学生達の元気なかけ声が飛び交って賑やかでした。大樟会総会も多数の方々が出席されていて、式典などもスムーズに進み、全国大会に進出するクラブに対して力強い応援エールが送られました。

その後、鶴橋の焼肉店での昼食懇談会で旧交を深め、天神橋商店街を散策して懐かしい大阪の風情を満喫しました。

28年度支部事業では、恒例の関西大学・関西学院大学・甲南大学・近畿大学の支部同窓会とのゴルフ交流戦も予定しているところでございます。

なお、現在大学同窓会対校コンペでは連勝中であります(笑)

幹事 横山種機(45回)

## 明石支部

### 平成28年度大樟会明石支部総会 元・航空自衛隊司令官の講演に聞き入る



平成28年度明石支部総会は、9月3日(土)午後3時よりグリーンヒルホテル明石で開催しました。来賓として前支部長の佐藤武司理事長、大樟会事務局次長内田敏雄様のご臨席を賜りました。

第一部は、元航空支援集団司令官空将の織田邦男氏に「中国の台頭と日本の課題」というテーマで2時間以上に及びご講演をいただきました。会員以外にも公開していただきましたので、50名以上の参加者が熱心に聞き入っておりました。

第二部総会・懇親会では、池上照夫支部長の挨拶の後、来賓から祝辞をいただきました。佐藤理事長からは、理事長ならではの昨今の大学に関する話をざっくばらんに聞かせていただき、皆さん、よく理解できたと思います。懇親会では、恒例のビンゴゲームを楽しんだりしながら、最後に学歌・逍遙歌を斉唱し、閉会しました。二次会は場所を移し、カラオケ大会で和気あいあいの時間を過ごしました。

副支部長 吉本明浩(41回)

## 東播磨支部

### 超高齢化社会に備え、「生活習慣病と運動・栄養」の講演



平成28年10月23日(日)、加古川プラザホテル「東京田村」において、再興6回目の東播磨支部総会を開催いたしました。当日は大学より人間科学部江藤 幹先生、大樟会本部より川口正義常務理事、明石支部より安川副支部長にお越しいただきました。

支部長あいさつの後、議事に入り27年度活動報告、会計報告、28年度活動計画の各議案は承認され、続いて江藤先生による「生活習慣病と運動・栄養」についての講演をしていただきました。参加者の年齢が高いこともあって皆熱心に聞き入っておりました。その後、懇親会に入り和やかに歓談、途中で東播磨支部恒例の幹事森本さんによる剣舞を演じていただきました。最後に学歌、逍遙歌を斉唱し、来年の再会を確認し散会いたしました。

散会后、幹事で今後、多くの同窓生に集まっていただくための施策などを話し合いました。

支部長 福田敏裕(37回)

## 姫路支部

### 支部創設68周年を迎えます



平成28年度姫路支部総会は、10月22日(土)午後6時より姫路キャッスルホテルにて38名の参加者で開催いたしました。来賓として大学より橋本財務部長、大樟会より竹中事務局長、川口常務理事にご出席いただき最近の大学の状況や、同窓会活動についてご報告いただきました。施設のリニューアルや交通の利便性等多くの好条件を活かした大学運営で受験生数も順調に増加し、就職状況も教員採用試験合格者数なども大幅に増加するなど大変嬉しい報告がありました。

今年は役員改選があり、永井支部長から上野新支部長にバトンタッチされました。上野支部長より、これまでの長い伝統を大切に更なる支部の発展のために微力ながら頑張ります、と挨拶がありました。その後、懇親会に入り、和気あいあいとした自己紹介などを通じて大いに親睦を図ることができました。

最後に全員で学歌、逍遙歌を合唱し、楽しい時間はまたたく間に過ぎ、来年度の再会を誓い合いながら三本締めで散会いたしました。来年も多くの方々のご参加を期待しています。

支部長 上野隆裕(40回)

## 淡路島支部

### 新支部長に赤松慶久氏就任



平成28年9月24日(土)、江戸時代、北前船で一世を風靡した高田屋嘉兵衛ゆかりのウェルネスパーク五色「浜千鳥」において、第26回支部総会を27名の出席のもと、盛大に開催しました。

竹内支部長の挨拶のあと、佐藤武司理事長、内田敏雄大樟会常務理事からご祝辞ならびに大学の近況報告をいただいた後、議案審議に入りました。今回は任期による役員改選もあり、長年にわたり支部長の重責にありました竹内支部長が勇退され、第37期の赤松慶久氏が新支部長に就任されました。その後、全ての議案について可決承認をいただきました。

今年は、当地区出身でMK磁石を発明し、世界的な工学博士である三島徳七博士の功績について、語り部の藤本修氏をお招きし、記念講演会を開催いたしました。熱心な聴講の後、記念写真、そして懇親会。はじめに支部長就任のあいさつを兼ねた乾杯のご発声を赤松新支部長からいただき、宴たけなわの中、大樟会旗のもと円陣を組み、全員で学歌・逍遙歌の大合唱、最後に当支部発展を祈念して万歳三唱、盛会のうちに閉会となりました。 事務局長 榎本輝夫(47回)

## 鳥取支部

### 支部活動再開後初の総会に19名



平成28年11月5日(土)、鳥取市で大学から平等人間科学部長、大樟会から小林副会長、角脇常務理事をお招きし、鳥取支部総会を開催しました。鳥取県内には500名の卒業生がいます。しかし、前年に8年振りに支部活動を再開したところであり、また、昨年は鳥取県中部地震の後でもあって19名の参加でした。昼間はゴルフ、夜は総会・懇親会で大いに盛り上がりました。

本年は、同窓生のジャパネットたかたの前社長高田明氏をお招きし(未定ですが)、多くの同窓生に集まっていただきたいと思っています。本欄を読まれた同窓生の皆様、来年は、是非参加いただき学生時代の思い出話をし、近況・将来の夢等で大いに盛り上がりましょう。

副支部長(中部担当) 本庄克則(46回)

## 和歌山支部

### 同窓会の活性化について議論集中



和歌山支部総会を、平成28年10月8日(土)市内のホテルで会員28人出席のもと開催しました。

総会には、大学から橋本財務部長、同窓会から山本常務理事のお二人が来賓として出席され、とくに山本様からは大樟体育会会長としての立場から現在の各運動部の活躍等についての迫り溢れるお話があり、大いに元気づけられました。

総会では「支部総会への出席者が回を重ねる毎に減少している」ことに議論が集中しました。支部長からは「千人の同窓生に総会の案内を出したが出欠の返事は374人からしかなかった。」こと等が報告されました。活性化の議論の中で、現在2年に一度開催の同窓会を毎年やることなどが提案され、改めて幹事会を開催して検討することにしました。

また、役員改選については、現在の新田支部長以下全員の留任が議決されました。課題は残りましたが有意義な総会でした。

事務局長 西 芳男(36回)

## 奈良支部

### 新支部長には中嶋肇氏

### 西本集一支部長 永年お疲れ様でした



本年の奈良支部総会は、平成28年11月20日(日)午前11時00分より、ホテル日航奈良で開かれました。大学から藤本高志経済学部長、同窓会本部から上田敬二郎常務理事、堺支部から堀本修支部長のご出席をいただきました。

懇親会は、今年も約30名の出席者で行われました。笑顔の溢れた同窓生を拝見させていただくことができました。やはり皆さんにとって、同窓会とは一生懸命頑張った学生の若いころを思い出し、その当時の気持ちを取り戻すことのできる場なんだと、毎年楽しみにされていることを実感いたしました。また、同窓生は、いろんな社会経験を積まれた方が大勢います。その中、今、抱えている想いを同窓生同士で意見交換ができ、そして解決に導いてくださる仲間がいます。

最後になりましたが、来期より、これまで長い間、奈良支部長を務めてくださった西本集一様から中嶋肇様へ引き継がれます。西本支部長の挨拶の中、「ホットして、やっと肩の荷が降りた」という言葉があり、それと共に、中嶋様の挨拶では、これからの意気込みをお話してください、同窓会の場の雰囲気はこれからもみんなで頑張るぞという活気ある雰囲気で開催されました。

西本支部長、永年、本当にお疲れ様でした。ありがとうございます！今後とも奈良支部を何卒よろしく願い申し上げます。

保田まち子(77回)

## 岡山支部

### 総勢45名が集い絆を深める



平成28年6月25日(土)、大学より崎田事務局長、黒正進路支援部長、大樟会より山内監事、吉仲常務理事をお迎えし、大樟会岡山支部総会が、岡山プラザホテルにて、総勢45名が集い盛大に開催されました。

総会では、崎田事務局長より大学の現状、今後の大学のあり方等のお話しを賜り、前年度の決算報告および本年度の予算案、さらに平成29年の総会開催日は7月8日とすることが承認されました。また、岡山支部とは兄弟分に当たる津山支部の支部長の交代が報告され、今後とも津山支部との絆を強固にしていく旨を全員一致で確認しました。

総会終了後の懇親会では、各々がグラスを片手に、在学当時のキャンパスライフを語り、現状を報告し合うと共に、全員で肩を組み、学歌・逍遙歌を歌うことで、絆をさらに強く深める時を過ごしました。

最後になりましたが、今回参加されなかった同窓生の皆様、新たな出会い、ビジネスチャンスを求め、是非この支部総会へ参加されることを期待しております。

幹事 岡本紳一郎(47回)

## 津山支部

### 次期支部長に前田基美氏(46期)を承認



平成28年8月20日(土)、大学より崎田事務局長、大樟会より田村会長がお越しください、本年も大樟会津山支部総会、懇親会が開催されました。本年は常連の方々の都合が合わず、総勢20名と残念ながら例年より若干少なめとなってしまいました。

総会においては、役員改選が審議され、来年度より46期卒の前田基美氏が支部長として、現支部長の竹本巧氏は顧問となることが承認されました。

懇親会では、少人数ならではのまとまり感と、アトラクションのマジックショーも近くで見ることができ、なかなかの盛り上がりを見せました。また、二次会からの参加メンバーもあり、田村会長もお付き合いくださって楽しい夜を過ごすことができました。

今後の課題として、若い方の出席が望まれます。今回も最年少が43歳と、年齢層は上がり続けています。いろいろな試みを模索しながら、これからも岡山県北を盛り上げていこうと思います。最後に、いつも駆けつけてくださる岡山支部の松永支部長、塩尻先輩に心から感謝申し上げます。

副支部長 橋本隆一郎(60回)

## 広島支部

### 2名の初参加者を迎えて



10月22日(土)、リーガロイヤルホテル広島にて第74回広島支部総会を開催しました。当日はカープ球団が25年ぶりのリーグ優勝し、日本シリーズの第一戦がマツダスタジアムで開催する日と重なり、32階のホテルの会場からスタジアムが見え、その試合展開が気になりながらの総会となりました。

徳永学長様、春木常務理事様のご臨席を賜り、今回は19名といつてもより少ない人数でスタートしました。2名の初参加者を迎え、少しずつでも足をお運びいただけるOBの方々が増えることは支部としてはありがたい出来事として捉えています。学生時代の話・仕事の話・仲間の話等々—短い時間ですが、会話が絶えない一時でした。まだまだ若いOB、OGの方々在今后総会に足を向けていただけるよう支部としての課題を検討しながら今後も活動を続けていきたいと思ひます。

支部長 陰山秀明(44回)

## 山口支部

### 大経大の存在感を高めよう



平成28年10月22日(土)、新山口駅前の山口グランドホテルで山口支部総会を開催しました。来賓として大学からは草福理事、大樟会本部からは上田常務理事、熊本の濱支部長、北九州の植田支部長をお迎えしました。

総会では大樟会の新事業である高等学校訪問について報告がありました。これは近年、入学者の出身地は近畿地方に集中していますが、かつてのように広い地域から入学者を増やそうとするものです。訪問は山口県から始まり、業務委託先のユニックアド代表取締役の佐藤和夫氏(35回卒：山口県出身)と支部の会員が県内の高等学校を訪問しました。訪問して感じたことは、入学者が少なくなっていることから、年々、大経大の存在感が低下していることです。とくに若い先生には知られていないようです。

総会には2名の初出席がありました。30歳台と20歳台で、不動産鑑定士、税理士として活躍しておられ、若い力が感じられる会になりました。

支部長 藤原俊明(37回)

## 徳島支部

### 会員拡大に取り組み、参加者増える



平成27年度徳島県支部総会が平成28年1月23日(土)午後6時からホテルクレメント徳島で総勢31名の出席をもって開催されました。榎本孝支部長の挨拶の後、大阪経済大学総務部長 草福樹嶺氏、大樟会会長 田村正晴氏よりご挨拶をいただきました。

本年度事業報告としては、平成27年7月3日(金)、ホテルクレメント徳島において、講師に社会保険労務士 玄番芳江氏(44回)を迎え、本学卒業生による第3回講演会を実施。参加者20名でした。恒例のゴルフコンペは、10月17日(土)徳島CC月の宮コースで実施。参加者は10名、野々宮充造氏(37回)が優勝されました。また、次年度事業計画案の発表もされ、今年こそホームカミングデーに参加することを約束し、総会を終了しました。

その後、吉田稔光氏(55回)の司会により懇親会へと進み、近況報告、ビンゴゲーム等行い、各自お酒を酌み交わしながら親交を深めました。最後に三木敏(37回)顧問による一本締めにより、来年の再会を誓い合いました。

今回の総会は会員1人1人が会員拡大に積極的に取り組んだ結果、新しい参加者が5名増え、会も若返りし、盛大になりました。大阪経済大学同窓会・徳島県支部は50名参加の総会実現を目指します。

事務局次長 川真田博敏(42回)

## 香川支部

### 飛躍する香川支部



平成28年7月9日(土)ルポール讃岐において大樟会香川支部総会を開催。

大学側より徳永光俊学長他6名、大樟会本部より小林真人副会長のご臨席を賜り、昨年より2名多い総勢48名という多数の参加者が集う中、盛会のうちに終えることができました。

徳永学長より大学の近況報告があり、続いて小林副会長の挨拶と続き、注目の高松商業高校校長の中筋政人氏(46回卒)が挨拶。

高松商業は昨年秋の明治神宮野球大会において、準決勝では強豪の大阪桐蔭を、決勝戦では強打の敦賀気比を破り見事全国制覇を成し遂げたのです。また今年の春の選抜高校野球大会では決勝戦まで駒を進めたのですが、残念ながら最後は智弁学園に惜敗しました。そして夏の大会では惜しくも尽誠学園に敗れ甲子園出場を逃しましたが、徐々に高商旋風を巻き起こし全国に古豪復活を大きくアピールしたのです。

中筋校長の前任校は今年の選抜大会に21世紀枠で出場した小豆島高校です。中筋校長はきっと幸運をもたらす何かをもたれているのでしょうね。今後の高商の活躍に大いに期待し声援を送りたいと思います。

ともあれ、我々同窓生の中に全国において注目される人物がいることはたいへん勇気づけられることです。

支部長 鈴木澄夫(36回)

## 愛媛支部

### JUMP・UP愛媛



愛媛支部設立50年構想のうち、30回から39回までをJUMP・UPの年と定めており、33回の今年は、その最中にあります。美しく着地できますよう、同窓生皆様方のご指導・ご鞭撻を切に願っております。

第33回愛媛支部総会出席者名簿(敬称略)

徳永光俊学長・山本隆造(37回)大樟体育会会長・南宏道(52回)高知支部長・眞鍋一美(32回)愛媛支部長・小野茂樹(26回)・飯尾貞雄(29回)・国西良昌(29回)・片山昭男(32回)・三神政勝(32回)・宮脇増彦(33回)・山地義夫(33回)・相田通行(35回)・栗谷敬夫(35回)・室地勝之(35回)・一色和夫(37回)・菊池直文(37回)・乃万恭一(37回)・秦 達史(37回)・松本輝志(37回)・宮崎 望(37回)・近藤仁志(39回)・二宮克郎(40回)・岡村重治(40回)・岡田秀人(41回)・安藤志朗(48回)・永井信幸(48回)・吉岡通伸(48回)

なつかしい名前、見つかりましたか・・・？

来年は今治市にての開催を予定しております。また、役員改選の年でもあります。時間の許す範囲でご参加ください。

事務局長 宮崎 望(37回)

## 高知支部

### 年に1回の支部総会に出席を



平成28年11月19日(土)、三翠園にて高知支部総会を開催しました。当日は天気・気温とも穏やかで大安ということもあり、たくさんのイベントが行われ、高知市内のホテル等はほぼ満室の状態でした。来賓として大学から崎田事務局長、大樟会から眞鍋常務理事、愛媛支部から宮崎事務局長、香川支部から鈴木支部長の4名をお迎えし、大学・大樟会からは、大学の現状・今後の課題等をお話いただきました。

今回は初参加の方、久しぶりの参加の方、常連さんといういろいろでしたが、例年どおりの人数でした。平尾幹事の職場(高知銀行)に勤務する経大OBの方々にはたいへんお世話になりました。酒も進み、和みの歓談の中、あっという間に時間が過ぎ、中締めは藤井郵便局長。そして学歌を斉唱、井上一仁(50回卒)さんのエールで閉会しました。

来年は会員の三谷さんも参加されています、団塊のビッグバンド“サイコ”をお招きしたいとの話も出ました。高知支部の皆さま年に1回です、支部総会参加よろしくお祈いします。

支部長 南 宏道(52回)

## 北九州支部

### 久しぶりに若い同窓生2名が参加



平成28年10月1日(土)、北九州支部総会を開催しました。12名の会員と、熊本支部から濱支部長と坂本様、大分支部から阿南様と三浦様、大樟会から小林副会長、大学から草福総務部長にご出席いただきました。

恒例となっている28回卒の河野様率いる生バンド演奏もすばらしく、会場を盛り上げていただきました。今回、79回卒の若い方が2名も参加されたことはうれしい限りです。いつもお忙しい中ご参加いただいている同窓生の方々に感謝し、引き続きご協力を願うとともに、新しい方々の参加促進に力を入れていきます。

地元志向が高まる中、九州地方からの受験者数も減少していると聞いています。今回、参加の若い同窓生は異動で福岡にいられました。それもアプローチの一つと考えます。最後に次年度も同窓会を開催しますのでよろしくお祈い申し上げます。

支部長 植田達三(52回)

## 大分支部

### 熊本・大分地震で開催遅れる



平成28年11月12日(土)、大分センチュリーホテルにおいて、大樟会大分支部総会を開催いたしました。大学本部から崎田洋一事務局長、大樟会からは小林真人副会長、北九州支部からは植田達三支部長、西村英氏、熊本支部からは濱忍支部長、伊藤哲也氏にご出席いただきました。

予定では、6月開催をめざしてハガキを出すところまで準備が進んでいたのですが、熊本・大分地震により11月になってしまいました。小林真人大樟会副会長、大学の崎田洋一事務局長の祝辞の中で大学の現状、これからの大学の方向性の説明がありました。知識だけでなく、いろいろな資格を取得して、就職しても即戦力になれる人材を育てる大学を目指していることに感銘を受け、支部総会は、無事終了致しました。

来年度支部総会は、6月に開催予定です。支部長 寒田 陽(40回)

## 熊本支部

### "負けんばい熊本"



平成28年4月14日(木)の前震、4月16日(土)の本震。2回の震度7の大地震が熊本を襲い、余震は1800回近くにもなっております。この間、支部会員の自宅も被災し、約2週間車での生活を余儀なくされた方がおります。熊本のシンボルであった熊本城、阿蘇神社、阿蘇山、水前寺趣園等々、今後、復旧のためには30年以上の時間と巨額の費用を要するたいへんな事態となりました。

このような状況のなか、7月2日(土)、今回で28回目となる支部総会を荒尾市のホテル ヴェルデにて開催いたしました。大分および北九州支部から激励のため駆けつけてくれた7名の仲間にも参加いただき、厚く御礼申し上げます。大学より佐藤理事長、大樟会本部より竹中事務局長、前山口支部長の小林大樟会副会長のご臨席を賜り、総勢19名(奥様方を入れますと22名)での開催となりました。総会後は場所を変え、カラオケルームにて夜遅くまで楽しい一時を過ごすことができました。

私も支部長拜命28年となりますので、来年の総会をもって坂本純夫君(39回)にバトンタッチする予定です。"限界集落"の熊本支部を、今後とも隣接支部会員のお力添えをいただきながら維持できたらと思っています。

母校のボランティアサークルが熊本地震の募金活動をしてくれたことが学長の「野風草だより」に記されておりました。本当に有難く、御礼申し上げます。厳しい状況ではありますが、「負けんばい熊本」、「がまだせ熊本」の気持ちで過ごしてまいります。

支部長 濱 忍(35回)

## 宮崎支部 苦戦する地方支部



毎年、当支部総会の開催日は11月の第3週の土曜日と決めています。理由は南九州支部から独立した日であり、今回も平成28年11月19日(土)に第14回宮崎支部総会をホテルメリージュ宮崎で開催しました。例年出席する人が高齢化、健康問題そして遠隔地に居住している等で辞退が相次ぎ、従来からすると参加者の少ない状態でした。

当支部の課題である「会員の拡大」に拍車をかける必要があり、近々の作業として最近本部から取り寄せた卒業生名簿を参考に、会員間の情報交換を高めることを議題に取り上げ、確認したところです。

なお、大学から草福総務部長、大樟会本部から田村会長に遠路ご臨席いただき、各々近況報告をしていただいた。大学における入試、就職に関する状況や各クラブの活動状況等々、そして大樟会からは受験生が近畿圏とその周辺に集中する傾向にある中、将来の大学や同窓会の運営を考えた場合、全国的な展開が必要とのお話があり、特に興味深く拝聴し地方としてその必要を感じた次第でした。

懇親会は宮崎弁が飛び交う中、定年退職が近い人の報告や毎年総会開催日と重なるダンロップフェニックストーナメントについて素人解説で話が咲き予定時間オーバーで閉会しました。

支部長 福田俊彦(32回)

## 南九州支部 支部総会を開催して



毎年のことながら、皆様種々予定があり連絡が遅れたりしましたが、本年(平成28年)も無事皆様のお元気な顔を拝見することができました。常連が外国留学をしたり、病気等で少し淋しい思いもしましたが、本年から支部応援団として大学入試拡張のために皆様に加勢をいただくことにして、お願いの会として参加いただきました。

田村大樟会会長の将来100支部構想に呼応して、二年後に沖縄支部が独立するために、来年沖縄で支部総会を13年振りに開催します。諸氏の参加を期待します。また、来年早々に、大学近くに県人会の賑やかだった頃を再現させるべく、大学の近くに拠点を置き、学生募集と地元に戻って就職ができるような応援体制を構築すべく発展的に活動をしたいと考えています。支部に所属する企業の拠点を連絡所にして、学生の悩みや希望に、鹿児島弁で相談できる時間を年に四回位設定したいと考えています。来年もまた元気で参加してください。

支部長 前園博隆(34回)

## 部会

## 大樟春秋会 大樟春秋会(西部)総会開催 大河内京都西川社長、同社の歴史を語る



平成28年度大樟春秋会(西部)の総会は、平成28年4月20日(水)午後6時から、大阪新阪急ホテルで開催されました。参加者は、来賓を含め23名でした。

まず、佐藤理事長と徳永学長が、大学の近況報告を兼ねて挨拶されました。理事長は、入学者数は順調に伸びているが、地方からの入学者が少なくなっていることが懸念される。大学間の生き残り競争が激化するなか、本学も改革が必要であるとの日頃のお考えを披瀝されました。また、学長は、本年の入学志願者は1万9,017名であり、ドンドン底であった平成11年の8,942名と比較すると倍以上となった。これも教職員のご尽力のお陰である。また、偏差値も徐々に上がってきているし、就職率もリーマンショックで大幅に低下したが、その後回復傾向にある。これからもきめ細かい対応をしていきたい、と述べられました。

続いて、矢倉会長(エーアイテイ社長)が議長となり、総会に移り、志水事務局長、大学の黒正進路支援部長他による会務報告等が行われ、いずれも異議なく承認されました。さらに、新会員となられた3氏の紹介がありました。

今回の【春秋会講座】は、株式会社京都西川の大河内徹心社長による「京都西川創業450年から学ぶ」と題した講演で、同社が近江の国で創業してから現在に至った歴史、また、大河内社長の同社への入社後の様々なご経験、事業に対するお考え等を懇切丁寧に語っていただきました。

この後、記念写真の撮影の後、懇親会となりましたが、和やかな雰囲気の中にも、今後の春秋会のあり方等について意見交換をするなど、有意義な懇親会となりました。 広報部 内田敏雄

### 「澁江」購読料のお願い

「自らの購読料で『澁江』を育てよう!」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました。

お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。編集子一同、このご声援に応え、親しまれる『澁江』を目指し頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いたします。

※同封の振込用紙をご利用ください。

振込手数料は不要です。

## 大樟体育会

### 愛する大学のため、愛するクラブのために



第16回大樟体育会総会は、平成28年6月4日(土)午前11時から、本学J館3階の第一会議室で開催されました。出席クラブ数は全34クラブ中の24クラブで過半数を超え、総会は成立しました。出席者は59名でした。

冒頭、山本隆造大樟体育会会長は、「皆さん方には、ボランティア活動で、大阪経済大学体育会のためにご奉仕していただいて、本当に感謝いたしております。私もその一人ですが、時間の問題、家庭の問題、等々、その辺の苦労は経験した者でないとわかりません。同じ苦労を分かち合った仲間が愛する大学のために、愛するクラブのためにまとまっていこうというのが大樟体育会であります。今後も、いろいろな意見を出し合いながらよい"人財"を社会に送り出せるよう努力していきたいと思っております」と開会の挨拶をされました。

続いて、佐藤武司理事長は、「大学はスポーツに対する考え方を変えなければならないと思っています。運動部を学内でどういうふうな位置づけにしていくのか、これを明確にしなければなりません。名監督のいるところには名選手が来る。強くなれば就職にも有利になる。学校の知名度も上がる。少子化が進むなかで、いよいよ2018年から大学の生き残り戦争が始まります。すでに各大学間で強い選手の争奪戦が始まっていますし、近隣の大学では猛烈なスピードで改革が進んでいます。私も、この7月で理事長に就任して2年になりますが、今、改革を進めないと、16年後の大学創立100周年の頃にはどのようなのか、想像が付きません。『改革なくして成功なし』です。やはり改革に取り組んでこそ学校の将来があります」と述べられました。

今回初めて本総会に出席された徳永光俊学長は、「先日、私の授業が始まる前に2名の野球部の部員が来て、『先生、この前は、応援をいただき、ありがとうございました』と言いにきました。素晴らしいことですね。私はいろいろなクラブの応援に行っていますが、そのなかで、後日、きちんと挨拶してくるのは弓道部の女子と日本拳法部です。大事なことは、きちんと挨拶ができることです。スポーツですから、当然、勝ち負けはあります。勝たないと話にならない。1部を目指す、さらには全国を目指す、さらには世界を目指す、そういう選手を育てていきたいと思っています」とマナーの大切さを強調されました。

さらに田村大樟会会長は、「日頃、皆さん方のなかには60歳を過ぎても道場で練習している人もいます。それがかなわない人は、選手が試合をしている会場に足を運んでいただいている。あるいは、直接、学生を指導している方もあります。まさに利害得失抜きボランティアの世界だと思います。これは卒業生だからこそできることだと思います。

以上のような挨拶が行われた後、山本大樟体育会会長を議長に選出し、総会が始まりました。本年度の活動報告、決算報告、次年度の活動計画、収支予算案が順次審議され、いずれも原案どおり承認されました。続いて、優秀指導者・クラブ・選手の表彰式が行われ、山本会長から各受賞者に表彰状が手渡されました。

この後、懇親会に移り、和やかな雰囲気の中、午後3時過ぎにおひらきとなりました。

広報部 内田敏雄

## 池田泉州銀行大樟会

### 新会員紹介の新企画で盛り上がる



平成28年度池田泉州銀行大樟会総会を8月1日(月)、大阪新阪急ホテルにて開催いたしました。大学から藤本経済学部長、大樟会から田村会長、当行の藤田頭取をご来賓にお迎えし、総勢76名(会員数139名)の参加となりました。

総会は陸野会長の開会挨拶で始まり、続いてご来賓の方々よりご祝辞を頂戴し、大学の近況や大樟会の動向について拝聴しました。

大野副会長の音頭で乾杯の後、懇親会となり、途中かけつけてくださった藤田頭取からも激励のお言葉と来年度の採用で大阪経済大学から過去最高となる10名の内定者が決まったとのお話がありました。

その後、今年度入行した3名に質問形式でその人となりを紹介する新たな企画では、新人ならではの失敗談などで大いに盛り上がり、時が経つのを忘れ、記念撮影の時間がなくなる程の盛況ぶり、最後に田中名誉会長による閉会挨拶で盛会裏にお開きとなりました。

事務局長 田中晃正(59回)

### ホームカミングデー 初の同期会・部会交流会に大樟会女性部会(仮称)のメンバー18名が参加

平成28年10月30日(日)に行われたホームカミングデーの懇親会の後、午後2時からD館8階の80周年記念ホールで開催された同期会・部会合同交流会に、今後、結成が課題となっている「大樟会女性部会(仮称)」のメンバー18名が集まりました。

本学は、戦時体制のなか、昭和19年春からわずか2年間ですが「大阪女子経済専門学校」として優秀な女子学生の教育を行った時期がありました。当時の在校生もすでに90歳前後ですが、まだまだお元気な方も多くいらっしゃいます。

その後、女子学生が極めて少ない時期が長く続きましたが、近年、再び女子学生が増え、現在では在校生の20%以上、4人の1人近くが女子学生です。

女性がますます活躍する時代にあって、大樟会でも女性部会の結成が課題となっています。今後は、女性部会の活動の具体化に向けて調整を行うこととなります。



## 日立大樟会 第30回記念大会を開催



平成28年9月10日(土)、節目となる第30回日立大樟会を東京で開催しました。日立グループのルーツは長州ですが、場所は品川高輪台にある元・毛利家の下屋敷跡地に建設された会社の施設(高輪和彊館)で行いました。田中富三大先輩(第8代同窓会会長)からは、日立グループの創成期に活躍された長州出身の久原房之助さんや鮎川義介さん、さらに井上馨侯爵のことなどのお話をいただきました。また、今回30周年ということで大樟会事務局のご支援をいただいて作成した30周年記念誌を皆様に配布しました。

当日は、ご来賓として学校より佐藤武司理事長、大樟会より田村正晴会長および角脇忠行常務理事に出席をいただき、佐藤理事長からは18歳人口が減少する2018年問題に向けての近隣大学の動きと我が大経大の改革について、また田村会長と角脇常務理事からは大樟会として学生に対しての大学の奨学金制度支援等の具体的な活動状況の説明をしていただきました。

その後、各自の近況報告を行い、最後は恒例となっている元・応援団の小坂さんによるエールと、久し振りに参加していただいた木村さんを中心に学歌と逍遙歌を斉唱してお開きとしました。

会長 山下徹男(37回)

## 税理士大樟会 第25回定期総会報告



平成28年7月8日(金)午後5時10分、ハートンホテル心斎橋別館で、研修会に続き松浦國展総務部長の司会により、会員30名出席のもと大阪経済大学税理士大樟会の第25回定期総会を開催しました。はじめに、檜垣典仁会長が

任期2年を終えるに当たり、各部の事業活動について詳細に報告され、会員の参加協力への謝意を述べられました。

来賓としてご臨席いただいた田村正晴大樟会会長、久保太郎社労士大樟会会長の紹介の後に定期総会の開会を宣言し、三木泰前会長を議長に選出して議事に入りました。

第1号議案の事業報告については各部長が説明し、収支計算書の報告があり監事を代表して澤渡聰謹監事が監査報告を行い、異議なく可決承認されました。引き続き、第2号議案として事業計画案と収支予算案を審議し、可決承認されました。

今回は執行部の任期が満了するため、第3号議案として役員改選の議案が提案され、檜垣会長以下、溝口隆夫副会長(研修)、市原孝志副会長(組織)、西川孫市副会長(広報)、堀田治副会長(厚生)の重任と中坪健治副会長(総務、事務局長兼務)、山本肇志専務理事の新任が可決承認され檜垣執行部2期目の陣容が整いました。

三木議長は議事進行の謝辞と合わせ、税理士大樟会の活動に会員各自の積極的な参加を要請し議長席を退席され、午後6時に定期総会が閉会しました。  
広報副会長 西川孫市(近畿会住吉支部)

## 社労士大樟会 第9回定期総会 山口雅生経済学部准教授による記念講演会も開催



平成28年7月23日(土)、社労士大樟会第9回定期総会を本学E館7階会議室で開催いたしました。当日は広島県や岡山県、高知県からも会員の方々に駆けつけていただき、大変充実した総会を開催することができました。

ご来賓として、大学より草福弘樹総務部長、大樟会本部より田村正晴会長・竹中亨事務局長・内田敏雄事務局次長、税理士大樟会より檜垣典仁会長・山本肇志専務理事・中坪健治副会長のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

総会に先立ち、社労士大樟会久保太郎会長より会員数の増加を念頭に置き、大樟会本部、税理士大樟会との連携を強化し、着実に一歩一歩進んでいきたいという挨拶がありました。

ご来賓を代表して、草副総務部長から本学の志願者数の増加、学生の就職状況、クラブ活動、ホームカミングデー等のお話とご挨拶を頂戴いたしました。

総会では議長に久保会長が就き、議事録署名人に古池浩二郎氏を指名し、審議を開始いたしました。そして、第1号議案：平成27年度事業報告並びに平成27年度収支決算及び監査報告承認に関する件、第2号議案：平成28年度事業計画(案)並びに平成28年度収支予算(案)承認に関する件がそれぞれ審議され、平成28年11月の研修一泊旅行の説明などを経て、満場一致で承認されました。

引き続き行われた記念講演では、大阪経済大学経済学部准教授 山口雅生先生より「日本経済の課題：需要不足と雇用・賃金・デフレ」と題してご講演いただきました。「デフレの原因は、本質的には、マクロ経済の需要不足であり、それを引き起こしているのは、人口減少、所得停滞、期待成長率の低下である。デフレを解消することを目標とするのではなく、消費や所得を増やしていくことを目標にして自然にデフレが解消される方向を目指すべきで、労働時間、休日、非正規労働者の待遇改善、少子化対策が重要となってくる」という大変示唆に富んだお話を頂戴いたしました。

記念講演終了後、隣の大樟ラウンジにて山口先生も加わられて懇親会が開催されました。税理士大樟会から大山伸之事務局局長も駆けつけてくださいました。田村正晴大樟会会長、税理士大樟会の檜垣会長からご挨拶を頂戴し、次いで当会の首藤佳文氏の高らかな乾杯の発声です。

和気藹々の雰囲気の中、同窓の親睦を深め、大学と同窓会の将来に思いを馳せているうちに時は過ぎ、当会の山崎正順理事による中締めが行われ、竹中事務局長の学歌先導、檜垣会長の逍遙歌先導というゴージャスなリレーで、学歌、逍遙歌が斉唱される中、お開きを迎えました。

社労士大樟会では引き続き会員の募集を行っております。入会ご希望の方は、下記までご連絡ください。

社労士大樟会事務局 西平綾太  
〒599-0212

大阪府大阪市自然田1915-37 西平労務事務所  
TEL 072(472)2297 FAX 072(471)7226  
mail:ayata@silver.ocn.ne.jp

事務局 西平綾太(48回)

**大学院大樟会**  
川口正義会長退任、新会長に前田増蔵氏



平成 28 年 11 月 5 日(土)、大阪経済大学 E 館 7 階の大樟ラウンジで、大学院大樟会総会を開きました。大樟会と統合して 3 年目の総会で、藤本良寿情報社会学部長、田村正晴大樟会会長に列席していただき、華を添えていただきました。大西事務局長の開会宣言のあと、川口正義大学院同窓会長から大学院同窓会への地域社会からの要請、大学院の現況などについての経過報告、8 年間務めた会長退任の挨拶があり

ました。

その後、来賓の藤本情報社会学部長、田村大樟会会長から励ましの言葉をいただきました。会計決算報告、役員改選が行われ、新しく選ばれた前田増蔵新会長から取り組みの目標と決意表明がありました。

懇親会に移り、一人ひとりから自己紹介をしていただきました。今回は、北浜出身の修了生にも多数参加していただき、力強い援軍を得た思いがしました。今後の同窓会のあり方についても次のような提案がありました。

大阪経済大学大学院で学んで、大阪経済大学で教えたい。税理士などの同業者間のネットワークづくりをしたい。ビジネスの打ち合わせなどに大樟ラウンジを活用したい。研究論文の発表の場を設けていただきたい。大学院支部をより魅力あるものにするために、若手会員の参加をうながす方策を実施したい。リタイアした後でも社会貢献したい。これらは、いずれも大阪経済大学ならびに大樟会の発展に寄与したいという熱い思いの表われでした。写真撮影のあと、大西事務局長の閉会宣言があり、盛会のうちにお開きとなりました。

会長 川口正義(41 回)

**大樟教育研究会**  
第 16 回大樟教育研究会報告



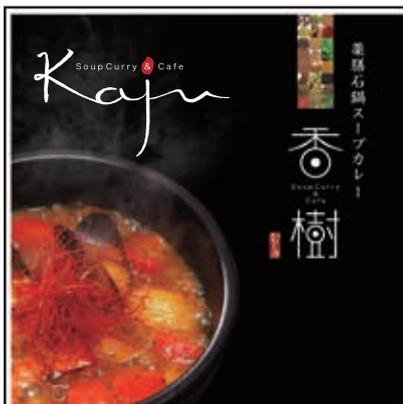
平成 28 年 11 月 12 日(土)午後、本年度の総会・分科会を本学 E 館にて開催いたしました。同窓生・学生合わせて 80 名を超える参加者でした。

今年度の総会では、「学校現場より」～若手教員の立場から～と題した、大阪府内で現役小学校教諭として日々活躍されています八木大輔先生・上原典恵先生、お二人の教育実践の報告をうかがいました。同窓生にとっては、貴重な実践交流の場となり、学生の皆さんにとっては、年齢の近い先輩から教育現場について学ぶ機会となったのではないかと、思っております。

また、分科会では、小・中・高・支援学校それぞれで、教職を希望する学生さん達との質疑応答等に充実した時間を過ごすことができました。

学生さん達と肩を組み歌った懇親会での逍遙歌・学歌も良い思い出となりました。また、懇親会では、徳永学長からサッカー部 1 部昇格の最新ニュースもお聞きすることができ、会場は大きな拍手に包まれました。

今年度も、徳永学長をはじめ大学教職員の方々のご支援・ご指導に感謝申し上げます。田村大樟会会長様、同窓会事務局の皆様にもたいへんお世話になりました。今後ともご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。会長 西村幸雄(43 回)



香樹では、厳選したスパイス十九種類を低温で自家焙煎して、じっくりと煮込み、コクとバランスに気を配りながら極上のスープに仕上げました。



TEL:06-4865-5258

営業時間：11:00～21:30 (LO.21:00)

定休日：毎週月曜日(祝祭日は営業)

翌日振替定休とします



〒560-0004

大阪府豊中市少路 2-9-18 1F

アクセス：大阪モノレール少路駅 徒歩 5 分



## 帝国ホテル大阪で総会を開催 インカレ連続出場と監督交代記念パーティも

### ハンドボール部OB会



ハンドボール部OB会は、1月23日(土)、帝国ホテル大阪で総会を開き、午後5時より「インカレ30年連続・50回出場記念パーティ」と「福井監督勇退感謝の夕べ&明石新監督就任激励会」を開催しました。

OB、現役、ご来賓の方々を含め70名が参加、橋本OB会会長の挨拶の後、佐藤理事長・徳永学長・関西学生ハンドボール連盟前田名誉会長・筑波大学大西名誉教授・大樟会田村会長(竹中事務局長代読)の皆様からクラブ、福井監督に心温まるご祝辞をいただきました。続いて橋本会長より福井監督へ感謝状と記念品を贈呈し、奥様には現役キャプテン田村君から花束をお渡ししました。

大樟体育会山本会長の音頭で乾杯、そして懇親会。多彩な内容のパーティ、会場はたいへんな盛り上がりで時間は瞬く間に過ぎました。最後に明石新監督から「福井監督へ感謝の言葉、クラブの伝統を守り、さらなる飛躍の決意表明」があり、OB会児山前会長の中締め挨拶でお開きとなりました。

当日ご参加の皆様へ感謝。

前会長 児山圭一(36回)

## 新生「白水会」の開催

～～渡邊泉先生を囲んで～～

### 白水会



渡邊先生のご退職に伴い前回は最後の白水会ということでしたが、出席者から継続希望の声が多数寄せられ、新生「白水会」として再出発しました。

平成28年1月23日(土)、大学E館において45名が参加して、白水会総会・懇親会が開催されました。

総会は、田畑君(42回)の司会で始まり、物故者に対する黙祷、栗原会長の挨拶に続

き、宮武記章准教授(63回)による大学の近況報告をしていただきました。

次いで渡邊先生による講演に入りました。このたび出版された「帳簿が語る歴史の真実」を中心に、退職後の3年間の出来事や、今後は、記念品としてお贈りしたカメラで撮影した「写真集」の出版、イギリス、イタリアを奥様と共に訪問を予定されている等のお話をいつもとは違って予定時間通りにお話しいただき、全員で記念撮影を行い総会を終了しました。

続いての懇親会は陰山君(44回)の司会進行により細川さん(41回)の乾杯のご発声で始まり、各期ごとの近況報告や渡邊先生ご夫妻を囲み学生時代を懐かしむ懇談が和やかに行われました。最後に、学歌・道遥歌を全員で斉唱し、3年後の再会を約束してお開きとなりました。

渡邊先生ご夫妻のご健康とご多幸をお祈りするとともに、次回も多くの方々のご参加をいただきたいと思います。

会長 栗原宏之(42回)

## 平成28年度柔道部OB会総会並びに 現役学生の歓送迎会(報告)

### 柔道部OB会



平成28年2月13日(土)午前11時30分から、本学E館(50周年記念館)7階の第1・2会議室および大樟ラウンジにおいて、下垣恒彦相談役(36回卒)、児玉道憲相談役(30回卒)、尾崎義廣相談役(39回卒)をはじめOB20名の出席のもと、平成28年度総会を開催しました。

総会終了後、大樟体育会山本隆造会長のご臨席のもと現役学生20名が集い、懇親会並びに現役学生歓送迎会を行いました。

総会では、司会の天野康弘事務局長(46回卒)から開会宣言があり、OB会員の物故者に対し哀悼の意をささげたあと、総会議事に入りました。

議事は、27年度事業報告、会計報告、監査報告、28年度事業計画案、予算案について審議をした結果、いずれも異議なく承認された。なお、昨年8月に臨時総会を行ったことや、安田太監督から平成27年8月に関西学生柔道大会-60kg級に出場、決勝

まで進出、10月にあった全日本学生選手権やリオで行われるオリンピック日本代表選考を兼ねた講道館杯に出場した中川翔太三段(経済学部3年)の活躍に対し、萩原賞を授与してほしいとの推薦を受け、役員会で審議した結果、受賞者として金一封を贈る決定をした、との報告があった。議事終了後、安田太監督から、これから活躍が期待できる新入生も加わり昨年の関西学生団体5位以上を目指したい、との抱負が述べられ、総会は終了した。

引き続き、現役学生歓送迎会を開催、植村会長、山本大樟体育会会長、安田太監督から、卒業する田中寿斗君、田中大志君、熊本圭吾君の3名への送別とOB会への入会を祝う歓迎、並びに4月から入学してくる5名へ、これからの活躍・健闘を祈念する、との送別並びに歓迎の言葉をいただいた。

卒業してゆく学生からは、社会に出ても今まで培ってきた経大魂を発揮して邁進する旨が述べられた。新入生からは、授業に積極的に出席し、単位をしっかりと取得する。また、柔道の練習も一生懸命行い、レギュラーの座をつかみたい、との抱負を述べられた。

歓談後、植村会長から、萩原賞を受賞した中川翔太君に、賞金10万円が贈られ、最後に、OB会を代表して高橋正信先輩(29回卒)から、社会人としての心構えなどの激励の言葉があった後、万歳三唱を行い、閉会した。

事務局長 天野康弘(46回)

## 本年は創部60周年記念式典を開催

### 日本拳法部OB会



平成28年2月20日(土)母校E館7階会議室において、部長の山本俊一郎経済学部教授、大樟会常務理事内田敏雄事務局次長の出席のもと、本年3月卒業生1名を含む19名が集い、創部59周年記念OB総会および卒業生2名のOB会入会の歓迎会を行いました。

議長に選任された山本隆造OB会会長(10代)・大樟体育会会長より、日本拳法会と大樟体育会の状況報告があり、議事に入り、平成27年度会計報告・活動報告、28年度活動計画が発表され、組織検討、来年度創



部60周年記念式典について議論され、副会長・事務局担当に宮崎善人(16代)、事務局部長に田中輝人(24代)が選任され、60周年記念式典は平成29年2月18日(土)に開催が決定しました。また、平成28年度より日本拳法部部則検討および入部申請書採用とOB会ホームページ開設が採択されました。続いて、内田事務局次長から大樟会の近況報告、山本教授から新社会人(2名、当日は1名出席)となった鍵谷前主将にお祝いの言葉とOB会バッジが贈られ、入会式が行われました。

また、今回、平成28年度新入部員3名の紹介があり、入部申請書および部のネクタイが贈呈され、新年度からの即戦力として歓迎されました。その後、懇親会を上新庄駅前の中華料理店で行い、新入部員や指導者の方々にも参加していただき結束を深めました。副会長 宮崎善人(43回)

部の監督、コーチに指示しました。

重要課題としては部員の獲得があり、数が多ければ競い合い、そして部員自身が自分たちで考え、行動し、切磋琢磨することで団結力ができ、その中から強い選手が生まれると確信しています。

なお、懇親会では85歳の初代田中博OB会長等とは孫程も年齢差がある現役生とも、和やかな会話が交されました。

OB諸先輩からは、空手道部の懐かしい合宿のエピソードや厳しい練習の成果で過去に常時上位入賞を果たし、大阪経済大学の名を全国に知らしめたことや現在の就職状況のこと等が披露され、楽しいひと時が過ぎました。最後は全員による学歌、追道歌を唱和し、お開きとなりました。

今後ともOB諸先輩の一層のご協力、ご支援をお願いいたします。押忍

幹事長 與世田正雄(34回)

## 平成28年度硬式野球部OB会総会を開催 新監督 山本和作氏を迎えて

### 硬式野球部OB会



平成28年2月13日(土)、大阪「神仙閣」にて平成28年度のOB会総会を開催しました。

深谷事務局長の開会宣言に続き、OB会員物故者のご冥福を祈り黙祷を行った後、木岡会長を議長に選出、議事に入りました。河野幹事長より平成27年度事業報告、内海会計より会計報告、岡崎会計監査より監査報告がありました。続いて、河野幹事長より平成28年度事業計画、内海会計より会計予算案の説明があり、いずれも原案通り出席者全員に承認されました。続いて、木岡会長より新監督の山本和作氏を理事に推薦したい旨の提案があり、全会一致で承認されました。最後に、前監督の田中寛氏よりのご挨拶、さらに新監督山本氏より就任に当たったの熱い思いを語っていただきました。

親睦会は、OB会の滝重一氏の乾杯の発声で開会しました。席上、永井マネージャー、細川主将から、山本新監督と共に今シーズンにかける決意を語っていただき、リーグ戦優勝に向けて日々猛練習に励んでいるとの報告がありました。最後に、OB会としてもこの歴史ある硬式野球部の益々の発展と、現役選手への支援体制の強化、さらにOB会員の交流、親睦をより一層深めることを誓い合い、大場副会長の締めで幕を閉じました。会長 木岡良郎(36回)

## 空手道部28年度OB総会開催

### 空手道部OB会



平成28年4月23日(土)午後2時より、E館(50周年記念館)7階において、定例の空手道部OB総会を開催いたしました。

総会は坂本勝宣会長の挨拶で始まりまし。その中で2回生5名と1回生3名の8名の現役生は自ら試合に勝ちたいという意志を持ち、目標を明確に掲げ、昨年1部昇格を果たしたことに強い誇りを持ち続け、監督との意思疎通を図り、日頃の練習を納得のいくまでやれば、その結果は問わないので、悔いのないように自主的に頑張っていくことを確認しました。

その後は議案書に沿って宇陀武司監督から活動報告、会計報告が行なわれ、昨年、2部3位で1部昇格を果たした経緯と、今年の10月の第59回全関西学生空手道選手権大会においては1部16校で上位入賞し、1部維持を目指すこと等を全員で確認しました。

今後は学生の本分である学業と日頃の練習の充実を果たさなければなりません。

なお、現役生諸君はマナーを遵守する真心が必要であり、いつでも先輩や目上の人に対して礼儀正しい挨拶ができること、練習中の姿勢、態度を厳しくすることを指導

## 23期生の集い 本年は卒業60年

### 23期生会



平成28年2月21日(日)、50周年記念館(E館)において32回目の会が開催されました。卒業後59年を経て出席者は23名、昨年比4名減となりました。大学より橋本財務部長、大樟会より竹中事務局長をお迎えし、それぞれ大学、大樟会の現況についてお話しいただきました。母校が益々躍進していることをうれしく思いました。

物故者に対し一同黙祷を捧げ、全員の記念撮影があり、岐阜から馳せ参じた矢井さんの乾杯の発声で懇親会はスタートしました。その後、和気あいあいの雰囲気のもと、出席者が一人ずつ近況について語り、アツという間に2時間余りが過ぎ去りました。現役で仕事をがんばっている人、休みにはサッカーボールを蹴っている人、今年もエージシュートをすると言ってゴルフでがんばっている人。皆、まだまだ元気です。

会の締めは常深さんの音頭で学歌を高らかに唄い、三本締めで会はお開きとなりました。本年は卒業後60年で、33回目となる会は2月19日(日)が開催日です。

皆さんの元気な笑顔に会えることを楽しみにしています。幹事 志水利通(23回)

## 元気なうちは、 明日に向かってがんばろう

### 澱江27期生会



恒例の澱江27期生会は、平成28年4月15日(金)午後6時30分から、今回も大阪西梅田のホテルモントレ大阪で開催されました。今回の出席者は8名で、前回よりも1名多くなりました。

司会は例年どおり角田喬計さん(阪南市)。鴨田博司さん(堺市)の開会の挨拶の後、大



樟会事務局からの同窓会の近況報告があり、車野修三さん(泉佐野市)の発声でいよいよ懇親会がスタート。皆さん、1年振りの再会であり、また傘寿(80歳)を目前に控えて、やはり話題は健康のことと同期生の消息が中心となりました。しかし「明日は早朝からゴルフに行くよ」という方もあり、参加者の皆さんは至ってお元気な様子。会はいよいよ盛り上がり、土屋徳治さん(阪南市)が伴奏なしで自慢のノドを披露されました。遠方から参加の水木佳宣さん(和歌山市紀の川市)は途中で退席されましたが、その後も皆さんの話は途切れず、地方出身の新入生の減少を気遣う意見などが出されていました。

最後に、角本喜八郎さん(池田市)の閉会の挨拶では、「元気なうちは、明日に向かってがんばろう」と参加者に呼びかけられ、午後9時、お開きとなりました。

今回は平成29年4月21日(金)に開催することになりましたが、すでに現役を退いた方が多いので、昼の方が集まりやすいという意見が多く、午前11時30分からホテルモントレ大阪で開催することで了承されました。なお、ほかに岸野光雄さん(高槻市)、神代憲治さん(尼崎市)が参加されました。

大樟会広報部 内田敏雄

## 人生七十古来稀

### 第5期寮友会



今年の第五期寮友会は、青天のもと、和歌山県の南紀白浜温泉にて開催されました。当日は、熊本地震の影響もあり、参加者は、約20名でしたが、皆18歳の青年に戻り、語り合いました。寮生活からすでに半世紀。個々人の言葉には、人生経験の輝きが感じられ、楽しいひと時を共有することができました。

当日は、飲み放題、カラオケもあり、酔いにまかせて、夜遅くまで語りあいました。

早いもので、人生70年、古希を迎えましたが、今後も第五期寮友会は、皆仲よく、発展していけたらと思っています。

「来年は、香川県で、また逢いましょう」という言葉で、翌日、それぞれの地へ帰っていきま

角野迪彦(35回)

## 昭和44年卒業(1969) 第35回大経大園田ゼミ(32名)卒業 第4回地域巡回同窓会報告

### 園田ゼミ「樟々真情会」



第4回目の今回は、恒例の連休明けの開催と申し上げたいのですが、国宝姫路城の世界遺産登録と外国観光客の増加により神戸地区まで満室状態で、1日ずらせて5月8日(日)・9日(月)にて開催にいたしました。今回の幹事役は、中堅輸送機メーカーへ飛び込み就職し、後輩のために尽力されてようやく会社から解放された小路氏と豊岡で生コン・建材・ホームセンターと幅広くご兄弟で経営される当ゼミの「駄洒落大旦那」こと木築氏の二人が担当で、今回は、取りにくい宿の手配、書写山・姫路城のガイドさんの手配と地元でないといけないきめ細かい配慮で、仲間達を楽しませてくれました。

圧巻の姫路城を正面に、一望できる窓際一列での最高の昼食から始まり、ロープウェイで姫路市内の町並み、瀬戸内海、小豆島の島影を眺め、終点からはバスで登らず、徒歩で全員元気よく書写山山門へ到着。「ラストサムライ」のロケで有名な珍しい二階建ての食堂大講堂を見学、寺内を散策し大きな楠の前で写真を撮りました。そして、次の目的地の「ヤマサ蒲鉾」へ移動、時間が遅れてしまい残念ながら工場見学はできませんでしたが、最終の目的地「ニューサンピア姫路ゆめさき」に予定通りに着き、昔の遠慮のない横申の仲間の食事会となりました。

今回のサプライズは、卒業以来一度も顔を見ない友、今回震災を受けた熊本在住の西村氏からの手紙を読み上げたことで、仲間を少しでも元気づければと、「寄せ書き」と「些少なりの気持」を贈ることにしました。

上から読んで大経大・下から読んで大経大・横から読んで大経大の小さな繋がる力です。その後、恒例の「ギター・ウクレレのオッサンバンド」の生演奏で歌い、語り、飲み、青春時代を懐かしみ、学歌・逍遙歌で無事1日目は終了しました。

2日目の姫路城は雨でしたが、有り難いことに観光客が幾分少なく、ゆっくりと見学、散策できました。書写山、姫路城いづれもベテランのガイドがつき、何十年振りの修学旅行気分を楽しみました。

今回は、昨年亡くなった妹さんの供養で欠席の柴崎氏、銀行退職後は団体役員として地域で活躍する相田両氏が不参加でしたが、来年は、参加との返事をいただいております。

後日、熊本の西村氏からお礼といずれ顔見せする旨の電話をいただきました。彼が参加してくれば、病気療養中の山口の小田氏、現役の姫路の中川氏、京都の東氏、岐阜の藤森氏、大阪の山本氏、神戸の高田氏とゼミ半分に当たる17名と連絡可能になります。昭和の戦友を増やしていく努力を今後もしていきたいと思っております。

次回は、是非とも岡山津山で開催すると、自ら挙手し、宣言した軽音楽部の「ウクレレおじさん」・「駄洒落若旦那」こと粉川氏が担当ですが、果たして如何なることになりま

すか？ 来年を楽しみに、彼の満面の微笑で姫路駅前にて無事解散となりました。

門永久彦(35回)

## 金剛山「香楠荘」で総会開催

### 経翔会



平成28年度経翔会(ワンダーフォーゲル部OB会)総会は6月18日(土)～19日(日)、金剛山山頂の「香楠荘」にて開催されました。18名と例年になく少ない参加人数となりましたが、若年OBも数名参加して大いに盛り上がった次第です。18日(土)午後3時より総会開始、会長挨拶の後、27年度の活動報告、会計報告、28年度活動計画、等を審議、出席者全員の承認を得、午後4時20分頃終了しました。

入浴、散策の後、午後6時より懇親会を開催、昭和38年卒の国西先輩の音頭で乾杯、名物「かも鍋」をつつきつつ、約2時間ワイワイ、ガヤガヤ、その後も各自部屋に参集、差し入れの酒、焼酎等で夜の更けるのも構わず飲み明かした次第です。翌19日は7時起床、8時朝食、その後金剛山に登る予定でしたが、生憎?の雨で登頂中止。

来年の再会を誓い9時過ぎに現地で自由解散となり、28年度の総会は無事終了いたしました。

会長 牧田征雄(31回)



## 第12回大経大軽音楽部OB会旅行

### 軽音楽部OB会



平成28年4月24日(日)～25日(月)、恒例のOB会が開催され、大阪・京都・奈良・三重のマイクロバスの旅をしてきました。幸いにも両日とも好天に恵まれ、楽しい旅になりました。しかしながら、これまでずっと軽音OB会の事務局とバスの運転を担ってくれていた八倉さん(32期・1月ご逝去)のお姿がありませんでした。～黙禱!このため会の存続が危ぶまれましたが、続けることが故人への供養ということで引き続き開催されます。今回の幹事役の武村、山本両先輩に感謝、感謝です。

また今回初めて松島博さん(34期・ドラマー)が参加され、旧交を温めました。1日目は京都「宇治平等院」、奈良「東大寺大仏殿」を回り、「ホテル三笠」に宿泊。例のごとく飲めや唄えの大宴会で奈良の夜は更けてゆく。

2日目は二日酔いも覚めやらないまま、三重の「赤目四十八滝」へ。だいぶ奥まで歩きましたが、さすがにバテて途中で引き返しました。一番奥に到達した人はいたのかな?

今回は36期の秋山・佐藤・鈴木君らが素敵な企画をしてくれることを期待しています。

今回都合で来られなかった先輩方、今回は元気でお会いしましょう。

粉川誠三(35回)

## 平成28年度ラグビー部OB総会、新指導体制を発表

### ラグビー部OB会



平成28年6月12日(日)、本学E館7階においてOB総会を開き、今年度の指導体制の発表ならびに会計報告が行われました。

昨年度まで指揮をとっていたOB会長の廣田英一氏(昭和47年卒)から織戸コーチ(平成12年卒)がヘッドコーチに昇格し、中西浩一氏(平成6年卒)と本学トレーニングルームで指導されている山本 啓貴氏(帝京

大学OB)がコーチに就任したとの報告がありました。このスタッフで厳しく指導していただき昨年の屈辱的な入替戦を二度と経験しないよう日々練習に励み、近い将来にはAリーグとの入替戦を目標に頑張りたいと思います。

今年度のOB総会には大阪府ラグビー協会会長の西岡 保氏(昭和41年卒)も出席され、久しぶりに若手OBや新コーチスタッフとも和やかな懇親会が開催されました。

事務局 森岡良介(45回)

## (公財)日本スケート連盟に「理事」と「ナショナルコーチ」を派遣

### アイススケート部OB会



平成28年7月9日(土)～10日(日)ひょうご憩いの宿「六甲保養荘」でOB総会を開催、38回卒井田実幹会長の開会宣言と軽妙な司会進行で議事に入りました。32回卒の吉本雅家OB会長から、現役に対する更なるバックアップを約束、もう一度日本一のスケートクラブになれるよう、頑張っていくと力強く挨拶をされました。続いて37回卒の梶村貞勇幹事から昨年度の事業報告、会計報告があり、いずれも全員一致で承認されました。

朗報として、40回卒高橋一さんが(公財)日本スケート連盟の「理事」に選出され、また77回卒上村大輔さんがスピードスケートの「ナショナルコーチ」に就任しました。大経大アイススケート部もやっと(公財)日本スケート連盟から存在を認められ、永年の懸案であった全国区の仲間入りを果たしました。今後2人の活躍をOB全員で応援していきたいと思っております。

夜は、監督・コーチらと現役の指導方法を深夜までディスカッション、充実した成果が得られ、今期の試合結果が楽しみになってきました。

総会に先立ち、9日早朝から有志7名にて兵庫カントリークラブで親睦ゴルフコンペを実施。どしゃ降りの雨にも負けず、年齢も忘れて全員頑張りました。上位の結果は以下のとおりです。

成績/氏名/卒回/ネット(寸評)  
1位/西 徹/37回/72.6

(スイングは一流、成績はいつも上位)  
2位/吉本雅家/32回/74.2

(ドラコンも2つゲット、鉄人健在!!)  
3位/公文 公/38回/74.8

(スケート部一番のロングヒッター)  
幹事 岸本啓二(46回)

## 鉄道研究会OB会

### 創立40周年記念総会を開催

#### 鉄道研究会OB会



私たち大阪経済大学鉄道研究会は、40年前に11名のサークルで創立しました。

一番多い時は50名程の部員が集い、今はなき旧B館の階段下にあった部室はいつも満員電車。合宿等では、地方の鉄道会社を訪問して資料や写真を集め、サークルの活動の集大成として毎年、機関誌「よど」を発行していました。大樟祭では、選定したテーマの鉄道を1年間かけて四季の写真を撮影し、ストーリーを持たせ音楽にナレーションを入れてスライド映画を作成。また、写真展や手作りの鉄道模型の運転会も開催していました。

残念ながら会は、後継者がいなくなり10年程で解散してしまいましたが、20年程前にOB会として復活。毎年学生時代と同じ様に「合宿」という名称で1泊旅行を楽しんだり、忘年会や新年会として懇親会を開催して旧交を温め、会報「急行よど」を年4回発行したりと行事の案内や顛末の報告、それぞれの近況報告などの情報発信を行っています。

今回は、大樟会事務局のご厚意もいただき、母校での創部40周年記念行事として呼びかけたところ、連絡が取れている79人の内の34人が集まり、大樟会のホームカミングデーや大学祭、また、学生時代に作成したスライド映画の上映会を交えて約5時間親交を深めることができました。卒業後初めて大学を訪れた者や30年以上振りに再会した者と、体形や見た目はお互い相応に変わりましたが、気持ちは学生時代と変わらないままで楽しいひとときを過ごせました。今後も50周年、60周年と母校で集まれる機会を作って集合ができればと思います。

幹事 宮部義浩(49回)



## 広島支部総会で参加を呼びかける

### 徳永ゼミ「野風草会」



徳永ゼミ「野風草会」では、毎年ホームカミングデーで集まっています。今年は5名と少なく、すぐにいつものセブンへ行ってにぎやかに過ごしました。

広島へはなかなか行けなかったのですが、10月22日の広島支部総会に行くことになり、終了後に集まろうと卒業生に呼びかけました。広島や福山から5名が集まってくれました。ゼミ1期生はもう50歳を越え、ゼミ24期生は入社3年目の若手。一人は、マツダスタジアムでの日本シリーズのカープ勝利を見終えてから駆け付けてくれました。広島弁や私の松山弁で語り合っているうちに、卒業生たちがこうして活躍している姿を見て、感無量でした。野風草会の皆さん、これからも体に気を付けて、ますますのご活躍をお祈りしています。

学長 徳永光俊

## 14回生の「オシャベリ会」にぎやかに開催

### 14回生会

一昨年、米寿を機に同窓会を終わりにした14回生は、元気な友人たちで「オシャベリ会」にネーム変更して2016年11月4日(金)大阪梅田のレストランに16人が集まりました。夫を見送って「一人暮らし」になった人が増え、それでも元気に大いにシャベリ、2時間はアツという間に過ぎました。

前月、大学の学長総会へ出席した時、学長先生から「14回生の集まりがあるなら出席します」と声をかけていただき、当日、徳永学長が来てくださいました。若くてお元気で、経大の将来に向けて積極的で夢のあるお話を聞き、私どもは大いに感動しました。「一度大学へ行ってみたいね」との感想も出ました。私どもはまもなく「米寿」、「来年も集まろう・それまで元気でね」と約束しました。

2017年の「14回生オシャベリ会」は11月11日(土)。今回これなかった方も多数参加してください。

連絡は、藤川(0727-62-8589)

柴田(0797-23-2862)

柴田悦子(14回)

## 盛大に"卒業50年"を祝う!

### 32期同期会



久々の秋晴れのもと、ホームカミングデー当日、母校"卒業50年"の催しに大きな期待をもって、会場の大樟ラウンジに50余名もの同期生が集まった。

会場に入るや否や"いよお元気!","お久しぶり!"の元気な声が飛び交い、一気に昭和41年に逆戻り状態と化した。記念撮影をすませ、事務局長の進行のもと、初参加11名が紹介され、大きな拍手で歓迎のメールを送る。

今回のイベントとして"50年前にタイムスリップしてみませんか?!"ということで、500余名全員に50問におよぶ大アンケートを送付。まとめのお披露目が担当者からあり、当時は苦学生も多く、アルバイトなどで学費・生活費を捻出。初任給の使途はなんと"親(とくに母親)に渡した"人の多かったことに感激。「資本論」を読み、ゼミで議論をし、友情に花を咲かせた様子を懐古の感。反面、事業に失敗し、どん底から這い上がった人、まだまだ仕事も学業も現役の人…。32期生は大学の宝物かも。

もう一つのイベント、ビンゴゲームでは一転童心に帰り、数字に一喜一憂。全員がおみやげを手に帰路についた。そして卒業50年を超え元気に18,251歩目を踏み出したはず。

とはいえ、私たちも「終活」の道が見え隠れする年代に差しかかり、一同納得の日でした。 世話人 眞鍋一美(32回)

## 創部55周年記念祝賀会を盛大に開催

### 合気道部OB、OG会「氣流会」



平成28年11月3日(祝)、合気道部は、創部55周年を迎えて本学のE館(50周年記念館)にて氣流会の総会、そして総会終了後は現役部員と大学の佐藤理事長、徳永学長、大樟会田村会長、大樟体育会山本会長をお

招きし、創部55周年記念祝賀会を盛大に開催しました。楽しく和気あいあいのなかにも有意義な会となりましたことをご報告申し上げます。

合気道部は創始者古谷貞雄先輩の孤軍奮闘により、昭和36年(1961年)創部、以来歴代の部員のたゆめぬ努力の継続により今日を迎える栄誉を得ました。感謝と感激で一杯です。

氣流会は毎年11月3日に総会を開催、終了後は現役と氣流会会員の合同稽古を創始者古谷貞雄師範の指導のもと、「本年は例外として」和気あいあいと稽古することを恒例行事として続けております。今後も綿々と継続発展していけるよう努力してまいります。 会長 大西 充(38回)

## 連絡先をお知らせください

### 簿記会計研究部OB会



平成28年6月26日(日)、本学E館7階会議室にて簿記会計研究部のOB理事会を開催いたしました。

毎年開催されている理事会ですが、参加者の数が年々少なくなり、今年は理事長一人のみの参加となってしまいました。そして二年に一度開催されているOB総会の参加者も少なくなり、また、現在私たちが把握しているOBの現住所も減少しており、継続が危ぶまれます。

そこで、この記事を見ておられるOBの方にお願ひがあります。引越しやその他の理由で郵便物が届かなくなってしまった方は、下記の住所、もしくはメールアドレスに現住所、氏名、卒業年等を明記してご連絡いただくと幸いです。お手数ですが、願ひ申し上げます。

住所：大阪市東淀川区大隅2-2-8

大阪経済大学簿記会計研究部

メールアドレス：

oue.bokikaikai@gmail.com

理事長 谷口雄英(73回)

現役部員 森下尚登、玉井湧太



## 4期合同OB会を開催

### ESS OB会



2016.11.5 (SAT.) ニューミュンヘン北大使館、12:30～16:00

参加期生および参加人員(合計43名)敬称略

36期生 5名 世話人 松村則夫

37期生 8名 世話人 森實 寛

38期生 16名 世話人 北室雅弘・芳川敏博・片岡康和

39期生 14名 世話人 大橋信洋

開会が、12:30にもかかわらず、11時前から各期の世話人並びに多くの参加者が集まり、会場準備並びに会場内のあちこちで歓談が始まりました。

12:20には、42名が揃い1名が13:00に到着。42名にて予定通りJOINT OB MEETING が始まり、36期生渡辺嘉弘さんの開会挨拶と物故者への黙祷で会が進行し、写真撮影に移りました。そのあと、37期生森實 寛さんの乾杯の音頭にて、食事開始へ進み、各期生毎のOB紹介(インタビュー形式)が行われ、引き続きPROJECTORにより在学中の合宿などの写真および卒業アルバムの写真の抜粋を見ながら若かりし頃にタイムスリップし、あの時君も僕も若かったと言い合いながら楽しい時間を過ごしました。

楽しいひと時はすぐに経過し、学歌斉唱および逍遙歌の指揮とエールを37期生高橋章二さんが行い、閉会のあいさつは37期生の高田 明さんが行い、今の自分のあるの

は、経大とESSの仲間のおかげであるとともに、縁を大切にという言葉で締めくくりました。

宴会時間は、3時間30分でありましたが、本当にあっという間に終了した感じで、皆、異口同音に、またOB会をやろうとか次回の再会を約束して散会しました。

大橋信洋(39回)

## 34～40回卒が神戸に集う

### 珠算研究部OB会



平成28年9月28日(水)～29日(木)に神戸市内のシーサイドホテル舞子ビラにて珠算研究部OB会が開催され、12名の参加者が集まりました。当日は午後3時にホテルに集合し、舞子公園にある世界一の吊橋「明石海峡大橋」の神戸市側にある舞子海上プロムナードの見学。その後、午後6時より舞子ビラから見える明石海峡大橋の七色に変わる照明を見ながら、懇親会がスタートしました。当日欠席であった36回卒の山路さんが宴会途中で突然会場に現れ、さらに宴が盛り上がり、各人より近況報告、当時の部活時代の思い出話が尽きず、あっという間に3時間が過ぎてしまいました。最後に学歌、逍遙歌を斉唱、その後は部屋にて二次会で夜遅くまで盛り上がりました。次回は、2年後に白浜で開催されることが決定し、幹事は和歌山出身の久保君です。

翌日はホテルを出発し、舞子から車で20分位にある源平ゆかりの古刹「須磨寺」に参

拝しました。参拝後、須磨寺参道にある須磨寺商店街の寿司で有名な「志らはま」で昼食を済ませて、2年後の再会を期して散会としました。

古谷和永(37回)

## 邦楽部第7回OB会 役員改選などを承認

### 邦楽部OB会



去る平成28年6月18日(土)午後4時より邦楽部第7回OB会総会および懇親会が例年通り大学構内のE館(50周年記念館)7階会議室および大樟ラウンジにて盛大に開催されました。今回は現役幹部5名を含む18名の出席ではありましたが、たいへん楽しい1日を過ごすことができました。

OB会総会では例年通り①昨年度事業報告および決算報告②今年度事業計画案および予算案さらに2年に1回の③役員改選の報告がOB会会長よりあり満場一致で採決されました。

また、懇親会冒頭の尺八演奏は昨年の3名から大幅増の7名での大合奏となりました。毎年回を重ねる毎に尺八演奏の参加者が増えることを期待しています。

乾杯のあとOB・OGおよび現役部員、出席者全員から近況等の報告が和やかにありました。また、現役部員第51代幹部からは邦楽部第50回記念定期演奏会「響」の開催案内がありました。(開催日は11月21日(月)で場所は例年通り吹田メイシアター中ホール)締めは恒例の学歌と逍遙歌を大合唱し、次回第8回OB会での再会を約束し閉会しました。 会長 尾上眞己(36回)

## ガンバレ 経大ラグビー部!



あらゆる生活シーンで安心と安全を提供したい  
それが私たちエース警備のテーマです。

株式会社 **エース** 警備保障



本社 〒660-0815 尼崎市杭瀬北新町4丁目9-7 TEL 06-6481-0055 FAX 06-6481-0011  
支店 大阪・神戸 URL: www.ace-guard.com ISO 9001 認証 S55卒 ラグビー部 河内 龍激

# お世話になった先生からの

お元気な  
お便り

(敬称略・順不同)

## 人生の終末と原発問題

松原 和男

以前「澱江」に、「不安定狭心症で冠動脈に2つ目のステントを入れられ、人生の終末が近い」と書いたら、ゼミ生OB諸君から見舞の便りをいただきましたが、このところ、不整脈やふらつきがあるものの、ほぼ、普通の生活を送っていました。ところが、最近、親友や旧同僚が相次いで亡くなり、人生の終末を再び感じています。前号に書いた物理学者の親友も一昨年末に亡くなりました。

彼と一緒に考えていた原子力発電問題は、益々混迷の度を深めています。再稼働か、運転停止かをめぐる裁判も続いています。しかし、止まっている原発でも、自然災害が起きれば大惨事となるだけに厄介です。また、廃炉にするにしても巨額の費用と長い時間がかかります。その間に災害から大惨事の可能性もあるようです。

が、目を見張る発展を遂げていました。本年初春に、ラオス国立大学で戦後日本経済に関する2日間の集中講義をすることが内定し、目下その準備に追われています。ラオスの人材育成に少しでも貢献できればと願っています。顔写真は、在ラオス日本大使館を表敬訪問した時に大使と撮ったものの部分です。ゼミ生からの音信を期待しています。

## やっと一冊実現！

稲場 紀久雄

退職した年、ライフワーク完成のため「毎年一冊出版する」という計画を立てました。それがどんなに途方もない計画か、分かっていましたが……。

自費出版は、念頭にありません。読者がお金を払って買ってくれる作品でないと無意味という考えです。そうなると出版社の評価が分厚い壁です。最初25万字の原稿を持ち込み、長過ぎるからと16万字に圧縮。悪戦苦闘の末、やっと一冊目途が立ちました。この作品の調査開始が40年前、出版社と交渉を始めたのが15年前、そして執筆に5年。タイトルは、『バルトン先生、明治の日本を駆ける！』（平凡社）。ライフワークの完成まで、果して生きられるか……。

自問自答の昨今です。一日一日が私には大切です。



## ラオス国立大学での講義の準備に追われる

二宮 正司

大学を退職して早や2年半が経過し、73歳になりました。毎日そこそこ健康に過ごしています。ゼミ生の皆さんはお元気で活躍されていると拝察します。私は昨年夏に、25年振りに10日間程ラオス旅行をしました。四半世紀前に見たラオスは、当然なのでしょう



オフィス創りの総合商社

文具・事務用品・印刷・OA機器・オフィス家具

どんなことでも **NIKKO**へ！

NIKKO



株式会社日興商会

代表取締役会長 藤縄 健一 (第37回卒)



コクヨ製品取扱高全国 No.1

本社 〒660-0892 尼崎市東難波町5丁目10番30号 Tel. 06・6487・1401 Fax. 06・6487・1414 ホームページ <http://nikko.bunguclub.co.jp>  
支店 大阪・京都・神戸・東京・名古屋・広島 他 全19支店2営業所

## 『会計の歴史』を新書版で書きたい

渡邊 泉

【近況報告】卒業生の皆さんお元気ですか。私の方は、年々体力の衰えを実感しながらも、何とか元気に過ごしています。2016年2月に出版した『帳簿が語る歴史の真実』（同文館出版）がアメリカのAccounting HistoriansのNotebookで紹介され、その影響もあってか、まだ確定ではありませんが、中国語への翻訳が進行中です。昨年9月末から1か月半ほどイギリスとイタリアに行ってきました。今度は、研究とは離れて、のんびりとかつて訪れた大学や古文書館に行き、古き友人たちに会ってくる予定です。それを土産に、今度こそ新書版で会計の歴史を書きたいと願っています。さて、どうなることやら。皆さんの元気な便りを聞かせてください。  
(wtbnbizm117@gmail.com)



## 近況

中川 操

今、私の生活は、ほとんどベッドの上となってしまいました。そもそも事の起りは、一昨年10月28日の夜（主人の命日）に自宅で転倒し、大たい骨を骨折したことでした。その後、無事に手術を終えたのですが、2・3カ月たつうちに、どんどん口レツが回らなくなり、おかしいと思っていたら脳こうそくを起こしていました。幸い2週間ほどSCU（脳卒中集中治療室）に入っている間にかなり回復し、リハビリを続けてきましたが、やはりひとりでの生活に戻るのには難しく、自宅近くのケアハウスに入所しました。ここはお食事美味しく部屋もきれいでサービスも良く快適ですが、やはり自宅に戻ることを諦めきれず、遠い昔に想いを馳せる毎日です。

## おすすめの本2冊

久保田 諄

最近読んで感心した本の一つは磯田道史「無私の日本人」（文春文庫）だ。江戸後期に生き、全く自身の損得を顧みず、地域の人々の幸せに尽力した3人、穀田屋十三郎、中根東里と大田垣蓮月の物語である。この様な人物が過去に存在したことは我々の誇りであると著者も述べている。彼らの活動を理解し、十分に支えた地域の人々の心優しさも高く評価される。

もう一つは石川英輔「泉光院江戸旅日記」（ちくま文庫）だ。日向の修験者泉光院が弟子と2人で6年間にわたり東北地方まで布教の旅を続けた記録の解説である。この長い期間、毎夜必ず誰かが彼らを自分の家に泊めたので、野宿の経験は一度もなかった。見知らぬ旅人にも心優しい昔の庶民たち。

## スマホも使っています

滝内 大三

そろそろ回想録をまとめる年となり、60年近く付けてきた日記を整理しています。すっかり忘れていたことが多く、思わず読みふけて<sup>はかど</sup>ません。人間科学部を設置した頃は、まるでドラマを見ているような日々でした。その頃の、私の胸の奥にしまっている「裏事情」は、独立したメモワールとして残しておこうか、と思ったりしています。教育史を専攻した人間の業<sup>わざ</sup>がもしもせぬね。

遅ればせながら、スマホも使うようになりました。GPSの位置情報、メモ代わりの写真撮影、ちょっとした調べ物、音楽の視聴、パソコンデータの持ち運び。多くの人には当たり前のことですが、私には新鮮です。ただラインで繋がるのだけは苦手です。



## 社史・記念誌 ・自叙伝出版

ご希望・ご予算に応じて  
原稿整理のお手伝いから  
編集企画をご提案します



## 安全手帳・ノート ・ハンドブック

企業様の安全管理を  
オリジナルのイラストで  
分かりやすく伝えます



大信印刷株式会社 [www.dprint.co.jp](http://www.dprint.co.jp) ☆S58卒 畠山 昌憲 hatakeyama@dprint.co.jp  
〒531-0076 大阪市北区大淀中4丁目13-11 Tel.06-6451-7631 Fax.06-6451-3735

## ゼミ短信

# 先生方からの メッセージ

(敬称略・順不同)

### 今もセブンに集まっています。

徳永 光俊



昨年も4年生ゼミでは、学園祭に屋台「徳ちゃん亭」を出しました。ポテトフライです。安い原価でもうけようとたくらみましたが、屋台の場所がJ館前の端っことで、思うようにお客さんが集まらず、かろうじて黒字になった程度でした。就職も順調です。あとは、卒論を仕上げただけとなりました。

3年生からは、ゼミ生の数が15名となりました。今までの20、30名の時とは雰囲気も変わって来て、こじんまりとしてきて、女子学生も多いです。11月11日はポッキーの日で、みんなで買ってきて、ポッキー新商品開発のグループワークや売り出しのCMを考えたりと、楽しめました。2年生のある学生が誕生日ということで、水曜日の夜、セブンで集まり、みんなでお誕生会をしました。

水曜日の夜は、今もセブンで集まっていますよ。卒業生の皆さん、のぞいてみてください。元気で活躍されることを願っています。

(学長)

### 赴任して3年が経って

尾身 祐介

昨年の9月で私が本学に赴任して3年が経ちました。赴任して担当したゼミ一期生の皆さんが社会に出たことで、ゼミの一サイクルが終了したことになります。一方、ゼミ現役生は現在合計で48人です。各学年ノリが異なり、皆さんのノリとも異なりますが、多様であることが楽しく思えるようになりました。

皆さんの近況を聞くと、日々充実した生活を送っているように思えました。また、仕事の話をしても深い理解がうかがえ、そのことを非常に頼もしいと思うと同時に、成長を嬉しく思いました。

今後、皆さんの得た知見を現役生にフィードバックし、さらに相互扶助できるような仕組みを整備していきたいと思っています。ご協力いただければ幸いです。

(経営学部准教授)

### 真のグローバル人材

張 又心バーバラ

前年、新たに18名の2年生を受け入れ、ゼミをスタートしました。日本企業のグローバル化戦略や海外における経営活動について学びます。グローバル化の時代に、経営活動の海外展開が避けては通れないものです。真のグローバル人材になるためには、語学力を高め、異文化を理解できるように努力することが、とって重要で。また、様々な国の人たちとの出会いも良い勉強になります。今年度のゼミ合宿は3年生を中心に行いました。ゼミ生が街の中に外国人観光客を対象に英語のアンケート調査を実施しました。異文化を理解できグローバル化の時代に生きていけるような人材を育てていきたいと思っています。

(経営学部准教授)

### ゼミを通じて友人づくりを

漆 さき



漆ゼミは、消費増税や配偶者控除をはじめとした所得税制改革など、時代とともに変化する税制を法律の観点から勉強する税法ゼミです。前期は、三年生は話題になった馬券払戻金裁判について、原告側・被告側に分かれてディベートを行ったり、四年生は皆で就職活動の面接の練習をしりました。教員の私としては、ゼミでの勉強や旅行を通じて、学生時代にかげがえのない友人を作りたいと思っています。教員のほうも、関西で若手租税法研究者が集まる研究会を始めようと、学会で他大学の先生方と話し合いつつ、準備を進めています。いくつになっても、屈託なく意見をぶつけられる友人や同志の存在は自分を助けてくれるものだと感じています。

(経済学部講師)



経大生協では、学事・学会・講演会・OB会などの懇親会やPARTYを、ご要望にあわせてプランニングいたします。お料理・飲み物・ホールサービス・会場設営など内容についても是非ご相談ください。

お気軽にご相談ください

大阪経済大学生生活協同組合

〒533-0011 大阪市東淀川区大桐 3-16-10

TEL.06-6379-2230 Fax.6379-2232 URL.http://oue.hanshin.coop/

e-mail OK-COOP@ma4.seikyoku.ne.jp

## 何かを感じよう。考えよう。

高橋 亘



高橋ゼミは昨年度初めて卒業生を送り出すことができました。みな世間の荒波にもまれ苦勞はしても、たくましく立ち立っていくことを楽しみにしています。

今は1年生から4年生まで、個性ぞろいの演習生に囲まれています。講義をサボったり、講義中に眠ったり、そんな姿も目立ちます。でもそんな中でも目を輝かせて話を聞いてくれる受講生がいると、つつい力もこもります。

感受性という言葉があります。好奇心、探究心は未来への力です。好奇心も探求心もない人生はなんとつまらない人生か。経済問題でも個々人が何かを感じ、考えていくこと。相変わらずそれを大切にゼミを進めています。  
(経済学部教授)

## 10年が経過しました

小川 貴之



2015年度卒業生と研究室にて

皆さま、お元気ですか。2006年に本校に赴任し、初めてのゼミ生を受け持ってから、10年が経過しました。私は、内閣府と英国の University College Londonで研究を行うために本校を一旦離れたが、現在は戻っています。ゼミの内容は、当初の輪読形式から徐々に変化し、Power Pointを用いたプレゼン、Excelを用いた実証分析やシミュレーション、教室内での実験にも重きを置くようになりました。キャンパスの建物は増改築され、本校自体も様変わりしました。

先日は、ゼミ一期生の方々が、お子さんを連れて自宅に遊びに来ていただきました。皆さまも、大学のメールやfacebookを通じて是非ご一報ください。お酒を酌み交わし、懐かしい思い出話に花を咲かせましょう。  
(経済学部准教授)

## 先輩・後輩の交流

鶴飼 奈津子



2016年度に新たに迎えたゼミの第6期生は、初めて女子の数が男子の数を上回った記念すべき(?)代となりました。

一昨年末には、ゼミ第1期生から第4期生(当時4回生)までが集まったの同窓会を開くことができました。すでに顔見知りの人たちもいれば、この日が初対面の人たちもいましたが、先輩・後輩の枠を越えたLINEグループも作成。社会人としてのやりがいや苦勞、就活や卒論の話など、これからも同じゼミの出身ということで先輩と後輩の交流がより一層盛んになっていくと嬉しいです。  
(人間科学部教授)

## ゲーテとともに旅を

六浦英文

ゲーテの『イタリア紀行』を読んでいると、ゲーテが様々なものに関心を持っていることがわかる。地形や山河の名前など(「地理学」関係)、土質・鉱物(石英、珪石、碧玉、角礫岩、石灰岩、雲母片岩など「地学」関係)、植物(梨、ブドウ、イチジク、トウモロコシ、ソバ、リンドウ、エゾ松、カラマツ、カンブラ松など「植物学」関係)、家畜(「動物学」関係)、天候(「気象学」関係)、建物(「建築学」関係)、ファッション(「風俗学」関係)、人間(「民俗学」関係)、ポッチャ(「スポーツ学」関係)、絵画・彫刻(「芸術・美学」関係)、舞台(「演劇学」関係)など森羅万象に関心があることに驚かされる。

旅行しても食べ物や土産物にばかり関心が向く小生などとは月とスッポン、天と地の隔たりがある。打ちのめされて、わが身の精神と感性の貧困を嘆くことになる。しかし、ゲーテの書物を手にとって、ゲーテとともに旅をした気分になると、まるで自分がゲーテのようなことを感じているかのような錯覚を抱くのだ。凡人の内面を豊かにしてくれる錯覚の効用も悪くはない。  
(経営学部教授)



# 廣 濟 堂

文教ソリューション  
KOSAIDO BUNKYO SOLUTION



**学校経営を支援する  
多彩なソリューションを  
ご提供します。**

印刷、IT、映像、イベント、人材等の幅広い事業リソースを活かし、学校案内や広報誌の制作をはじめ、HPや映像制作、eラーニング、学生のキャリア教育・就職支援、同窓会事務局の運営支援等、円滑な学校経営をサポートします。

まずはお気軽にお問い合わせください  
**株式会社廣濟堂 データベース課**  
〒560-8567 大阪府豊中市蛸池西町2-2-1  
TEL 06-6855-9241  
<http://www.kosaido.co.jp/>



## ドラッグストア業界を生き抜く

ウエルシアホールディングス(株)代表取締役会長

池野<sup>いけの</sup>隆光<sup>たかみつ</sup>氏(32回卒)

市場規模6兆円とも言われるドラッグストア業界。上位5・6社のなかに売上高3,000億円～5,000億円規模の会社がひしめく群雄割拠の業界である。先頃、イオングループ入りした業界最大手のウエルシアホールディングス(以下、同社)はイオングループのドラッグストア数社を統合、売上高で首位を走っていたマツモトキヨシを抜き、一躍業界トップとなった。

平成28年8月、東京のJR御茶ノ水駅に近い同社本社に池野さんを訪ねた。案内された応接室の壁面には本年度の売り上げ目標が「6,300億円」と掲げられていて、まずビックリ。入室されてきた池野さんへの挨拶もそこそこに「それにしてもすごい業界ですね」という言葉が出てしまった。「この3年間で売り上げを2,000億円増やしました。すごく伸びていたのですね。しかし、そろそろ頭打ちかなというのが、業界の評価です。確かに全体としてはそうなのですが、最近では上位社に売り上げが集中し出しましてね。4・5年前には上位10社の比率は50%くらいでしたが、いまでは70%にはなっています。それがもう少し進むだろうと考えています」と。業界再編が進めば、一挙に1兆円企業となることも夢ではないのでは?「あまり遠い先では困るので、なるべく早くやろうと思っています」と池野さん。すでに視野には入っているようだ。

池野さんは昭和41年に本学を卒業、一旦、関東の製薬会社に就職された。「どこに就職しても、いつかは自分で商売をしたいと思っていました。たまたま製薬会社に就職して、こんな商売もあるのだと…。6年程で会社を辞め、埼玉県新座市で小さな薬局を開きました。女房が薬剤師でしたから。資金もなにもなかったの、10年間くらいはたいへんでした。ただ若かったから、店が潰れてもやり直しはできるという気持ちはありました」。

「このところM&A(企業の合併・買収)の連続でしたね」と問い掛けてみた。「そうですね。ガンガン買いました。そして会社が大きくなった。今の高齢化社会の10年後、20年後を見据えると、単独でも残れる会社が何社あるのかを考えたとき、流通業界ではイオンのような大手流通グループに属している方が安定するという判断です。イオンにもその辺は理解していただいて、うまくいきます」。これからの時代、流通業界においては規模の拡大を図らないと生き残れないのである。

街中のドラッグストアを覗いてみると、品揃えはコンビニやスーパーと重なる部分が大きくなっている。雑貨はもちろん、様々な食品も置いてある。「流通というものはそういうものであって、業界の垣根というものはどんどんなくなっています。私たちもスーパーが扱っている食品や酒も扱って、店によっては肉や野菜も扱っています。小さなスーパーマーケットという感じです。しかし、核となる商品は

あくまで医薬品であり、化粧品です。それに介護の分野との関係も深まっています。コンビニより広く深く、さらにコンビニの持っていない機能をドラッグストアは持っているということです」。

門外漢からすれば、マーケットはもう飽和状態ではないかという疑問が付きまとう。「今までは人口が増加することを前提としたビジネスでした。しかしマーケットが成熟してくると、0歳から60歳、70歳までの『商材』は山のようにあります。しかし、それから先の『商材』はまだ確立されていません。例えば、介護食とか介護用衣類とか生活全般をカバーできるものですね。そういうものを見逃さずに対応すればこの業界の成長はまだ続くと考えています」。

さて、今後の大学についてである。18歳人口は今後益々減少し、大学の経営も厳しい状況になる。これについて池野さんは、「大学は規模なのか、質なのかということが問題です。今後、学生数はさらに減ります。今年や来年だけのことはありません。10年後にはいくら減るのかを考えたとき、やはり大切なことは質を高めることだと思います。特色のある大学に変えることができるかということですよ。そして、今いる学生の満足度を高めるためにはどうするのかということを考えないといけません。私たち企業経営者が、お客様の満足と社員の満足を一致させるのだと言い続けて、一つでも、二つでも実現させようとするのと同じことです。今の在校生の満足度を高めてあげることが大学の質を高めることになると思います」と。

「高齢になってうちの会社を辞めた人たちが、『いい会社だったよ』と言い続けてくれるような会社でなければ困ります。それが企業の社会的責任だと思います」。だから、同社のホームページのトップメッセージには「75歳まで働ける企業としての環境づくり」という項目も掲げられている。その一方で、新入社員には、「入社したら生涯、この会社にしようとは考えない方がいい。ここで3年仕事をしたら、どこかの会社がスカウトに来るくらいになってほしい。実力さえあればどこにでも行けるから、と言っています」とも。

同じ会社で永年勤め上げ、退職後もそれまでの経験を生かして勤務を続けるにしろ、他社にスカウトされ、活躍の場を広げるにしろ、日頃からどこでも通用する実力をつけておきなさい、という池野さんからのメッセージである。

(聞き手=広報部・内田敏雄)

**略歴** 昭和18年(1943年)9月20日広島県尾道市生まれ。広島県立御調(みつぎ)高等学校卒業。昭和41年(1966年)本学経済学部卒業。全業工業(株)入社。昭和46年独立、埼玉県新座市で池野ドラッグ開設。平成20年ウエルシアホールディングス(株)グループ総務本部長、平成25年同社代表取締役会長

## 文武両道で日本一を目指す!

香川県立高松商業高等学校 校長

なかすじ まさと  
中筋 政人氏(46回卒)

中筋政人氏は、本学へ入学するまでは金融機関を志望していたそうだが、入学後故近藤秀磨教授に出会い「人を育てる教育というものには素晴らしい仕事だと、心に火をつけられた感じだった」と述懐する。これを目指すには自分で努力しなければとの教えを実行し、晴れて難関の教職試験に合格。以後教員生活ひとすじ。

中筋政人氏が校長を務める県立高松商業高校は高松市の中心市街地にあり、生徒数は定時制を含めると1000人近くの大規模校だ。高商（たかしょう）の名前で親しまれている同校は「文武両道」が伝統で、中でも高松商業高校の名を全国的に知らしめたのは野球部が平成27年秋の明治神宮野球大会において各地区代表の敦賀気比、大阪桐蔭などの強豪を制して優勝したのに続き、昨年のセンバツ高校野球で準優勝をしたことだ。久々の古豪復活に香川県民をはじめ全国のファンが沸いた。他の高校と違うところは全員県内出身者で、いわゆる野球留学生は一人もないのが評価を得ている。書道パフォーマンス甲子園では一昨年、昨年と全国連覇。ヨットでは女子が一昨年全国大会で準優勝。

他にも珠算・卓球、バドミントン、柔道、剣道、卓球、吹奏楽部なども全国レベルで活躍している。英語実務科の生徒はアメリカでホー

ムステイをして英語を実践で身につけているなど、一般にイメージしている商業高校とは一線を画しているのが特徴だ。

同校は、クラブ活動には9割の生徒が入部しているが、保護者からのニーズに応じて進学にも力を入れていて、全体の9割近くの学生が進学している。もちろん本学にも昨年度9名が入学していて文字通り「部活の高商、就職も進学もできる高商」をアピールしている。

中筋校長は着任後「知識を詰め込むのではなく、思考力・判断力・表現力や物事に主体的に取り組む意欲を養うような教育をするよう先生方をお願いしている」と言う。

「商業科の学校なので部活も全国大会を目指して頑張れ、簿記などのより高い資格を目指せ。生徒は大変ですがよく頑張っている。元気で明るい学校で生徒から逆にパワーをもらっています」と言う。

学生時代から目指してきた教員生活も来年は仕上げの年。「就職も進学もできる学校」として中筋校長が着任以来力を注いできた実績が実を結ぶのは来年度以降になる。「将来が楽しみ」と言う。同校には他にも2名の本学出身の教諭が在籍している。

(聞き手=広報部長・小林真人)

**略歴** 昭和32年(1957年)8月18日高松市生まれ。59歳。高松商業高校から本学経済学部へ入学。昭和55年卒業、入学直前にお父様を亡くされ、母子家庭のため、土日のアルバイトの他は真面目に授業を受ける。商業科の教員採用試験では難関を突破してただ一人合格。小豆島高校を振り出しに志度商業高校(現志度高校)、坂出商業高校、県教委などを経て平成27年から現職。母校の校長就任は2人目。



## 『神職になれ』神様のお導き

出雲大社福井分院 祭儀課 顧問

なかじま こういち  
中嶋 閑一氏(43回卒)

「当分院は、鳥根県の出雲大社から大国主のご分霊をいただき、北陸唯一の分院として昭和29年に設立されました。適齢期の男女に出会いの機会を与えるとされる縁結びの神様ですが、男女の縁だけでなく、あらゆる出会いにご利益があります。幸せな縁を求める人は、ぜひ一度お参りください」と語る中嶋さん。一般の人とはどこか違う風格が漂っている。幸せになるための縁をもたらす『縁結びの神』、幸せを守る『福の神』として、老若男女から変わらぬ厚い信仰を集めている同分院には結婚式場も併設され、「幸せオーラ」満点の神社である。

中嶋さんは、本学に入学時から真面目に勉学に励み、第二外国語はロシア語を選択した。当時、福井県の敦賀はロシアとの貿易が盛んであったこともあり、卒業後はロシアとの貿易関係の仕事に就こうと、ロシア語の勉強に力を注いだとのこと。

大学1回生のとき、大学の図書館でアルバイトをされていた先輩と知り



合いになった。「その先輩から『自分はもう卒業なので、代りにやってみないか』と声を掛けてもらい、4年間、大学図書館で臨時職員として午後5時から9時まで働かせていただきました。図書館で働いたことで、いろいろな神職の勉強ができました」と。



神職となったきっかけ、そして決意についても聞いてみた。「3回生のとき父が体調を崩しました。もともと両親が出雲大社の信者であり靈感の利く人でした。また先代の宮司さんと知り合いであったこともあり、その頃、

母から『神職の勉強をしておきなさい』と言われたことがきっかけとなったのでしょね」と、振り返る。そして、大学在学中に出雲大社で勉強し、『神職』の資格を取った。「父が亡くなってから、父の靈感が私にきました」とか。

福井支部の今後についても聞いてみた。「福井支部の中に大淀会という比較的若い会員で組織する部会があり、その会の会長を務めていますが、若い人が入ってこないんですよ。魅力ある会にするため異業種交流会を開催し、仕事や経営で困っている人達が集まって語り合い、親睦を深め、よりよい絆が生まれるよう大淀会の活性化を図っていきたいですね。先人の恩や思いを絶やすことなく、これからも先輩方のお力をお借りして進んでいかなければならない」と、今後の福井支部の発展について熱く、また力強く語っていただいた。

最後に神職として「福井にお住まいの皆様、また日本全国の人の心の拠りどころである出雲大社福井分院を、これからもお守りし、新しい時代に継承し、発展させていくため、さらに精進いたします」と結ばれた。

(聞き手=広報部・片庵勝巳)

**略歴** 昭和28年4月14日福井県福井市生まれ、63歳。福井県立羽水高等学校から本学経営学部へ入学。本学卒業後、第一生命大阪北支社に3年半勤務。その後、西武百貨店保険事業部、福井だるまや西武へ転職のち、出雲大社福井分院において神職となる。

## 420年の伝統を守る老舗

鳥羽街道名物「おせきもち本舗」  
いまむら まさる  
今村 勝氏(34回卒)

京都市伏見区にある城南宮は方除の大社として延暦13年(794年)の平安遷都の際に都の安泰を願って創建されたもので境内には「源氏物語花の庭」として有名な庭園があり、多くの参拝客でにぎわう。420年の伝統を守り鳥羽街道名物「おせきもち」として親しまれている店舗はその門前にある。その「おせきもち」は、腰の強い餅に丹波産の大納言(小豆)をまぶした素朴な菓子だが、私が訪れた時、抹茶と一緒に出された「おせきもち」の味は小豆の風味とともに得も言われぬほのかな甘みが口の中に広がった。

今から420年前、城南宮前の鳥羽街道で「せき」という女性が茶店を出して旅人などにお茶ともちを出していたのが始まりだという。最初は今の形ではなく「やきもち」にあんこをまぶしたものであったようだ。

この420年間の歴史は決して順風満帆であった訳ではない。「1868年の鳥羽伏見の戦いではこのあたりは激戦地で一面焼け野が原となり、もちを販売するどころではなく、また、戦後は砂糖などの物資不足で商売を一時見合わせていた時もあったのではないかと今村氏は言う。以前は食事とともに販売していたようだが、「もち専業」になったのはここ30年くらいだろう。今村氏は「この420年の道のりは大変だったと思います。諦めず、他の職業へ転業することなく、根強く生きて来たことを先祖に感謝しています」と言う。

この「おせきもち本舗」に劇的な変化をもたらしたのは名神高速道路が通り、近くに京都南ICができ、急速なモータリゼーションが発達したことだ。今村さんは50年間製造に携わってきて強烈な印象に残るのは「この名神高速道路の開通により歯車がころっとまわった感じ」という。

これを境に売り上げは城南宮の参拝客中心から、現在はこの街道を通りかかるドライバーの購入に寄るところが大きい。

関西近隣のドライバーが買い求めて行くことで、その名前は急速に広まりつつあるのだが、防腐剤を一切使用していないため日持ちがせず、全国発送などに応えられないし、この店にお越しいただかないと味わえないというのが難点だ。

今後、販路を拡大することについて何うと「販路を拡大することは考えていません。大量生産をすると現在のよう一つひとつに魂を込めて作れなくなります。拡大の間違ひは歴史が証明しているではありませんか。源氏、平家も皆滅んでいきました」と言う。

420年という「のれん」に裏打ちされた伝統があるからこそこの発言に説得力を感じることができるのかもしれない。

(聞き手=広報部長・小林真人)



**略歴** 昭和19年(1944年)7月21日京都市伏見区生まれ。72歳。府立桃山高校から昭和43年(1968年)経済学部卒業と同時に伏見区下鳥羽の城南宮門前で父上が経営されていた「おせきもち」本舗に入社。現在まで一貫して製造部門を担当。18代続いた鳥羽街道名物を兄上とともに引き継ぐ。本店:京都市伏見区中島御所ノ内町16番地 電話075-611-3078

## 「座右の銘」は「六守四攻」

大樟会備後支部支部長  
こいけ かつあき  
小池 勝章氏(32回卒)

挨拶もそこそこに、支部結成当初からの資料が見事に整理されたファイルを見せられる。ここまでの道のりは、必ずしも平坦ではなかったはず。一県に2支部は不要ということで「広島支部福山分会」として発足。本部より支部設立認可の通知があり、故・守屋毅氏(26回卒)に初代支部長就任と命名をお願いし、ようやく誕生(昭和62年3月8日)。氏も昭和46年4月から運営に携わり、平成3年10月6日に2代目支部長を引き継いで25年に。

その間の感想を尋ねると、「多くの同窓生と交流ができ、実感は“逍遙歌”2番の歌詞のとおり」と即答。応援団で活躍された方の感想と感心した。応援団では身体を動かし、発声練習をしたことで、手放せなかった胃腸が卒業後には全く無用となっていたとか。また団活動の精神は、今も支部運営に脈々と生きていることに感謝、と熱く語っておられた。

氏の「生き様」についてお尋ねしてみると、卒業と同時に(株)中国銀行に入行。しかし、一年半で退社した。家族からの猛反対にも「次の職場で、支店長の倍の給料を取る」と豪語。以後、文字通り仕事に没頭。「趣味はなんですか」とお尋ねするも、即座に「仕事です」の返答。80歳までは現役を通すと意欲満々である。「経営者として、若い人に望むことは」と尋ねると「何事

にも努力、謙虚で我慢強い人間になってほしい。何よりきちんと挨拶のできる人」とのこと。後輩に対しても「好奇心をもって、何事にもチャレンジする意欲」と力強いエールをいただいた。

支部長として先頭に立つ小池氏のお人柄は、頼りがいのある包容力を持つ方。総会でも「話題の同窓生10分間スピーチ」を提案。人を立てることを忘れない気配りのできる方でもあります。「お孫さんが将来、大阪経済大学に進学したいと言ったら、どのようにアドバイスしますか」とお尋ねすると、「大いに薦めますよ。鶏頭牛尾(牛のしっぽとなるより、鶏の頭となれ)のとおり」と四字熟語で返答。ご自身の「座右の銘」も、「六守四攻(攻めることは大事だが、守りを怠ってはいけない)」と四字熟語。支部長を四字熟語で表現すると、「威風堂々(態度や雰囲気)に威厳があって立派な様子)」がぴったりの人物とお見受けした。

(聞き手=広報部・眞鍋一美)



**略歴** 昭和18年8月25日 岡山県井原市西江原町生まれ。県立井原高等学校卒業。昭和41年3月 本学経済学部卒業。同年4月(株)中国銀行入行。昭和42年12月(株)有正不動産取締役。昭和44年4月(株)明正不動産監査役。昭和60年4月 同社取締役。同年5月(株)有正不動産専務取締役。平成5年8月(株)有正不動産(株)明正不動産の代表取締役。現在に至る。

## 働く人のメンタルヘルス推進にも取り組む

久保社会保険労務士法人 所長  
大阪経済大学社労士大樟会会長  
久保 太郎氏(31回卒)



社会保険労務士(社労士)は、社会・労働保険に関する法律、人事・労務管理の専門家であり、年金の相談にも応じることを業とする国家資格である。特に、最近では企業のコンプライアンス(法令順守)が厳しく問われる時代。これがしっかりしていないと、場合によっては企業の存亡の危機に陥ることになる。それだけに社労士の企業に対する指導、助言についての責任は当然重いものがある。

「だから、私の事務所では、原理・原則を重視しています。小細工はしないで、法律どおりやりましょうという姿勢を徹底させています。あそこに任せておけば大丈夫だと言われるようにならないとね」と久保さん。それだけに、かつてはそれ程難しい資格ではなかったそうだが、最近では合格率が3%程度という難関資格になっている。

しかし、大手企業には社労士の資格を持つ社員も多い。それだけになかなか企業から仕事がまわってこないと言う社労士も多いと聞く。「仕事はまわってくるものではなく、自分でつくるものです。こちらから仕掛ければ仕事は必ずあります」と自信を示す。仕掛けるというのは…?「例えば、いろいろな助成金の案内をすれば、お客さんは必ず乗ってきますね。助成金があることは分かっているけど、その内容についての知識が十分でなければ、なかなか手続きまではしない。でも、放っておけばすぐに受給の条件が厳しくなってしまう。企業の人事・労務管理といった社労士本来の業務もありますが、助成金などにも手を付けてみてはどうかということです」と久保さん。

高齢化社会が進んでいますが、社労士にとって追い風では…?「それは間違いありません。個人の年金相談も多いです。かつては無料相談も受けていました」。それでは社会奉仕ではないですか?「それでもいいと思っています。それはそれでメリットがあって、相談に来られるお客さんから口コミで話が広がり、そこから新たな仕事ができることもありますね。それから自分が仕事をするエリアを決めてしまうべきではないと思います。私の事務所の契約先でいちばん遠方は長崎県の壱岐ですよ」と。そして「社労士の仕事は景気に左右されないというのが私の持論です。仕事があつてこないと嘆くのは、私には理解できません」と、あくまでプラス思考である。

社労士の仕事は、企業の人事・労務管理といっても業務は多岐にわたる。「当然、給与計算、各種保険の手続きもあります。採用計画から始まって、新卒を雇い入れる求人票の作成、学校訪問など一連のことをやっています。私の事務所の職員が企業の採用の面接官として行く場合もあります。社員教育、中間管理職教育もやっています」。では、今後、社労士の重要な仕事とは?「注目しているのは、メ

ンタルヘルスですね。ストレスだらけの社会ですからね。これは以前から言われていて、徐々に浸透してきています。ただ、企業側としてはこれを扱うには十分な知識と細かい配慮が必要なので余り積極的ではありません」ということである。さらに「メンタルヘルスに問題があり心の病気に罹る人というのは、本音の話ができる友人がいない場合が多い。自分の趣味を持っている人はメンタルヘルスとは無縁です。政府が呼びかける『ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)』というのもこのあたりのことを言っているのです。つまり仕事と私生活を区別して楽しんでくださいということでも。久保さんはスポーツマンでもある。中学時代からテニスを始め、今ではコーチも務める。ゴルフの腕前も相当なものである。

久保さんは社労士大樟会の会長でもある。「現在、社労士大樟会の会員は25名です。しかしこの人数では余りに寂しい。本学出身の社労士の資格を持っている人は地方の方を含めると100名~150名はいると思います。私としては社労士のネットワークをつくりたい。情報交換ということで参加を呼びかけたのですが、地方在住の方はわざわざ大阪まで出て行くのはたいへんということのようです。だから、関西を中心に心ある人を集めるしかないというのが現状です。何かよい方法を考えなければならぬと思っています」とのことである。

最後に、久保さんの健康状態について伺ってみた。「いたって元気です。そりゃ、この年になれば、どこか悪いところを探せと言われてはありますよ。しかし、そんなことを気にしても仕方がない。痛い、痛いと言っても、痛くなる訳ではありません。環境に溶け込むようにしています」と笑う。

久保さんの奥様も社労士である。仕事上のご関係は?「家内とは見解が全然違うことも多いですから、私にすれば『そんな考え方もあるんだ』ということになります。お互いに悪いところは無視して、いいところ取りをする。それは大きなメリットですね。それに、これだけのネット社会になると、ネットで情報収集することが大切ですが、それについては家内の方が上手ですね」と、奥様を褒める。ご夫婦円満とお見受けした。

(聞き手=広報部・内田敏雄)

**略歴** 昭和16年9月26日岡山県倉敷市生まれ。岡山県立琴浦高等学校(現・岡山県立倉敷鷺羽高等学校)卒業。昭和40年(1965年)本学経済学部卒業。現在、久保社会保険労務士法人所長、(一社)兵庫県労働保険事務組合連合会会長(全国副会長)、大阪経済大学社労士大樟会会長、大阪経済大学大樟会尼崎支部支部長。平成25年秋の叙勲旭日小綬章受章

2016年大樟会理事会

## 大学の奨学金制度の支援に向けて始動



平成28年度大樟会理事会が5月28日（土）午後1時からD館32教室で開催された。当日は、理事総数214名のうち102名が出席、委任状提出が75名で、会議は成立した。

はじめに物故者に対し、全員で黙祷を行った後、小林真人副会長の開会宣言があり、田村正晴会長が挨拶を行った（要旨別記）。続いて議案審議に入り、昨年と同じく議長に進木伸次郎常務理事（33回）、副議長に田中伸治常務理事（45回）を選出、まず、新しく常務理事に就任した眞鍋一美氏（32回）、西村幸雄氏（43回）、山田武氏（74回）の3氏が紹介された後、審議に入った。

第1号議案の平成27年度の事業報告では、事務局から総務部、広報部、組織部の事業の実績が報告された。特に、同窓会設立80周年を記念する事業として、総務部関係では記念総会の懇親会には660名を超える参加者があったこと、また、広報部関係では、会報誌「澁江」51号で、同窓会設立80周年を記念して開催された臨時全国支部長会議における討議の内容の集約、支部長座談会、井阪健一元理事長の特別インタビュー等の特集を組んだことなどが報告された。さらに組織部からは支部総会・部会、同期会・クラブOB会の活発な活動状況、また活動を休止していた鳥取支部が8年振りに再興されたこと、3支部、1団体の支部長、会長が交代したことなどが報告された。この後、財務部からの決算報告では、80周年記念総会の会費収入が減少する一方、「澁江」制作費を大幅に圧縮したことなどにより、収支は対予算で改善した。

第2号議案の事業計画について各担当部長から説明があった後、財務部から収支予算について、総会収入、利息収入が減少するなか、80周年記念事業費も減少することなどにより対前年度予算で収支は改善する旨の説明があった。

第3号議案では、小林副会長から、同窓会設立80周年記

念事業として大学の奨学金制度のうち「緊急修学援助奨学金制度」と「遠隔地奨学金制度」に同窓会枠として採用人数を追加すること、入試広報（高等学校訪問）を支部の組織力を動員して支援すること、さらに黒正巖博士の命名による京都市の「哲学の道」命名の顕彰板が老朽化しているため、建て替えることについての説明があった。

第4号議案の会則改定については、事務局より大学の奨学金制度の支援に伴う会則の改定および内規の新設等について説明がなされた。

これらの説明に対し、坂本勝宣理事（45回）から収支予算における対前年度予算比較に対する疑問、中村敏啓理事（31回）、森川義一理事（25回）他から次期繰越収支差額の基金組み入れについて、また、同窓会設立80周年記念事業としての大学の奨学金の支援の具体的な運用方法、時期等について質問が出され、事務局および本部から説明がなされた。

以上、審議の結果、それぞれ承認された。

### 後援会との交流を深める

本学には学生の保護者と教職員が会員となり、教育研究と学生の豊かな学生生活を支援する「後援会」という団体があります。これは、小・中・高等学校のPTAに当たる組織ですが、学生や学校を支援するという意味では、大樟会（同窓会）と目的は同じであると言えます。

従来、二つの団体は、学生達が主催する本学後援会員と同窓生、およびその家族を対象にしたパソコン教室運営の共同後援者という接点はありましたが、その他の関係はほとんどありませんでした。しかし、学生の就職やクラブ活動に対する支援等で双方の関係が深まっていることもあり、平成28年9月3日（土）、大樟会会長以下関係役員と後援会の会長および3副会長、さらに後援会の事務局である大学の総務部の担当者が初顔合わせを行い、今後、交流を深めていくことを確認しました。



## 会長挨拶(要旨)

## 大学はだれのものか？

大樟会会長 田村 正晴

一昔前のことですが「会社はだれのものか」が話題になったことがあります。所謂コーポレートガバナンスのあり方が議論されました。経営者、株主、組合の過度の圧力や不当な要求を抑制し、それぞれの役割を果たし、企業の社会的責任の履行と企業の繁栄をもたらす仕組みが見直されてきました。

今、大学でも同じようなことが起こっています。「大学はだれのものか」の議論が始まっているのです。大学の構成員がそれぞれの役割を果たし、大学の社会的責任の履行と大学の繁栄をもたらす仕組み、言わばユニバーシティガバナンスの見直しです。大学が「象牙の塔」と称された時代には、「学問の自由」や「大学の自治」に鑑み、大学は教育研究を担う教員のものとの理解が少なからずあったように思われます。しかし、大学大衆化時代を迎え、800校近い大学がサバイバル競争にしのぎを削り、大多数の学生が職業人を目指す現状から、大学は決して教

職員だけのものではなく学生、保護者、卒業生、企業社会、地域社会等の多くのステークホルダーのものである、との認識が深まりつつあります。

大樟会も「学外ステークホルダー」の一翼を担うものとして、その役割を果たしていかなければなりません。大学の改革と発展を見ることが、取りも直さず卒業生の帰属意識を高め、大樟会の発展につながります。したがって、私達は自ずと「大学の将来像」に大きな関心を持たざるを得ないのです。

そうした現状認識の下、昨年は80周年事業の一環として臨時全国支部長会を開催し、支部長の声として、①地方試験会場の復活、②地方の卒業生の出身高校訪問、③子弟入試の促進、の3点を要望書として大学に提出しました。同窓会の歴史の中で、初の試みではなかったでしょうか。今後とも、私達は様々な形で大学との対話と絆を深め、「モノ言う同窓会」を堅持してまいります。人のつながる力を育て、組織し、反映させていくことは同窓会の役割であり、私達に課せられた使命です。

## 2016年全国支部長会議

## 全国支部長会議からの要望実現に向けて努力

平成28年度全国支部長会議は、大樟会理事会に先立ち、午前11時からJ館3階の第一会議室で開催された。全国支部長会議は、現在、全国の51支部と6部会、2団体の支部長、会長で構成されており、今回は43支部と5部会1団体が出席した。

午前11時、小林副会長の開会の辞の後、田村会長の挨拶、続いて、このたび新しく東京支部長に就任した森田幸伯氏(45回)が紹介された。

この後、昨年10月31日(土)、同窓会設立80周年を記念して開催された「臨時全国支部長会議」において、今後の同窓会(大樟会)および大学のあるべき姿について熱く議論されたことを受け、本年2月、全国支部長会議から大学当局および大樟会本部にそれぞれ要望書を提出したが、5月中旬、大学の佐藤理事長および大樟会本部からの回答書が相次いで全国支部長会議に届けられた。本会議の席上、回答書が出席者に配付され臨時全国支部長会議委員長の石橋福井支部長と副委員長の眞鍋愛媛支部長並びに五十棲愛

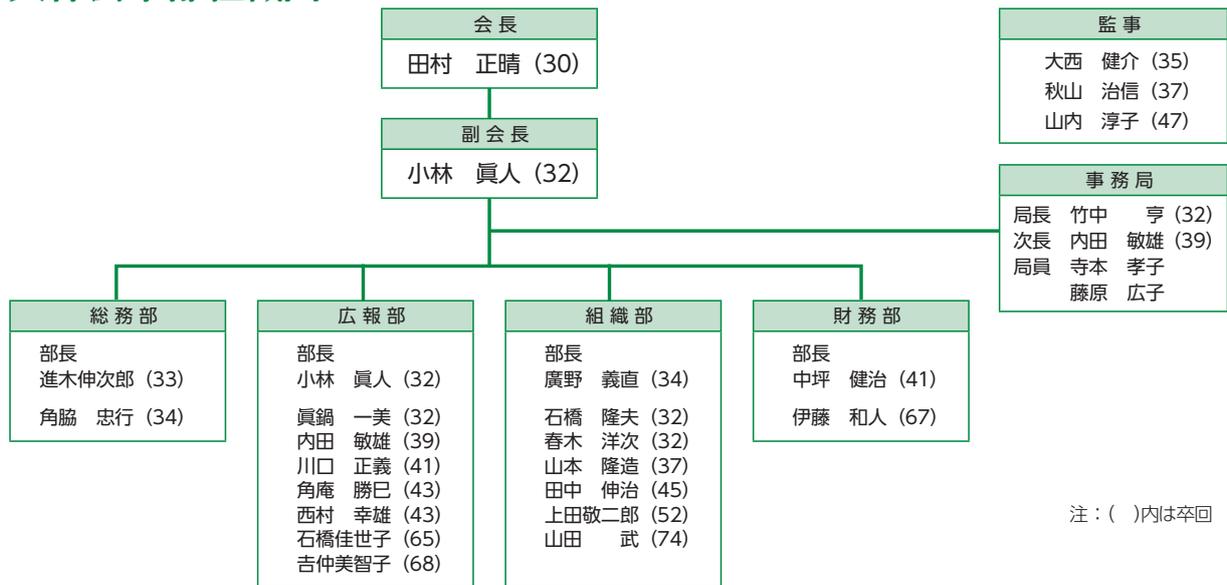


知支部長、さらに竹中大樟会事務局長から要望書および回答書の内容の報告があった。

今後は、大学への要望に関しては、地方からの志願者の増加を目指すなど要望内容の実現に向けて努力を続けていくこと、また、大樟会本部への要望については、充実した同窓会名簿の整備に努めることなどで了承された。

また、大学側からは近畿地方に偏る志願者の是正を図るため、大樟会の地方支部による入試広報(高等学校訪問)協力への期待が伝えられた。

## 大樟会本部組織図



注：( )内は卒回

### 平成27年度収支決算書 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日

(単位：円)

収入の部		
科 目	決 算 額	予 算 額
前期繰越金	22,366,266	22,366,266
会費収入	58,777,000	59,000,000
總會収入	260,000	1,000,000
利息収入	368,983	800,000
澁江収入	1,047,480	1,000,000
広告料収入	1,025,000	1,300,000
雑収入	60,228	0
合 計	83,904,957	85,466,266

支出の部		
科 目	決 算 額	予 算 額
總會費	3,414,842	3,000,000
役員会費	990,522	1,100,000
支部費	11,351,124	12,000,000
事務費	1,009,798	1,000,000
人件費	8,608,880	9,100,000
旅費交通費	3,268,300	3,500,000
広報活動費	9,419,129	12,000,000
名簿調査費	299,131	300,000
学対費	12,081,541	13,000,000
諸会助成費	1,582,005	1,300,000
慶弔費	187,632	500,000
同窓会設立80周年記念事業費	4,453,641	3,500,000
予備費	0	1,500,000
次期繰越金	27,238,412	23,666,266
合 計	83,904,957	85,466,266

### 平成28年度収支予算書 自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日

(単位：円)

収入の部		
科 目	予 算 額	摘 要
前期繰越金	27,238,412	
会費収入	58,900,000	
總會収入	700,000	
利息収入	200,000	
澁江収入	1,000,000	
広告料収入	1,200,000	
合 計	89,238,412	

支出の部		
科 目	予 算 額	摘 要
總會費	3,000,000	
役員会費	1,100,000	理事会・常務理事会・各部会
支部費	12,000,000	運営費・支部總會援助
事務費	1,100,000	
人件費	9,100,000	事務局人件費
旅費交通費	3,500,000	
広報活動費	11,500,000	
名簿調査費	300,000	
学対費	13,000,000	大学祭・クラブ活動援助 他
諸会助成費	1,350,000	諸会援助
慶弔費	500,000	
同窓会設立80周年記念事業費	2,000,000	
予備費	1,500,000	
次期繰越金	29,288,412	
合 計	89,238,412	

# 大樟会支部長・各種部会会長一覧

平成29年1月10日 現在

支部・部会名	氏名	卒回	現住所	電話
北海道	池田 正勝	34		
東京都	森田 幸伯	45		
富山	安田 秀雄	31		
石川	鍛冶 一英	36		
福井	石橋 隆夫	32		
岐阜	山根 一男	46		
静岡	大塩 博喜	40		
愛知	五十棲保彦	32		
三重	池山 英典	57		
滋賀	佐藤啓太郎	37		
京都	田中 伸治	45		
大阪市	春木 洋次	32		
大阪市役所	南 正治	43		
北大阪	角野 力	41		
北摂	本郷 公夫	33		
北河内	森川 義一	25		
豊中	田中 功一	42		
池田	松田今朝男	34		
箕面・豊能	雑賀 保洋	33		
泉南	塩谷善一郎	39		
堺	堀本 修	24		
尼崎	久保 太郎	31		
伊丹	竹中 亨	32		
川西・川辺	竹本 勇	35		
阪神	木岡 良郎	36		
神戸	正岡 健二	36		
丹有	足立德太郎	36		
明石	池上 照夫	40		
北播磨	伊藤 俊博	32		
但馬	田淵 善人	36		
東播磨	福田 敏裕	37		
姫路	上野 隆裕	40		
淡路	赤松 慶久	37		
奈良	中嶋 肇	32		
和歌山	新田 和弘	32		
鳥取	秋口 政俊	39		
島根	浅原 宏	22		
岡山	松永 清彦	41		
津山	前田 基美	46		
備後	小池 勝章	32		
広島	陰山 秀明	44		
山口	藤原 俊明	37		
徳島	櫻本 孝	35		
香川	鈴木 澄夫	36		
愛媛	眞鍋 一美	32		
高知	南 宏道	52		
北九州	植田 達三	52		
大分	寒田 陽	40		
熊本	濱 忍	35		
宮崎	福田 俊彦	32		
南九州	前園 博隆	34		
大樟春秋会	矢倉 英一	39		
大樟体育会	山本 隆造	37		
池田泉州銀行大樟会	陸野 敬	57		
日立大樟会	山下 徹男	37		
税理士大樟会	檜垣 典仁	38		
大樟教育研究会	西村 幸雄	43		
社労士大樟会	久保 太郎	31		
大学院大樟会	川口 正義	41		

お世話になった恩師や先輩、一緒に学んだ同級生とのお別れのシーンを美しいお花で演出いたします。



# お別れナビ ~サービスメニューのご案内~

お別れの会の実施を検討している  
個人様

お別れの会プロデュースサービス

社葬を検討している  
企業・法人様

社葬プロデュース

法要・法事の花の  
お届けをご希望の方

法要の花手配サービス

会場のご紹介

施設の種類のご紹介

資料請求お問合せ  
24時間 365日

0120-11-3987

お別れナビ

検索

日比谷花壇

大阪経済大学同窓会誌「澱江」の特典希望とお伝えください。花祭壇の10%OFFにてご優待いたします。

## 同窓会 OB会 プラン



フリー  
ドリンク

宿泊優待  
割引 30%

ゆったり  
3時間

- メニュー例
- ・ホモクチャーモンと鳥賊のサラダ
- ・ホムカクしゃぶと季節の野菜胡麻風味
- ・ひんちどうちまのカルパッチョ仕立て
- ・ホウライドチキンの低温蒸し
- ・季節の魚香味焼き
- ・主役と季節の野菜の天ぷら 紅塩にて
- ・季節の魚と野菜の蒸し物
- ・牛サーロインステーキ ジャリアソース
- ・山菜そば
- ・フルニッツ盛り合わせ
- ・ヨーヒー
- フリードリンク 5種類

7,500円



地下鉄谷町線・京阪電車「天満橋駅」直上  
大阪キャッスルホテル  
<http://www.osaka-castle.co.jp>

A  
プラン 6,500円

- ・前菜七種盛り合わせ
- ・鰯の中華風刺身
- ・かひれスープ
- ・季節の揚り物二種
- ・海老のナリソテー
- ・牛肉のオイスターソース炒め
- ・レタスの五百円チャーハン
- ・さつま芋の飴たき
- ・杏仁豆腐



ホテル内3階  
中国料理  
錦城閣  
<http://www.kinjokaku.com>

B  
プラン 5,500円

- ・前菜四種盛り合わせ
- ・干貝料理とろみスープ
- ・鶏の唐揚げ
- ・海の幸の塩味炒め
- ・酢豚
- ・五目チャーハン
- ・杏仁豆腐

A・Bプランともフリードリンク付き  
(ビール・焼酎・紹興酒・ソフトドリンク)

ご利用 30名毎に1名様無料!

30名様以上その他特典あり!

料金は全て消費税・サービス料込

御予約・お問合せは  
〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町1-1  
TEL 06-6942-2401(代表)

大阪キャッスルホテル 検索

## 婦人服の企画・製造・販売

### 【ECHO INTERNATIONAL SPIRITS】

SPA(Speciality Store Retailer of Private Label Apparel)企画、生産から小売まで。「自分で作って自分で売る」これが基本です。SPAのスピード感を生かしながら、グレードの高い生地、細密な縫製で作上げるハイクオリティなアンチエイジングブランドです。私たちは、新しい時代を生きる女性の感性を刺激するファッションを追求し続けます。



ECHO INTERNATIONAL CO.,LTD.

BOUTIQUE ECHO Eho<sup>71</sup> E·HALF 花&U

【大阪本社】〒550-0012 大阪市 西区立売堀1-4-12 リーガル立売堀ビル7F TEL. 06-4393-8665 FAX. 06-4393-8667

【東京店】〒104-0061 東京都 中央区銀座5-8-20 銀座コアB1F TEL. 03-5568-1131 FAX. 03-5568-1132

[www.echo-i.com](http://www.echo-i.com) 百貨店、GMS (総合スーパー)、SC (ショッピングセンター)等にショップ200店舗

空気をキレイに

× H<sub>2</sub> = Iwatani



イワタニ水素ステーション 尼崎

水素エネルギー社会の実現にむけて、イワタニは全国に水素ステーションを建設しています。

もしもクルマが、ガソリンではなく水素で走ったとしたら。

排気ガスの代わりに水しか出さなかったとしたら。この国の空気は、もっとキレイになる。

だから、75年前から水素の可能性に着目してきたイワタニは、

コンパクトで効率的な液化水素方式で、水素ステーションを日本全国に次々と建設。

CO<sub>2</sub>を出さず、ガソリンよりもハイパワー。地球上に無尽蔵に存在する、

究極のクリーンエネルギー・水素で走る燃料電池自動車(FCV)のますますの普及と、

これからの水素エネルギー社会を支えていきます。

国内水素シェア No.1\*

水素でできることを、もっと。 **Iwatani**  
岩谷産業株式会社

※岩谷産業株式会社は、水素ガスの販売において、市場シェア約70%を占めています。(2015年10月現在、自社調べ。)

# メインバンク サービス

年金  
お受取り  
で

給与  
お受取り  
で

どなたでもATM<sup>\*</sup>お引出し  
手数料0円!

※当行ATM、駅ナカATM「Patsat」のお引出しにかかる手数料が0円となります。

池田泉州銀行で「年金」「給与」をお受取りいただけるお客さま向けのお得なサービス

**コンビニATM利用手数料を月4回までキャッシュバック!!**

※1 給与振込は、お勤め先が取引金融機関と給与振込の契約を結んだうえでお取扱いしているものに限ります。賞与は含みません。  
※2 スタシアサイカ・ミニピタサイカとは、キャッシュカード・クレジットカード・PiTaPaの機能がついた多機能ICキャッシュカードです。

サービス適用の判定基準など、詳しくは右記までお問い合わせください。



親切で新しい...

**池田泉州銀行 上新庄支店 TEL.06-6328-2761**

(2016年10月24日現在)



## やすらぎのある空間づくり

私たちはよりよい庭での暮らしを提案いたします。



**株式会社タカショー**

<http://takasho.co.jp>

本社：和歌山県海南市南赤坂20-1 〒642-0017 TEL.073-482-4128 FAX.073-486-2560  
東京本部：東京都千代田区神田駿河台2-9 〒101-0062 TEL.03-5244-5650 FAX.03-5244-5652

私たちタカショーグループは和歌山から日本へ、そして世界へ「ガーデニング文化創造企業」として発展し続けています  
国内16支店・営業所、海外7支店 タカショーグループ22社(国内10社・海外12社)



**Daiwa Lease**  
大和ハウスグループ

## 持続可能な社会を目指そう。

大和リースは、大和ハウスグループの中核企業として、次世代のために、持続可能な社会を実現するため、行政から民間企業まで、あらゆるお客様のさまざまな課題を解決します。その手段として、当社の4つの事業を複合化した提案を行い、総力をあげて豊かな未来のために貢献いたします。



■ 規格建築事業



■ 流通建築リース事業



■ リーシングソリューション事業



■ 環境緑化事業

**大和リース株式会社** [www.daiwalease.co.jp](http://www.daiwalease.co.jp)

大阪市中央区農人橋2丁目1番36号 ビップビル 〒540-0011  
Tel 06-6942-8011 Fax 06-6942-8051

建設業許可番号・国土交通大臣許可(特-27)第5903号  
宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣(7)第3836号

# 「がんばらない」経営

当社の経営を一言で表現すると

「頑張らない経営」となります。

「頑張らない」とは、

「怠ける」ということではなく、

「無理をしない」ということです。

つまり、出来もしないようなことを

目標に掲げ、無駄に力を使うのではなく、

基本的なことを

確実に実行していくことが、

会社を継続して成長させることに

つながると考えています。



ケースデンキイメージキャラクター  
ちびまる子ちゃん  
©さくらプロダクション/日本アニメーション

会員数3,400万人超!

## ケースデンキあんしんパスポート

あんしんパスポートは、お客様に4つの「安心」をご提供するカードです。

1. 「価格」が安心……………パスポートのご提示で電池や電球などの小物商品も割引いたします。  
※一部値引き対象外の商品サービスがございます。
2. 「アフターサービス」が安心……………パスポートのご提示で対象商品ご購入の際の長期無料保証登録が簡単になります。
3. 「万が一の商品リコール」にも安心……………万が一、メーカーからリコール商品がでて、対象商品をご購入されたお客様に迅速にご連絡いたします。
4. 「消耗品等のお買物」が安心……………プリンタのインクやクリーナーの紙パックの型番を購入履歴の検索でお調べいたします。

会員募集中!  
加入料・年会費無料!



ケースデンキあんしんパスポートは  
スマートフォンアプリでもご利用いただけます!!  
会員様限定クーポンやイベント情報、  
最新チラシなどをお届けします!  
※アプリのダウンロードおよび利用に伴う通信料などは  
お客様のご負担となります。※詳しくは係員におたずねください。

ダウンロードは  
App StoreやGoogle Playにて  
ケースデンキを検索



## 新製品が安いケースデンキ

おかげさまで全国に480店舗以上展開!!  
<http://www.ksdenki.com/>



資源の有効利用と環境に配慮した事業に取り組みます



防音パネル・採光パネル



低層足場



橋梁足場

仮設機材レンタル

足場材架組工事

## オーケーリース株式会社

〒550-0011

大阪府大阪市西区阿波座1丁目6番13号

カーニブレイス本町 8階

tel: 06-6578-1081 web: <http://www.okg-gr.com/>

大阪市内の夜景を見渡せる高層階客室からの眺望  
五感を刺激する料理、心かよう温かな気品あふれるおもてなし  
優雅な空間で、気品に満ちたやすらぎの時間をお届けします



ホテル 阪急インターナショナル

お問い合わせ 06-6377-2100 (代表)

ホテル阪急インターナショナル

検索

梅田・茶屋町

農業と園芸、家庭菜園の専門店



# 農業屋

「豊かなみのにご奉仕する」という理念のもと、古くからタネ屋として日本全国の種苗会社様とともに、お客様により良い品種のご提案をしてきました。三重県にある自社農場では、タネ屋のノウハウを活かし、野菜苗・花苗の生産を行っています。これからも地域の皆様に愛されるお店づくりを行って参ります。



東海・近畿地方から全国へ。

みんなでつくる農業屋の直売所  
農家の産直市場 **みのり**

家庭菜園と農業用品の通販サイト

種・野菜づくりの専門店

**農業屋.com**  
<http://www.nogyoya.com>

もっと楽しく、もっと健康に。  
**農業屋の園芸療法**



クラギ株式会社

三重県松阪市川井町花田 539

電話: 0598-26-1111 (代) FAX: 0598-26-1113 (代)

ホームページ <http://www.nogyoya.jp>

# 大阪の街で、90年。 これからも、皆さまとともに。



三倉美奈

三倉佳奈



「感謝、絆、そして未来への挑戦」



信頼で地域とつながる

大阪シティ信用金庫

本店 / 〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4 TEL. (06) 6201-2881 (代表)

本店営業部	大阪市中央区北浜2丁目5番4号	TEL. (06) 6231-2881	上小阪支店	東大阪市上小阪3丁目1番6号	TEL. (06) 6730-1281	弥刀支店	東大阪市大蓮北1丁目9番9号	TEL. (06) 6728-8484
中之島支店	大阪市北区中之島1(大阪役所内)	TEL. (06) 6202-0891	江戸堀支店	大阪市西区江戸堀3丁目1番25号	TEL. (06) 6447-7881	深江橋支店	大阪市東成区深江北2丁目2番8号	TEL. (06) 6972-8131
西支店	大阪市西区九条南1丁目10番17号	TEL. (06) 6581-2421	関目支店	大阪市旭区高殿4丁目22番40号	TEL. (06) 6954-0374	寝屋川支店	寝屋川市菅島本町12番5号	TEL. (072) 823-3021
阿倍野支店	大阪市阿倍野区阪南町1丁目48番1号	TEL. (06) 6622-0671	平野上町支店	大阪市平野区平野上町2丁目7番18号	TEL. (06) 6791-1804	河内長野支店	河内長野市楠町東1651番地03	TEL. (0721) 53-8412
生野支店	大阪市生野区桃谷2丁目23番32号	TEL. (06) 6718-1121	日本橋支店	大阪市中央区日本橋2丁目6番1号	TEL. (06) 6641-8131	恵我之荘支店	羽曳野市恵我之荘3丁目1番1号	TEL. (072) 953-1201
福島支店	大阪市福島区野田3丁目1番18号	TEL. (06) 6462-3621	秋之茶屋支店	大阪市西成区花園南1丁目3番15号	TEL. (06) 6661-6031	八尾北支店	八尾市光町2丁目9番地	TEL. (072) 998-0888
住吉支店	大阪市住吉区東粉浜3丁目23番8号	TEL. (06) 6673-8371	梅田支店	大阪市北区梅田2丁目1番22号	TEL. (06) 6341-6434	北山本出張所	八尾市上之島町北1丁目16番地02	TEL. (072) 923-3741
城東支店	大阪市城東区今福西1丁目9番6号	TEL. (06) 6939-5131	加島支店	大阪市淀川区加島4丁目2番46号	TEL. (06) 6309-7821	恩智支店	八尾市恩智町1丁目77番地02	TEL. (072) 941-0241
東成支店	大阪市東成区東中本1丁目15番27号	TEL. (06) 6971-2401	御厨支店	東大阪市御厨中2丁目5番6号	TEL. (06) 6788-5181	道明寺支店	藤井寺市沢田3丁目4番39号	TEL. (072) 952-4351
都島本通支店	大阪市都島区都島北通2丁目3番19号	TEL. (06) 6924-1171	港支店	大阪市港区三先1丁目10番28号	TEL. (06) 6573-6261	久宝寺口支店	八尾市末広町4丁目8番16号	TEL. (072) 924-8080
布施西支店	東大阪市岸田堂西2丁目3番6号	TEL. (06) 6728-3301	長吉支店	大阪市平野区长吉長原東1丁目2番73号	TEL. (06) 6708-9001	東花園支店	東大阪市花園東町2丁目2番15号	TEL. (072) 966-0180
南田辺支店	大阪市東住吉区田辺3丁目25番20号	TEL. (06) 6628-0581	恩加島支店	大阪市大正区平尾4丁目21番8号	TEL. (06) 6554-1351	JR八尾駅前支店	八尾市安中町3丁目2番40号	TEL. (072) 924-8100
門真北支店	門真市本町30番3号	TEL. (06) 6909-7451	北加賀屋支店	大阪市住之江区北加賀屋1丁目1番26号	TEL. (06) 6683-6551	八尾南支店	八尾市若林町1丁目87番地	TEL. (072) 948-7781
住道支店	大東市扇町16番7号	TEL. (072) 872-4881	姫島支店	大阪市西淀川区姫島5丁目2番1号	TEL. (06) 6475-3231	志紀支店	八尾市志紀町2丁目45番地	TEL. (072) 949-3881
八尾西支店	八尾市久宝寺2丁目4番57号	TEL. (072) 992-0081	西九条支店	大阪市此花区梅香3丁目33番9号	TEL. (06) 6464-0621	本町支店	大阪市西区立売堀1丁目2番14号	TEL. (06) 6532-1501
若江岩田支店	東大阪市若江岩田3丁目10番17号	TEL. (072) 963-2151	東淀川支店	大阪市東淀川区豊新5丁目14番30号	TEL. (06) 6327-8861	我孫子支店	大阪市住吉区我孫子西2丁目4番27号	TEL. (06) 6694-8600
たつみ支店	大阪市生野区中3丁目9番2号	TEL. (06) 6751-1281	守口支店	守口市京阪本通1丁目4番12号	TEL. (06) 6993-8541	枚岡支店	東大阪市西石町3丁目4番1号	TEL. (072) 982-1150
生野中支店	大阪市生野区中川東2丁目4番6号	TEL. (06) 6754-1811	市大病院出張所	大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号	TEL. (06) 6633-1321	河内支店	東大阪市岩田町4丁目3番33号	TEL. (072) 962-2181
高井田支店	東大阪市西堤1丁目13番4号	TEL. (06) 6788-2821	豊中支店	豊中市服部南町4丁目1番25号	TEL. (06) 6864-7471	瓢箪山支店	東大阪市昭和町2番3号	TEL. (072) 982-1414
つるみ支店	大阪市鶴見区横堤3丁目6番52号	TEL. (06) 6912-8861	堺支店	堺市堺区大町西3丁目2番1号	TEL. (072) 232-7601	大東支店	大東市赤井1丁目3番12号	TEL. (072) 871-3591
生野南支店	大阪市生野区舍利寺3丁目5番28号	TEL. (06) 6718-2181	八尾営業部	八尾市本町2丁目8番1号	TEL. (072) 923-1988	豊浦出張所	東大阪市豊浦町13番4号	TEL. (072) 981-5801
桃谷駅前支店	大阪市天王寺区堂ヶ芝2丁目9番3号	TEL. (06) 6771-4881	平野支店	大阪市平野区加美西2丁目1番3号	TEL. (06) 6791-9871	法善寺支店	柏原市法善寺4丁目2番1号	TEL. (072) 973-0701
湧池支店	東大阪市中津池町3丁目4番5号	TEL. (06) 6745-2811	山本支店	八尾市山本町1丁目8番3号	TEL. (072) 922-7666	中野支店	東大阪市角田2丁目10番9号	TEL. (072) 963-2100
加美北支店	大阪市平野区加美北3丁目12番1号	TEL. (06) 6794-3121	柏原支店	柏原市本郷2丁目5番27号	TEL. (072) 972-3181	布施支店	東大阪市代2丁目3番4号	TEL. (06) 6722-1101
中津支店	大阪市北区中津1丁目17番26号	TEL. (06) 6376-3071	松原支店	松原市上田1丁目7番3号	TEL. (072) 332-1700	永和支店	東大阪市荒川2丁目26番12号	TEL. (06) 6722-2001
森ノ宮支店	大阪市中央区森ノ宮中央1丁目8番1号	TEL. (06) 6946-1081	国分支店	柏原市国分本町1丁目4番1号	TEL. (072) 978-6161	中央市場営業部	大阪市福島区野田1丁目1番86号	TEL. (06) 6469-7361
谷町支店	大阪市天王寺区生玉前町1番18号	TEL. (06) 6775-0751	古市支店	羽曳野市栄町4番11号	TEL. (072) 956-0485	下福島支店	大阪市福島区野田2丁目1番80号	TEL. (06) 6468-8781
大東北支店	門真市江端町9番23号	TEL. (072) 882-1661	吉田支店	東大阪市今米1丁目5番37号	TEL. (072) 963-4312	東部市場支店	大阪市東住吉区今林1丁目2番68号	TEL. (06) 6756-3540
岸の里支店	大阪市西成区千本中2丁目2番21号	TEL. (06) 6659-6522	初芝支店	堺市東区日蓮寺西町1丁目53番32号	TEL. (072) 285-2893	塚本支店	大阪市西淀川区柏里3丁目1番10号	TEL. (06) 6473-6491
桜川支店	大阪市浪速区幸町2丁目3番22号	TEL. (06) 6562-3224	小阪駅前支店	東大阪市小阪本町1丁目6番20号	TEL. (06) 6722-0666	北部市場支店	茨木市宮島1丁目1番1号	TEL. (072) 636-2075

☎️ テレフォンダイレクト支店 夢ふくらむ支店 大阪市中央区北浜2-5-4 ☎️ 0120-77-2976

インターネットアドレス <http://www.osaka-city-shinkin.co.jp/>

大阪府内に91店舗。大阪市内全24区に店舗を有する唯一の地域金融機関です。

平成29年1月1日現在

# 久保社会保険労務士法人



久保社会保険労務士法人  
所長 久保 太郎

プロフィール

平成25年秋の叙勲 旭日小綬章 受賞

岡山県倉敷市生まれ。

45年間人事労務の業務に携わり、企業労務コンサルタントとして70業種1000社を越す企業の労務改善、業績アップの指導に従事。

2009年2月厚生労働大臣賞受賞。

厚生労働大臣認可 労働保険事務組合関西労働保険協会 代表

関西労働保険事務組合 会長

一般社団法人 全国労働保険事務組合連合会 副会長

一般社団法人兵庫県労働保険事務組合連合会 会長



〒660-0881

兵庫県尼崎市昭和通2-7-1ホテルニューアルカイクビル1階

TEL 06-6482-6312 FAX 06-6487-3960

MAIL info@sr-kubo.jp HP http://sr-kubo.biz/index

お気軽にお問合せ下さい。



ホームセンター  
kanseki カンセキ

WILD-1  
OUTDOOR LIFE STORE

株式会社カンセキ

本社 栃木県宇都宮市西川本町3丁目1番1号 TEL 028-658-8123(代表)

http://www.kanseki.co.jp/



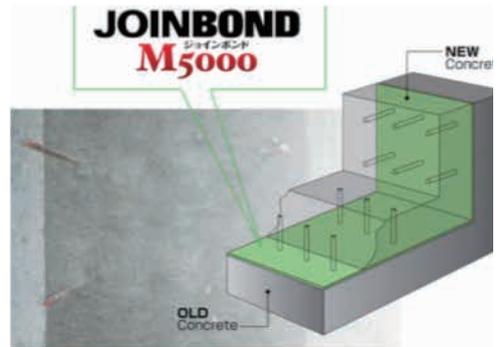
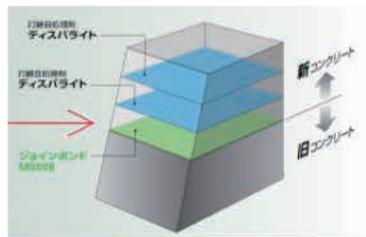
安定した品質で建設現場に貢献し、  
社会資本に「安全・安心」を供給する。

# ジョイントボンド M5000

省力化をサポート！

NETIS登録番号 KK-130043-A

新旧コンクリート打継目接着材  
(繊維補強ポリマーセメント系)



施工後、新コンクリート打設まで最大14日確保！  
チッピング不要で新旧コンクリートを一体化！

## 建設産業のインフラを支える日本ジッコウグループ



日本ジッコウ(株) 本社



コンクリート関連資材の総合販売

**日本ジッコウ株式会社**

TEL / 078-974-1141 FAX / 078-974-7786 URL / <http://www.jikkou.co.jp>



テクノスジャパン(株) 本社・工場



機能性モルタル類の総合メーカー

High-Quality & Trust

**テクノスジャパン株式会社**

TEL / 078-924-1234 FAX / 078-924-0050 URL / <http://www.attack-pro.com>



エースコンサルタント(株)



コンクリート構造物の劣化調査・診断

建設コンサルタント登録 No. 建 27 第 6748 号

**エースコンサルタント株式会社**

TEL / 078-920-2251 FAX / 078-920-2253 URL / <http://www.ace-con.co.jp>



学校法人大阪経済大学

理事長 **佐藤武司** (昭和39年 30回卒業)



## ★住所等を変更された場合は、必ずご連絡ください!

「澱江」は、大阪経済大学大樟会から会員の方（本学卒業生）全員へお送りしていますが、毎年、宛先不明で多数返送されてきます。住所等を変更された場合は、必ず、大樟会本部事務局まで、同封のハガキにて、ご連絡ください（切手代は不要です）。その他、電話、FAXなどでも受けつけております。

ご連絡は、下記へ

大阪経済大学大樟会・本部事務局

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8

電話06-6328-2431（代表） FAX 06-6328-4564（直通）

メール okusu@osaka-ue-denko.com

また、ホームページからもご連絡いただけます。

ホームページアドレス → <http://www.osaka-ue-denko.com/>

大阪経済大学大樟会

検索

### ● 編集後記 ●

- 「澱江」52号をお届けします。小生が編集長の重責をお受けして3年目になります。編集委員も新しい仲間を迎え、新年度早々の4月から特集を何にするか、何ページにするか。広告は何社くらいかなど毎月1回の会合を重ねてきました。前号でも記載していますが、小生は山口に住んでいるためそう度々大学へ来ることが叶わず、近隣在住の編集委員、大樟会事務局の方々に随分お骨折りをいただき感謝しています。
- 表紙の「哲学の道」の顕彰板はいかがですか？ 本学の創設者、黒正巖博士が命名されたことを、ここを訪れる観光客に知っていただくために、同窓会設立80周年記念事業として新しいものに一新いたしました。本学のPRになればと思っています。
- 大学では昨春秋、学長選考が行われ徳永光俊学長が引き続き3期目も就任されることになりました。そのインタビューの中で将来の展望として法学系など2つ程度の新学部を加えて7学部体制にし、規模拡大を図ることを明らかにされました。
- 52号の目玉は卒業してまだ間もない卒業生に集まっていたいただき、これまでの支部長座談会などでは聞かれなかった若い人たちのこれまでと違った意見を聞くことができました。その中で5人とも本学を卒業してよかった。また今の職場にも満足しているとお話を聞き、司会者として救われた気持ちでした。人選や日程調整の労をお取りいただいた黒正洋史進路支援部長へ厚くお礼申し上げます。
- 本号から同窓生のおたよりを掲載する「北から南から」を復活させました。お陰様で15名の方々から原稿をお寄せいただきました。また、「ズームアップ経大人」は年々取り上げる方々の候補が減りつつあります。何も会社経営者だけではなく市井で地域のために活躍されているOBの候補を自薦他薦を問わずお知らせください。今回からこの中で大樟会支部長をご紹介させていただくコーナーを設けました。
- 事務局からの再三のお願いにもかかわらず、締切に間に合わなかった種々の原稿は大樟会のホームページへの掲載へ代えさせていただきます。「澱江」52号へ執筆いただきました方々にこの場を借りてお礼申し上げます。

（広報部長 小林 真人）

**「澱江」の由来** 初代校長・黒正巖博士が作詞された旧制・昭和高商の校歌（現在の学園歌）の歌詞「商都の東北澱江に臨みて高くそそり立つ 我等が昭和学園は…」から引用された言葉です。ちなみに岩波漢語辞典によれば「【澱江】大阪の淀川。澱水（でんすい）、澱河（でんが）。『淀』は『澱（でん）』に通ずる」と記載されています。



OSAKA  
UNIVERSITY  
OF ECONOMICS

でんこう  
**澱江**  
2017

■発行日 2017年1月31日(火)

■編集 大阪経済大学大樟会 広報部

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 電話06-6328-2431(代)

メール okusu@osaka-ue-denko.com

URL <http://www.osaka-ue-denko.com/>

■印刷 株式会社 廣済堂

〒560-8567 大阪府豊中市蛍池西町2-2-1 電話06-6855-9241